

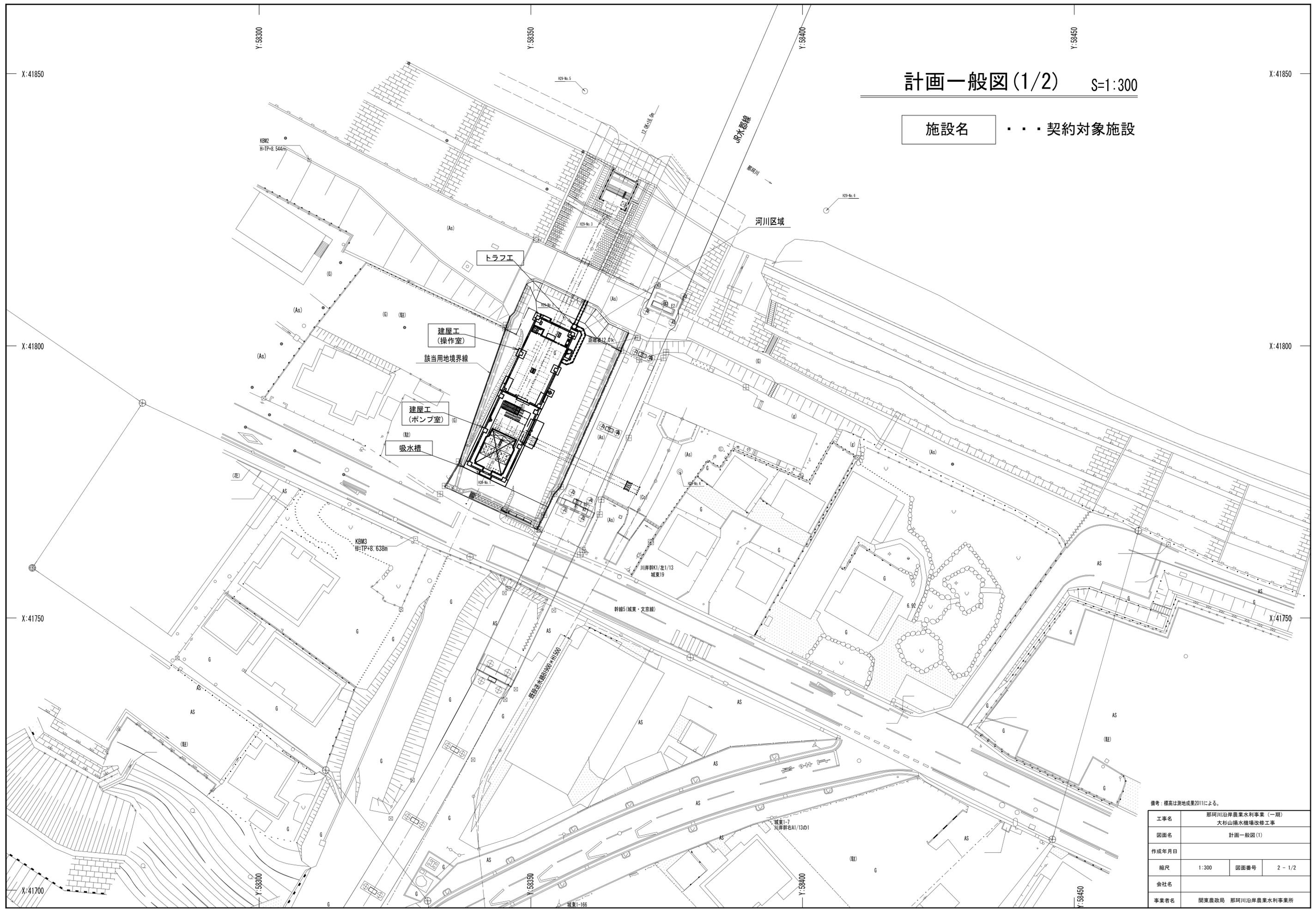
施工位置図 S=1:5000



工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	施工位置図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事業所名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

計画一般図(1/2) S=1:300

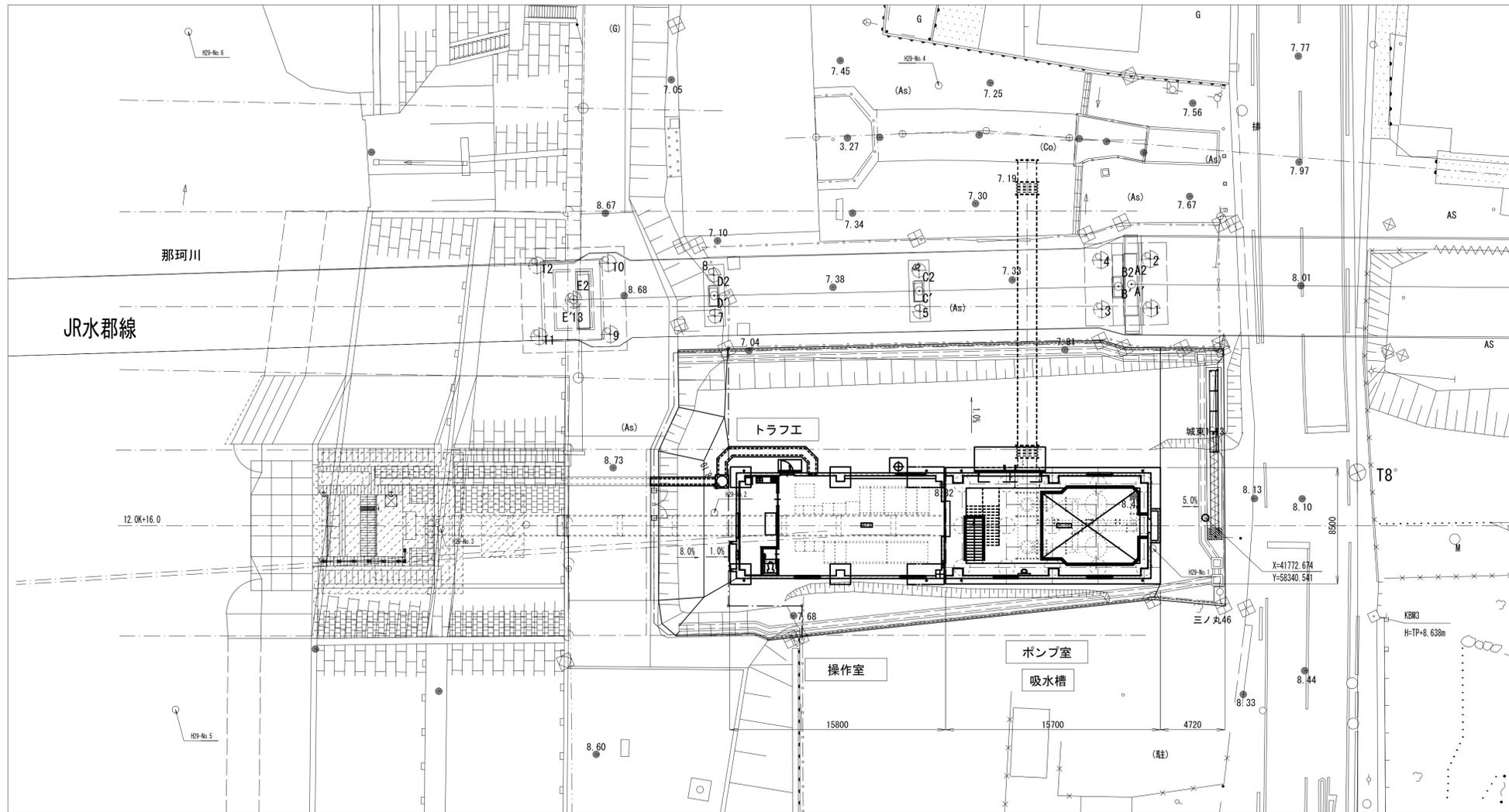
施設名 . . . 契約対象施設



備考：標高は測地成果2011による。

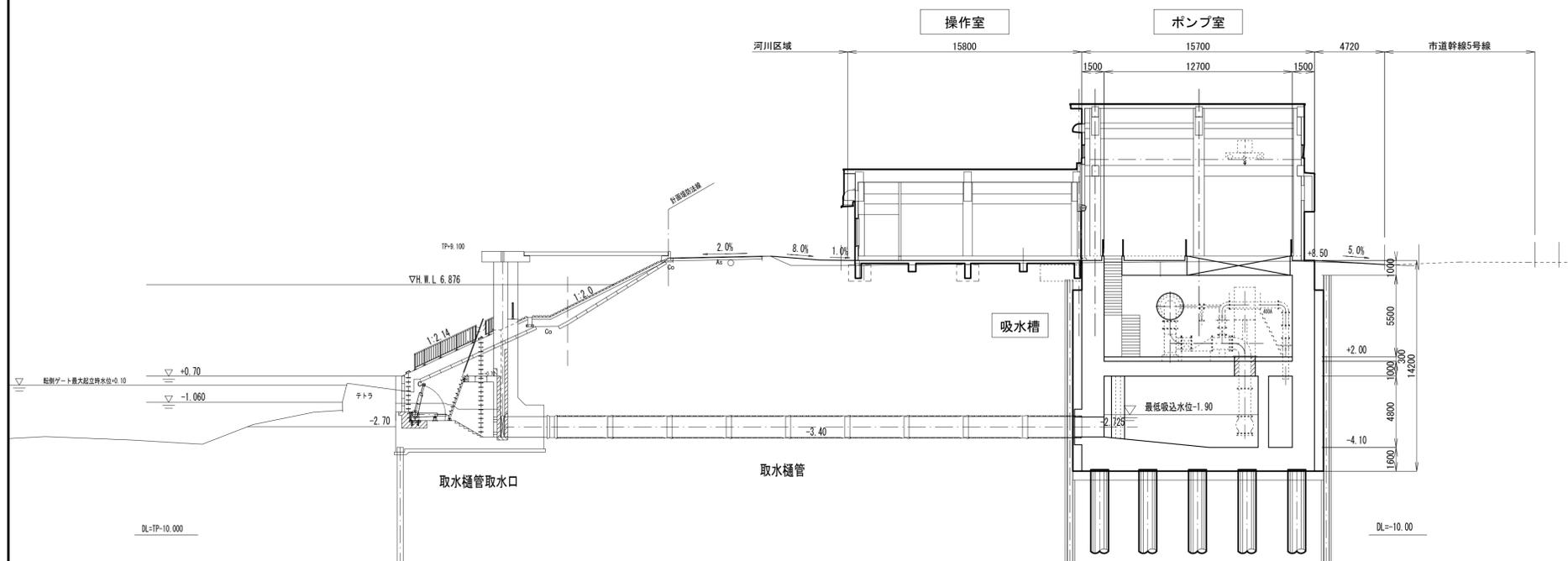
工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	計画一般図(1)		
作成年月日			
縮尺	1:300	図面番号	2 - 1/2
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

平面図

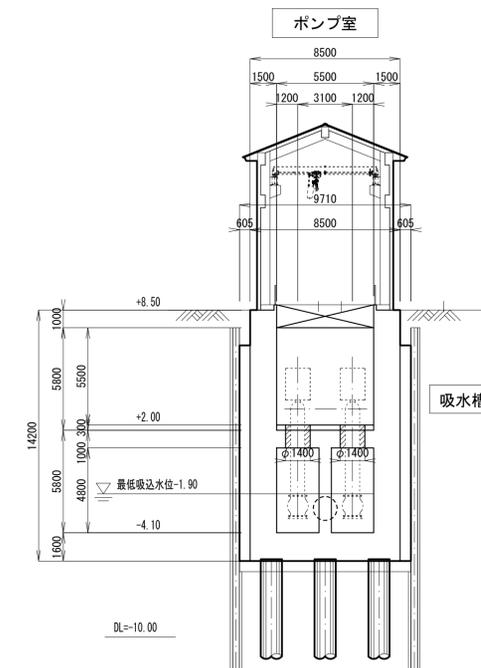


施設名 . . . 契約対象施設

縦断図



断面図



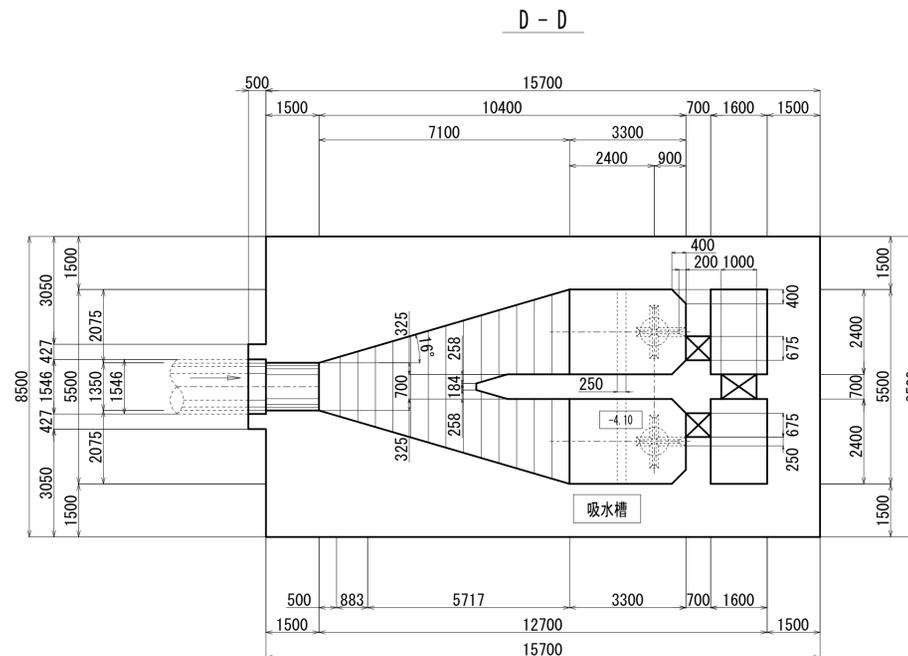
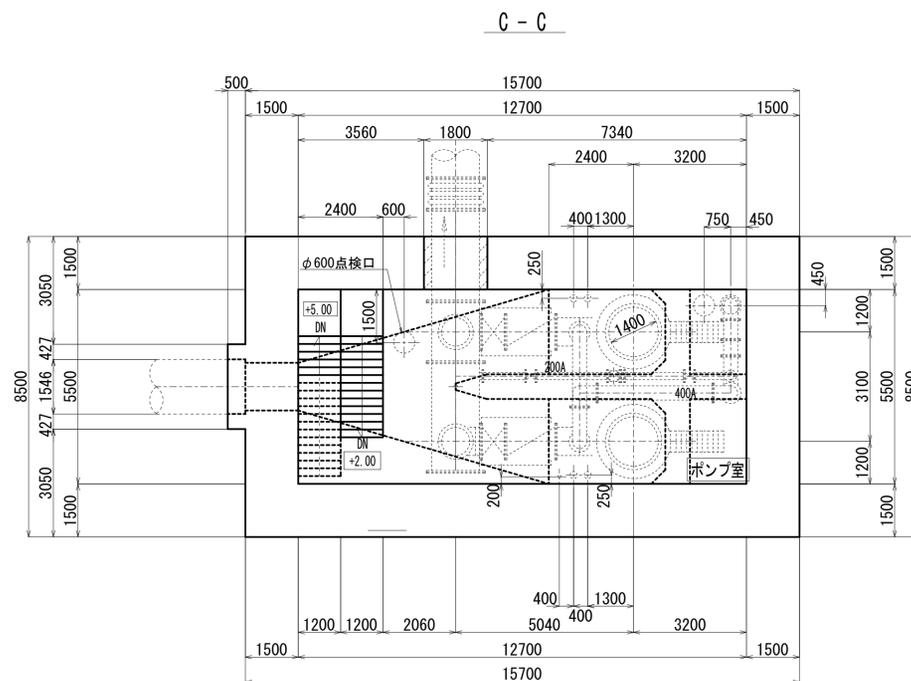
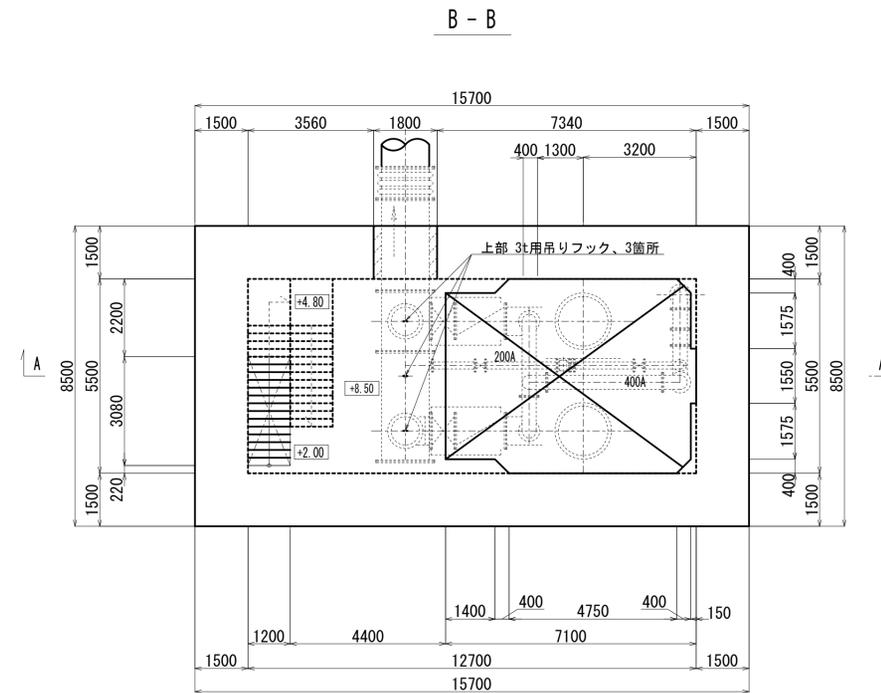
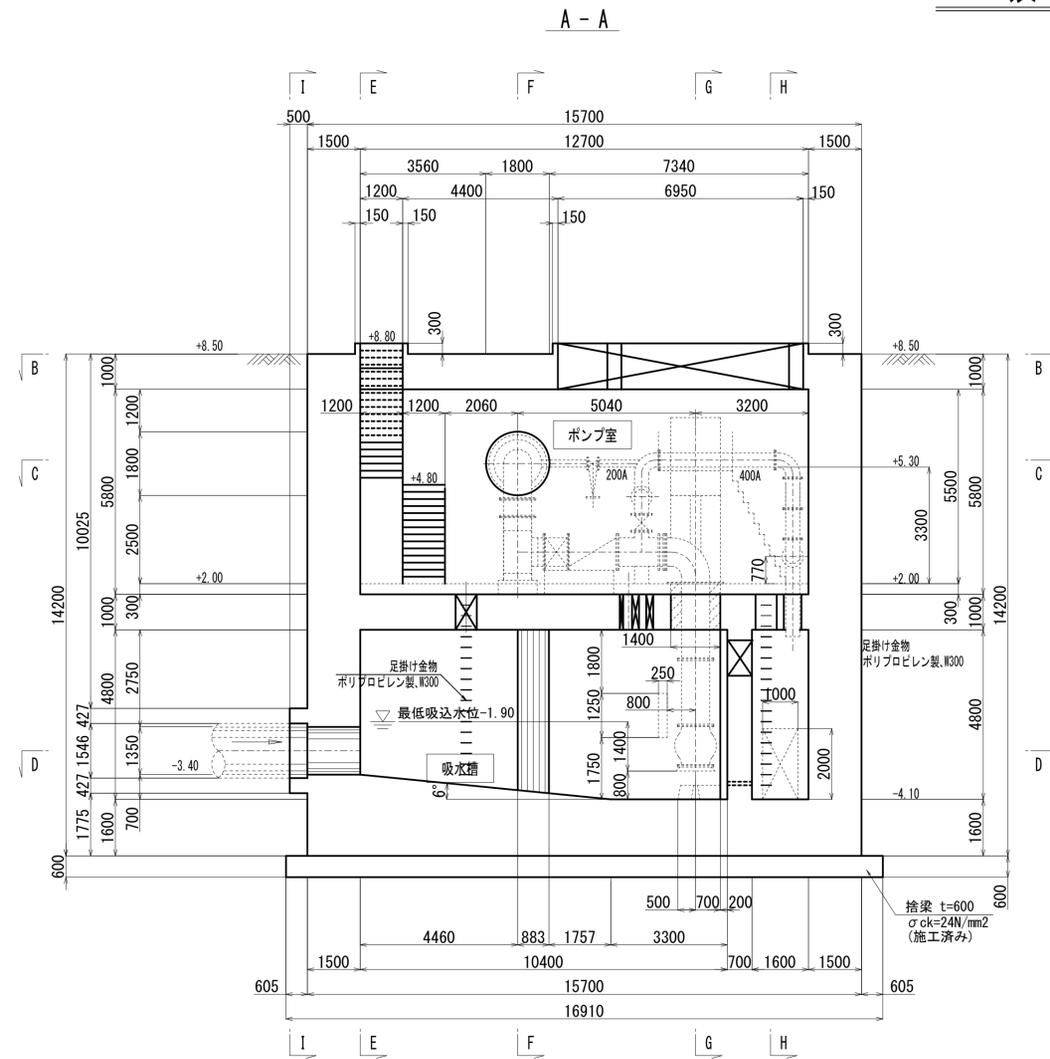
凡例
 □ 図中の左図は開口部を示す。

備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	計画一般図(2)		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	2-2/2
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

吸水槽構造図(1/2)

S=1:100



注意事項

- ・二次コンクリートは契約対象外である。
- ・コンクリート規格は 24-12-25 (20) とする。

凡例

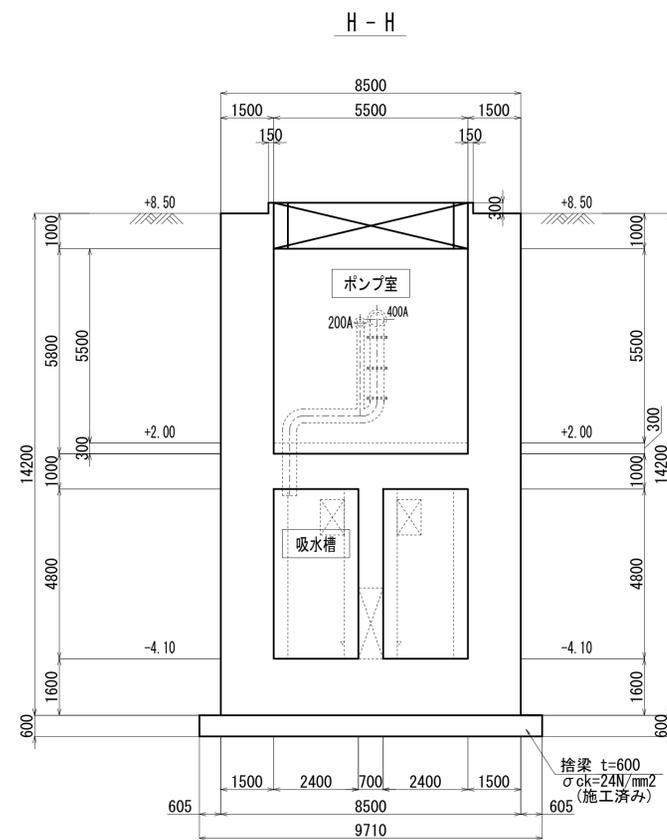
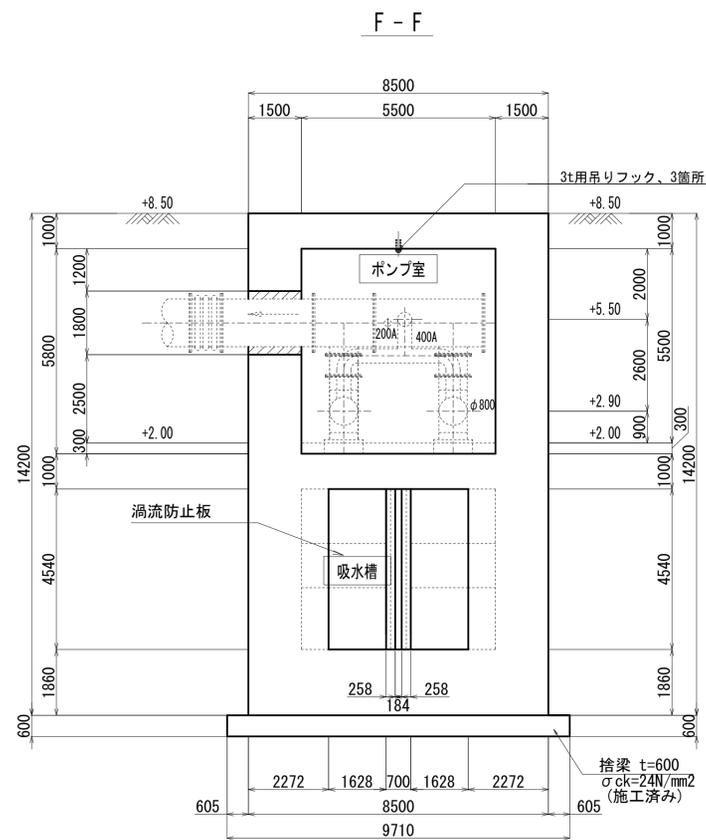
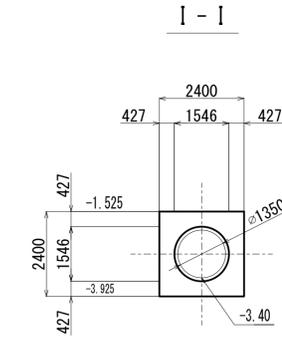
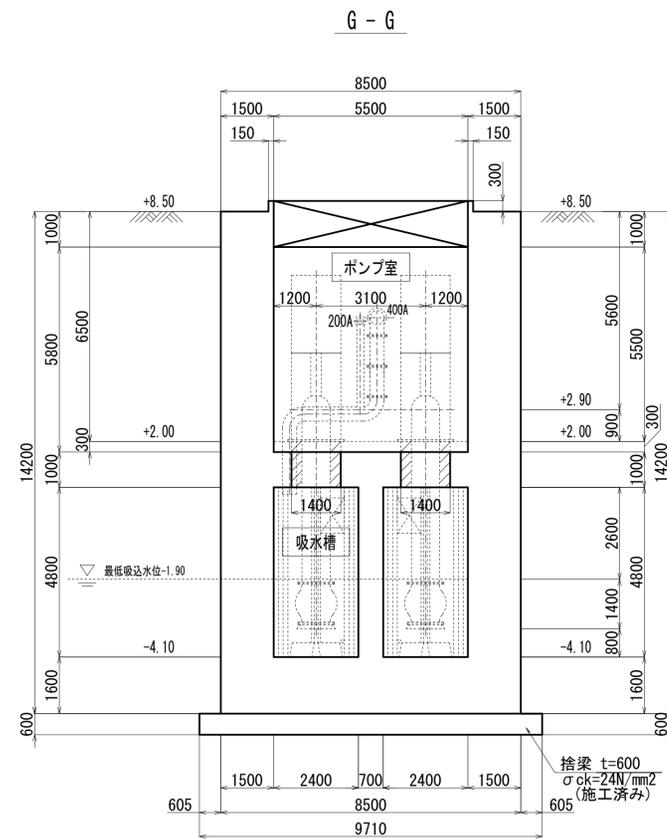
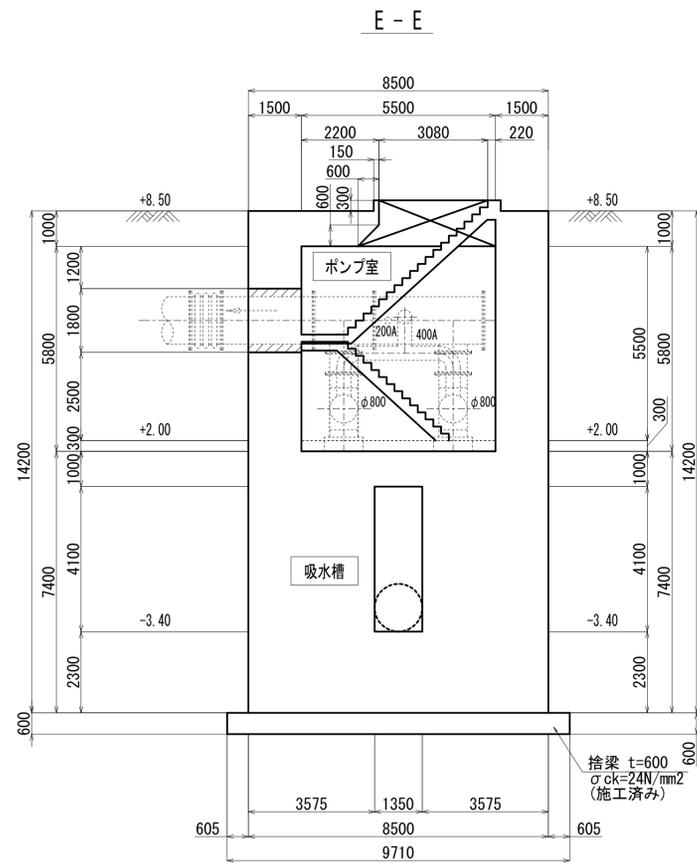
- ・  図中の左図ハッチ部は二次コンクリートを示す。
- ・  図中の左図は開口部を示す。

備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽構造図(1/2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	3-1/2
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

吸水槽構造図(2/2)

S=1:100



注意事項

- ・二次コンクリートは契約対象外である。
- ・コンクリート規格は 24-12-25 (20) とする。

凡例

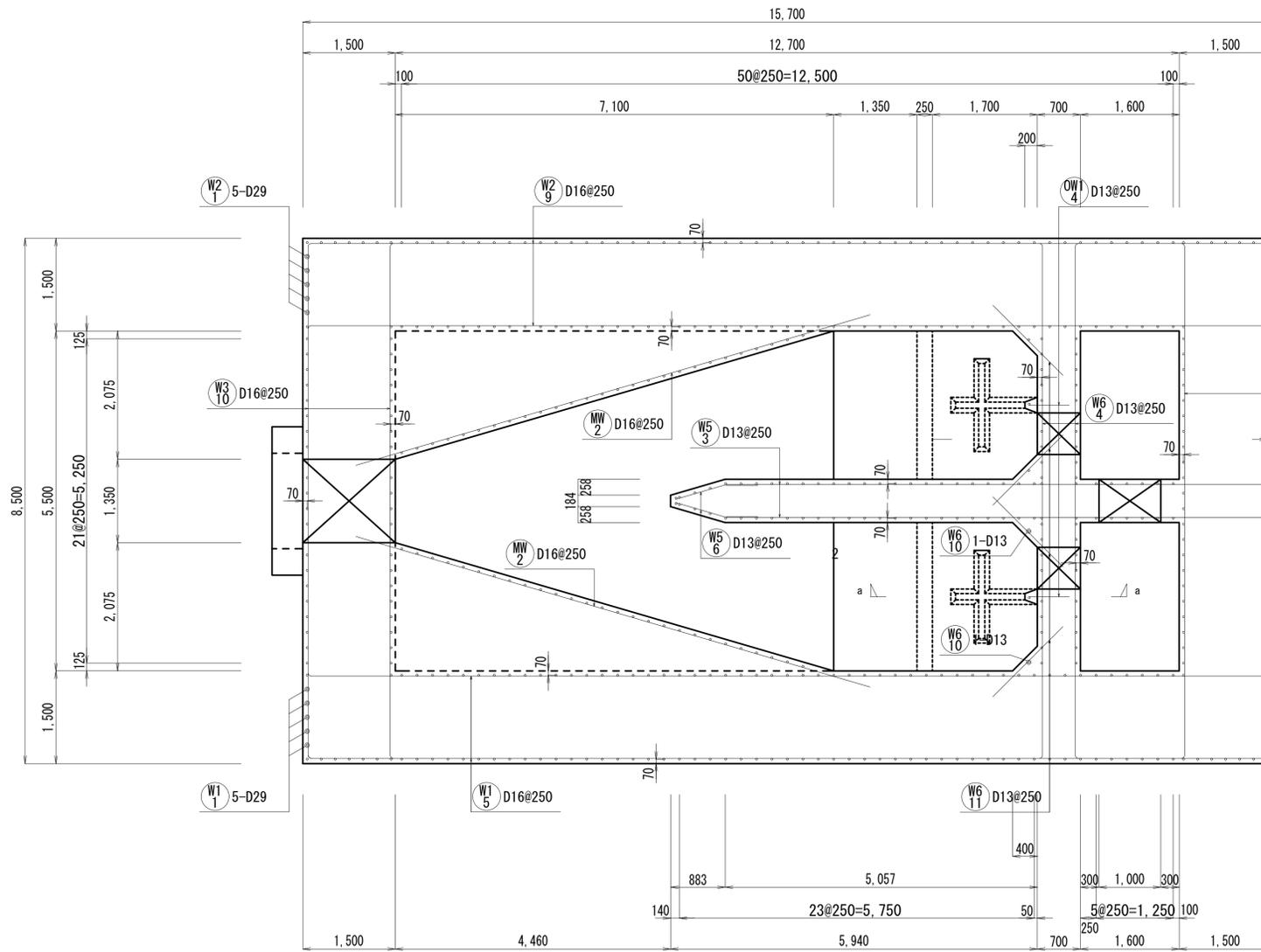
- ・  図中の左図ハッチ部は二次コンクリートを示す。
- ・  図中の左図は開口部を示す。

備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽構造図(2/2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	3-2/2
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

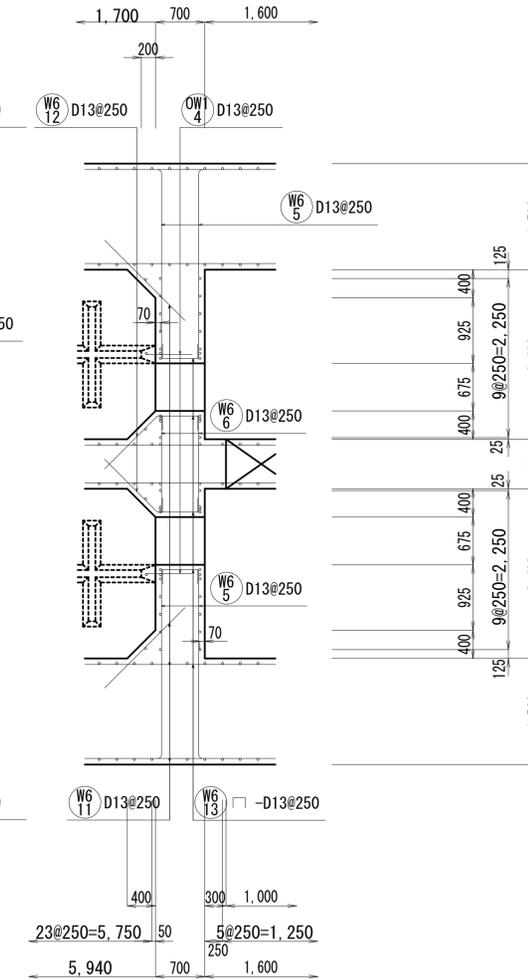
吸水槽配筋図(4/11)

S=1:50



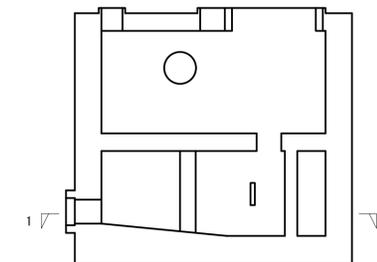
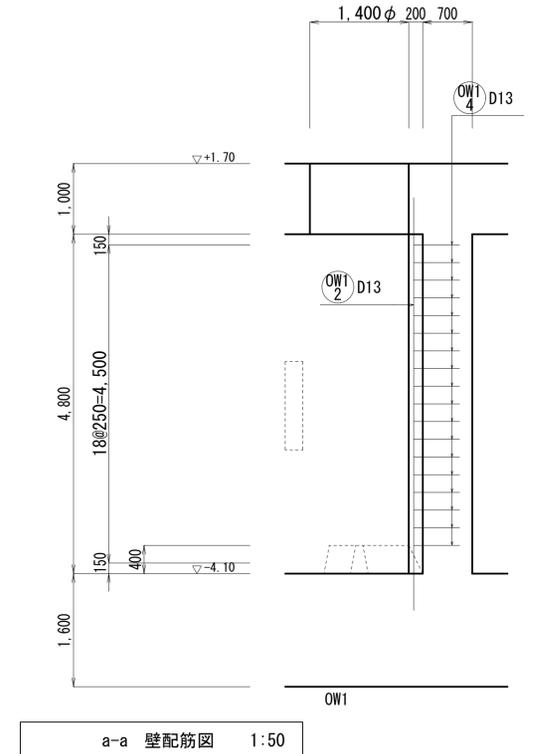
1-1 平断面配筋図 1:50

特記なき限り(共通事項)
1. 壁幅止め筋は、 \dashv -D13@1,000×1,000程度とする。



開口部平断面配筋図 1:50

特記なき限り(共通事項)
1. 壁幅止め筋は、 \dashv -D13@1,000×1,000程度とする。



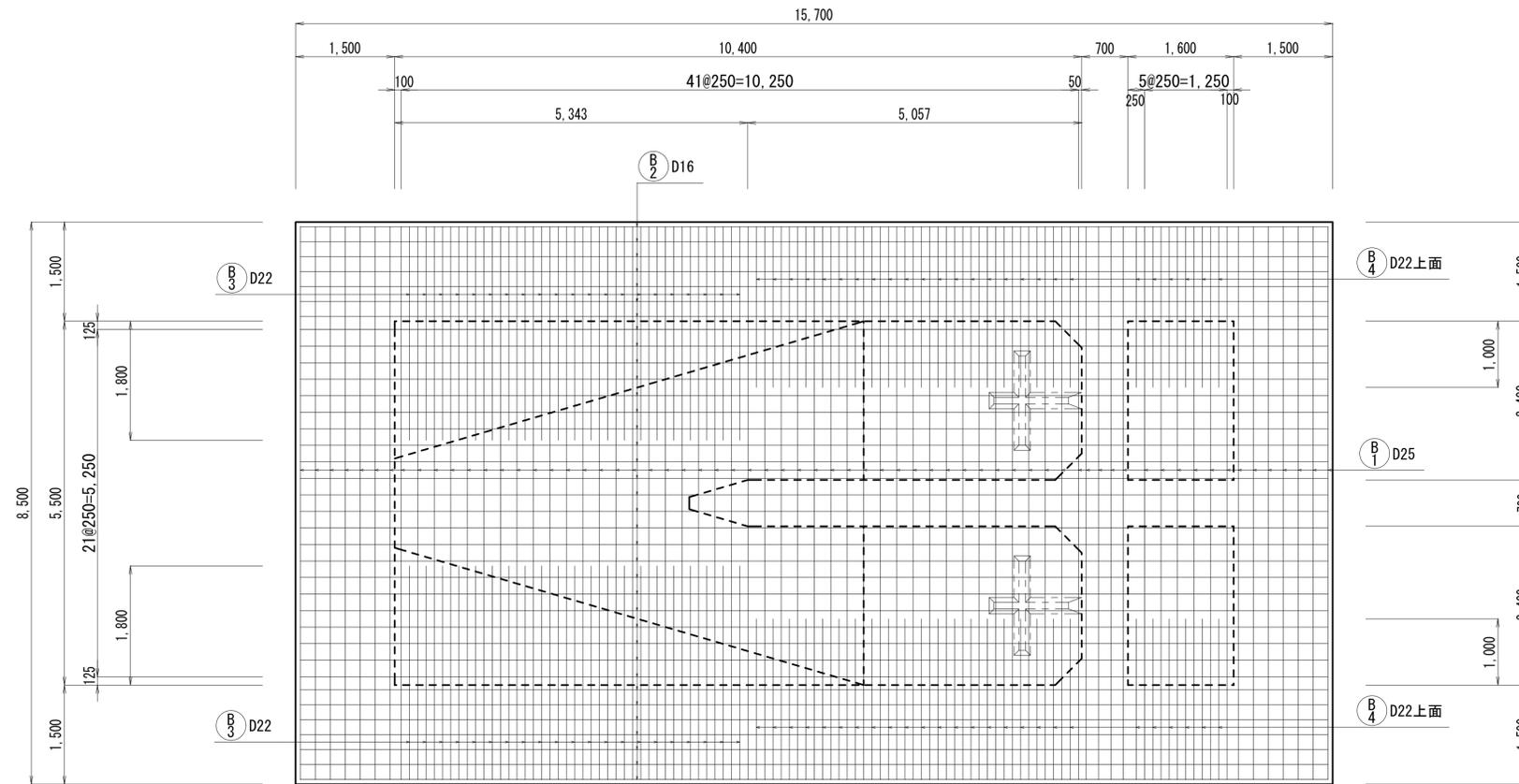
KEY PLAN

凡例
 図中の左図は開口部を示す。

(共通事項)
 1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

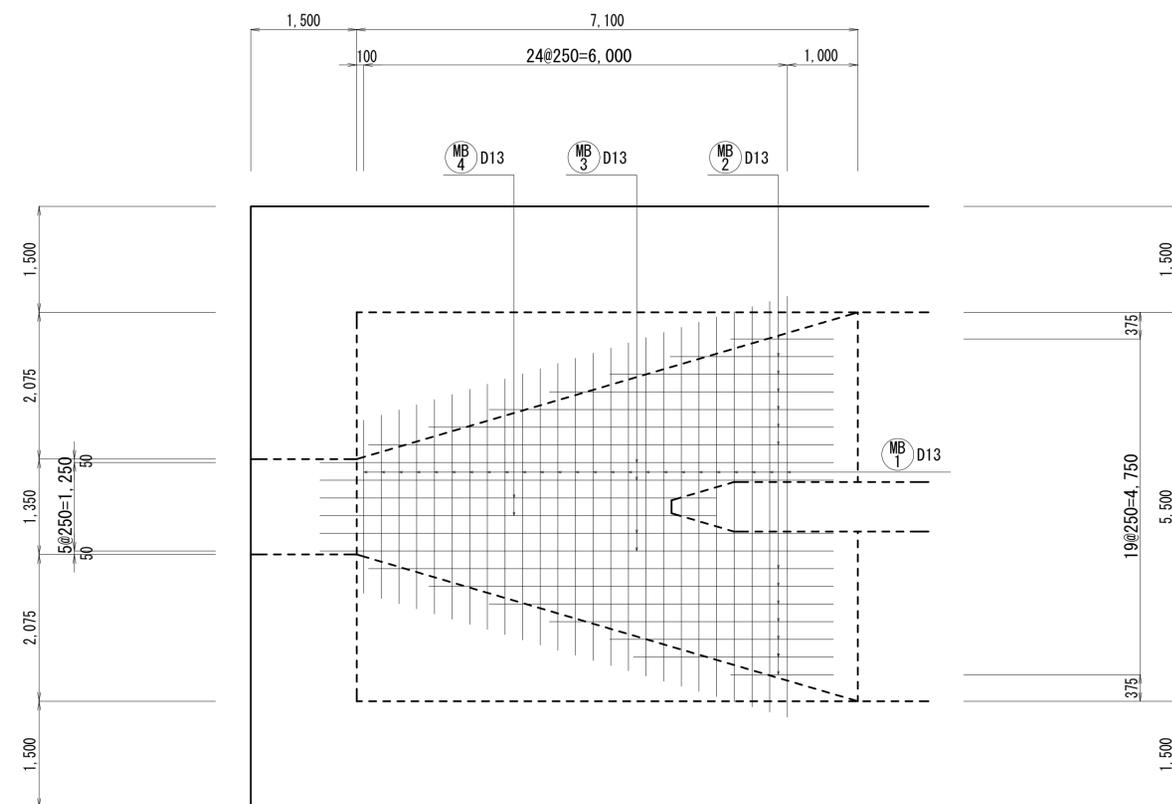
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(4/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-4/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

吸水槽配筋図(5/11) S=1:50

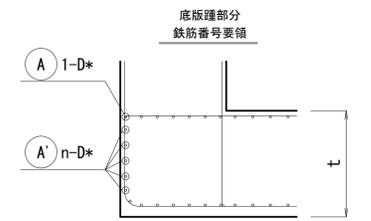


底板配筋図 1:50 B

- 特記なき限り(共通事項)
- 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 - 底板幅止筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。



増し打ち配筋図 1:50 MB



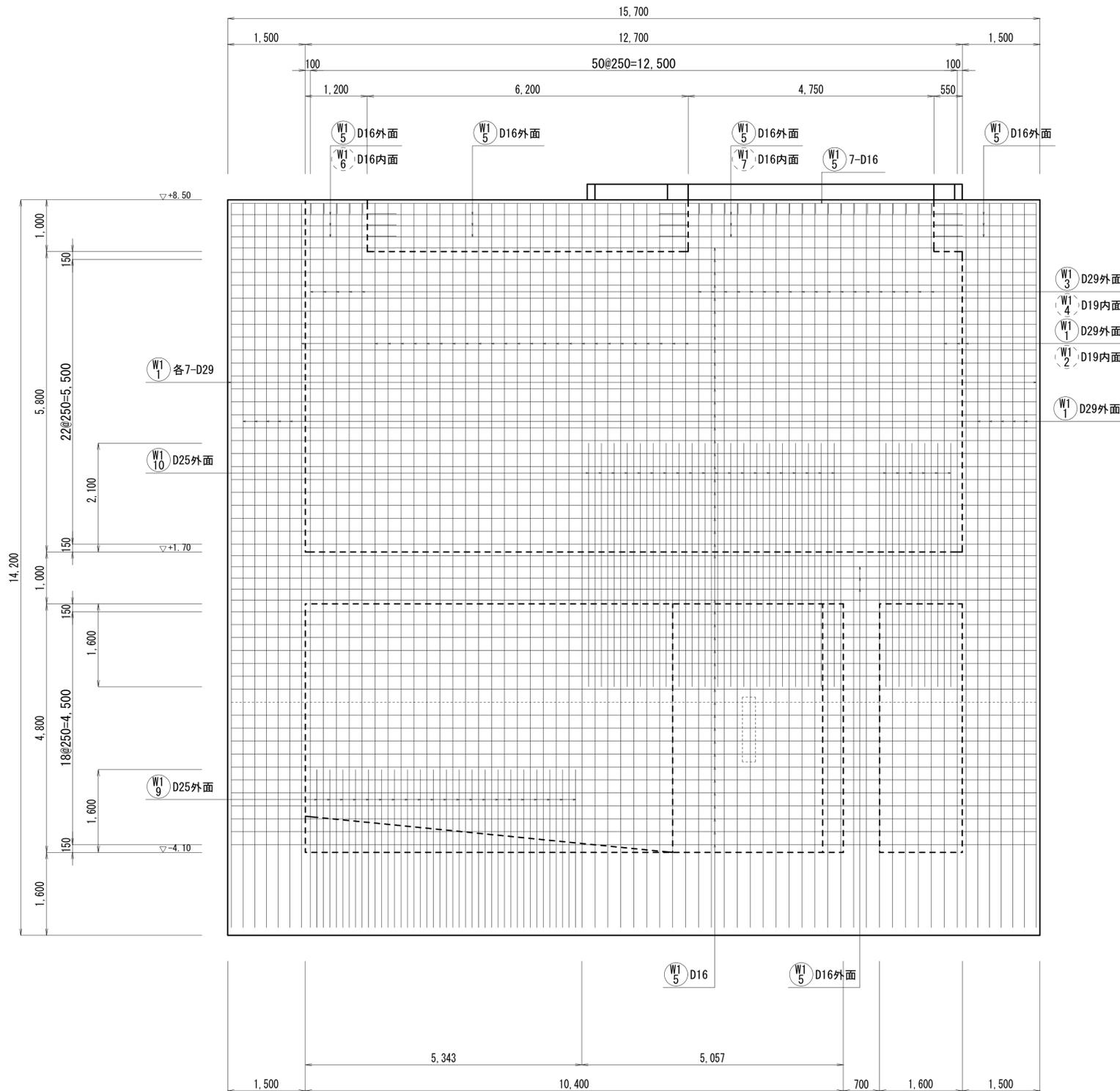
※底板縁端部に於いて、A'の鉄筋は、Aの鉄筋径、形状、番号と、同じとする。
・t=1,500 n=5

- (共通事項)
- 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(5/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-5/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

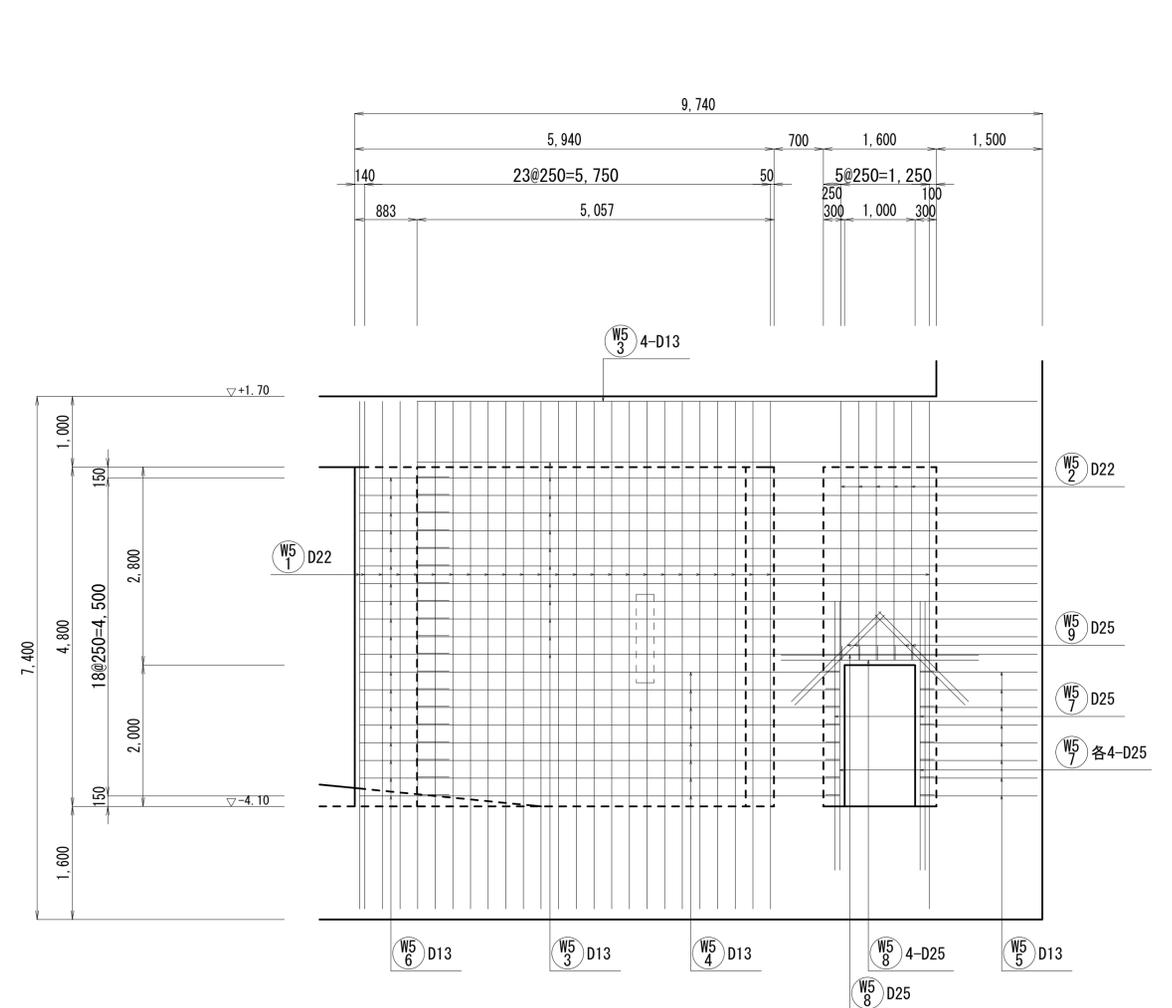
吸水槽配筋図(6/11)

S=1:50



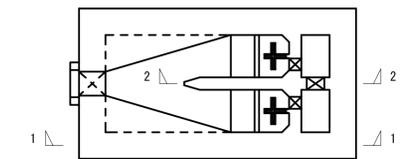
1-1 壁配筋図 1:50 W1

特記なき限り(共通事項)
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。



2-2 壁配筋図 1:50 W5

特記なき限り(共通事項)
1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。



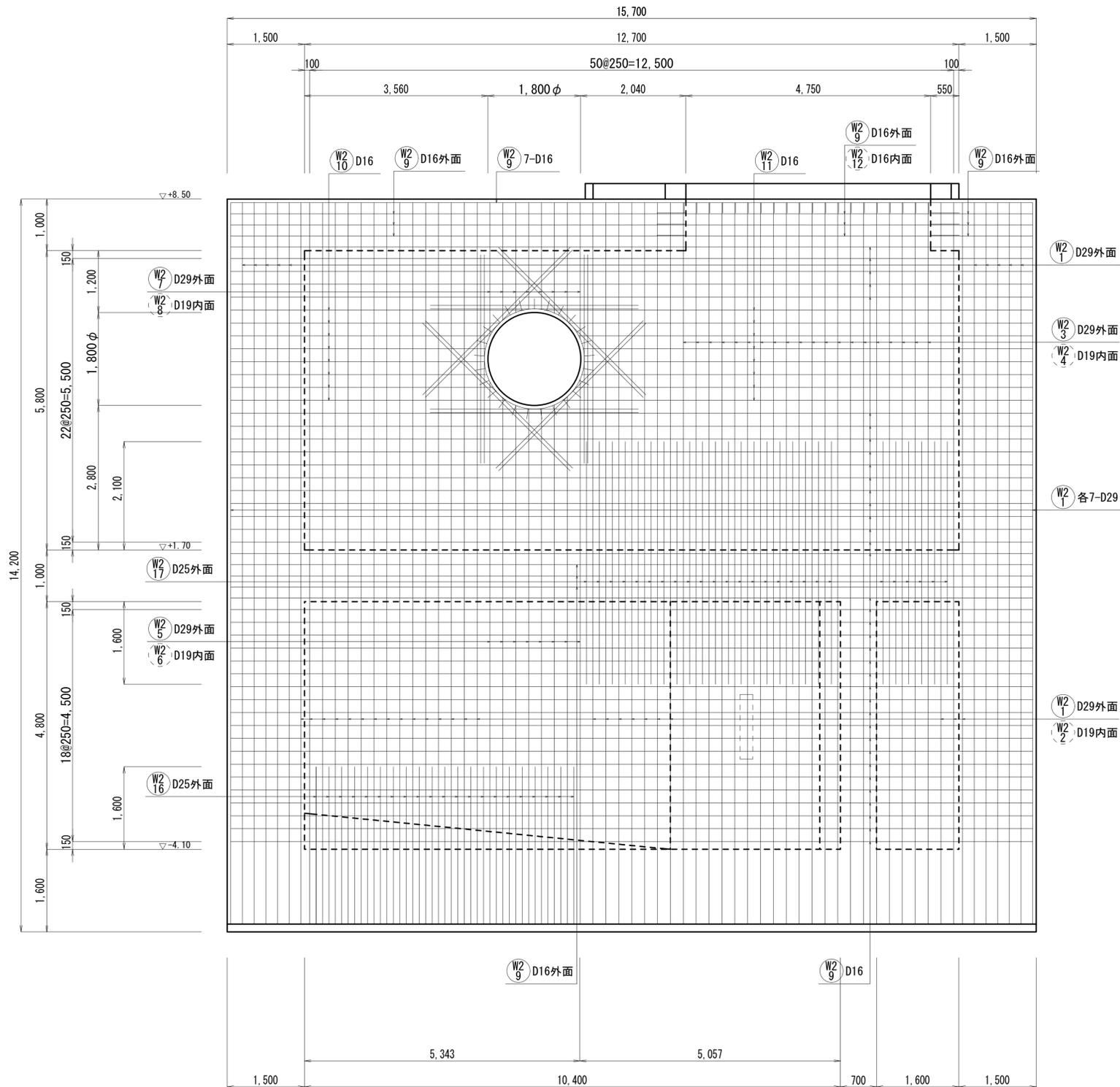
KEY PLAN

(共通事項)
1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(6/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-6/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

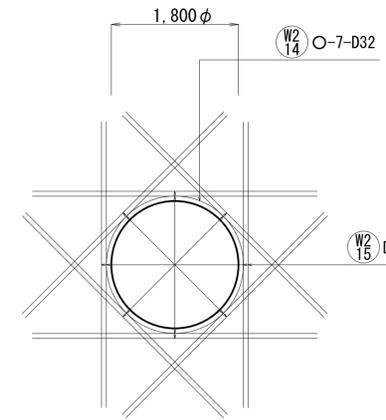
吸水槽配筋図(7/11)

S=1:50

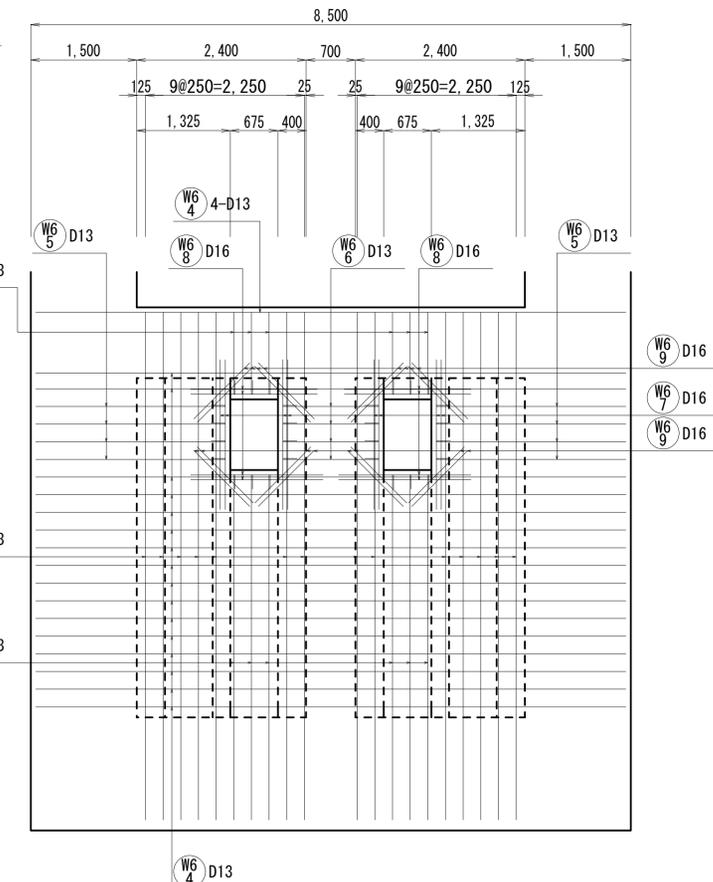
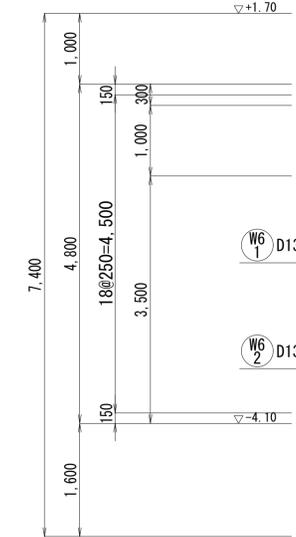


1-1 壁配筋図 1:50 W2

- 特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。

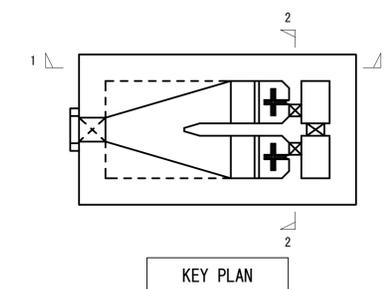


開口部補強筋



2-2 壁配筋図 1:50 W6

- 特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 ∇ -D13@1,000×1,000程度とする。

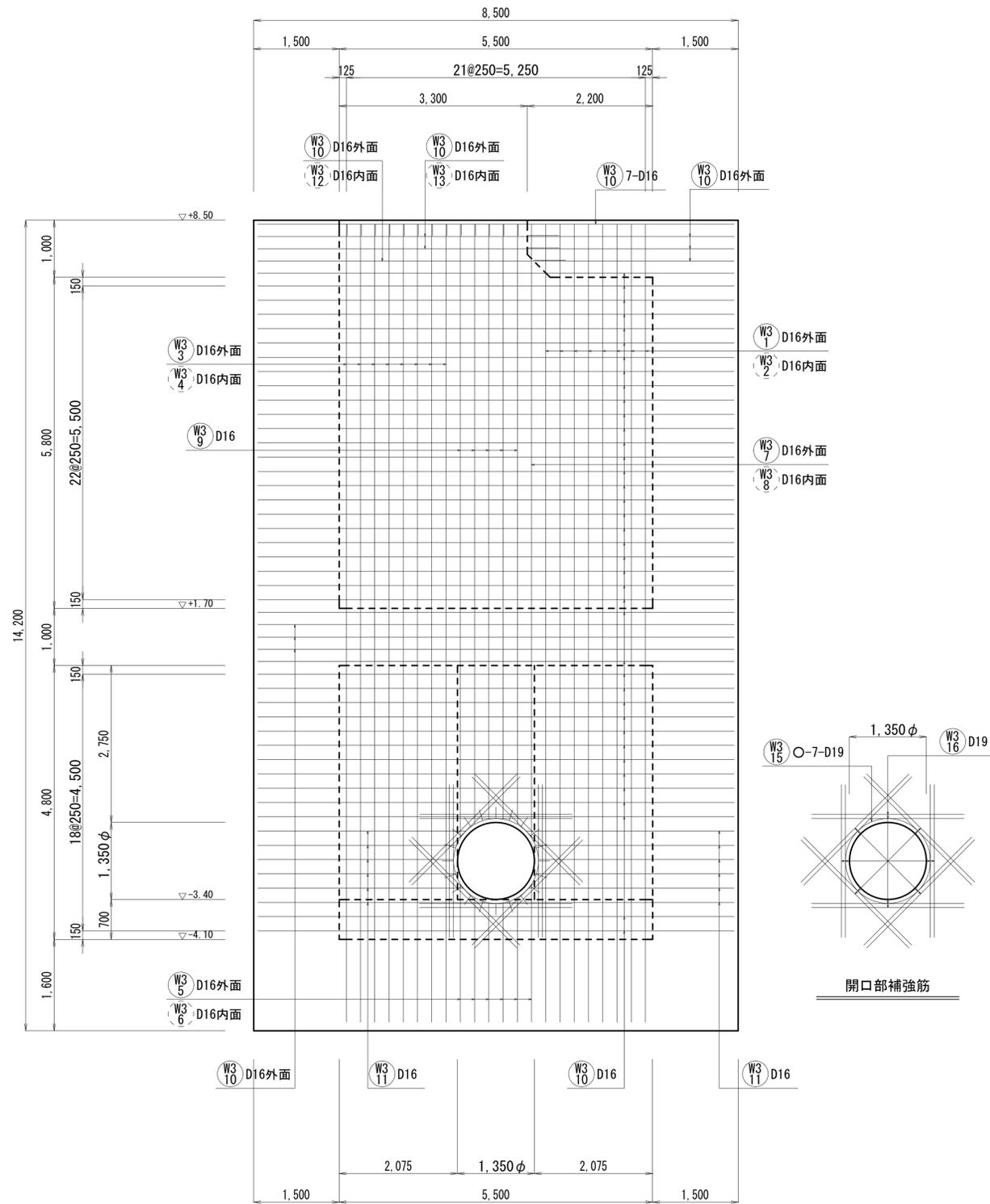


(共通事項)
 1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(7/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-7/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

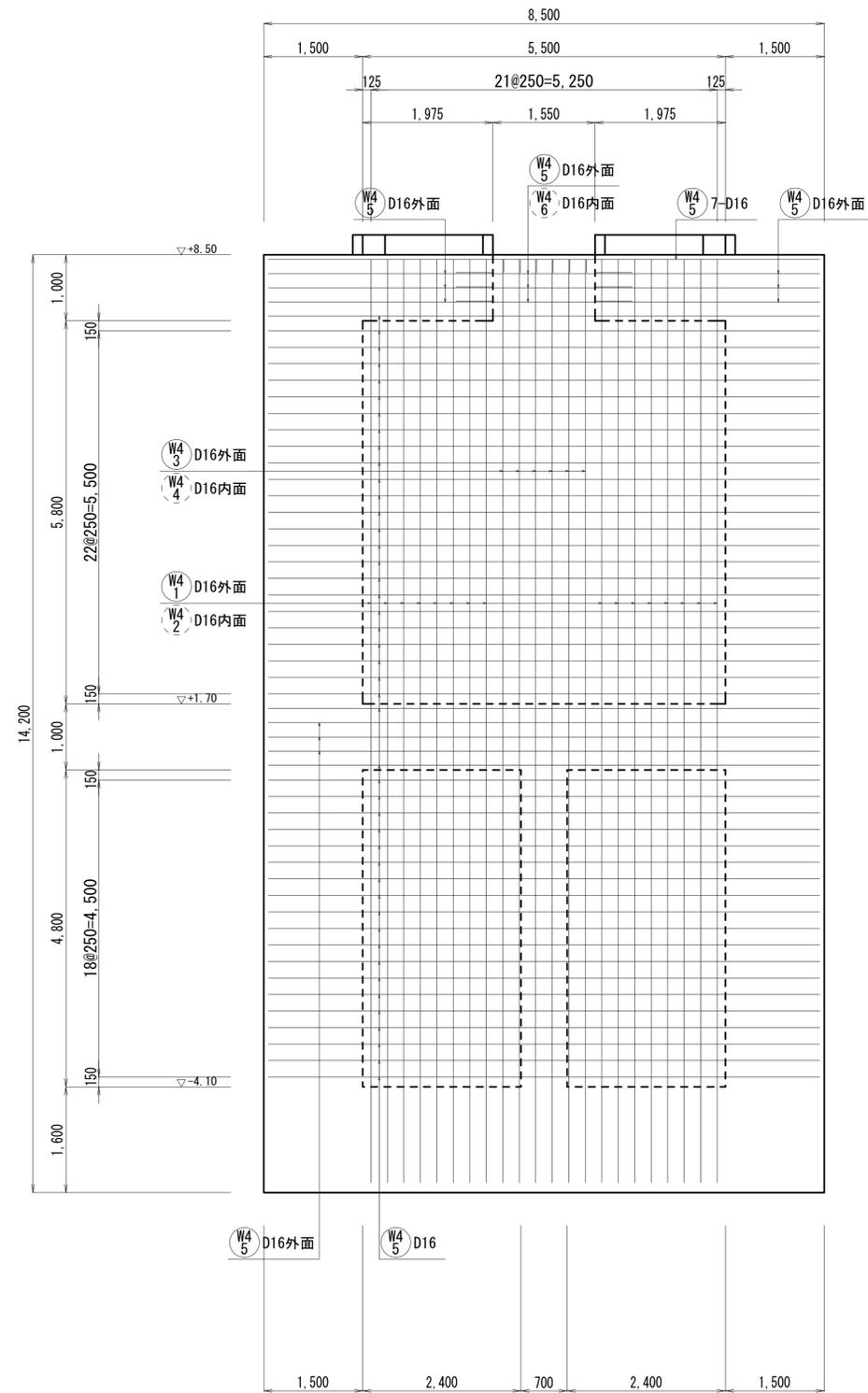
吸水槽配筋図(8/11)

S=1:50



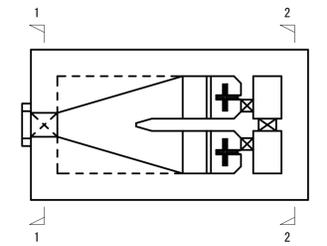
1-1 壁配筋図 1:50 W3

- 特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \square -D13@1,000×1,000程度とする。



2-2 壁配筋図 1:50 W4

- 特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示す。
 2. 壁幅止め筋は、 \square -D13@1,000×1,000程度とする。

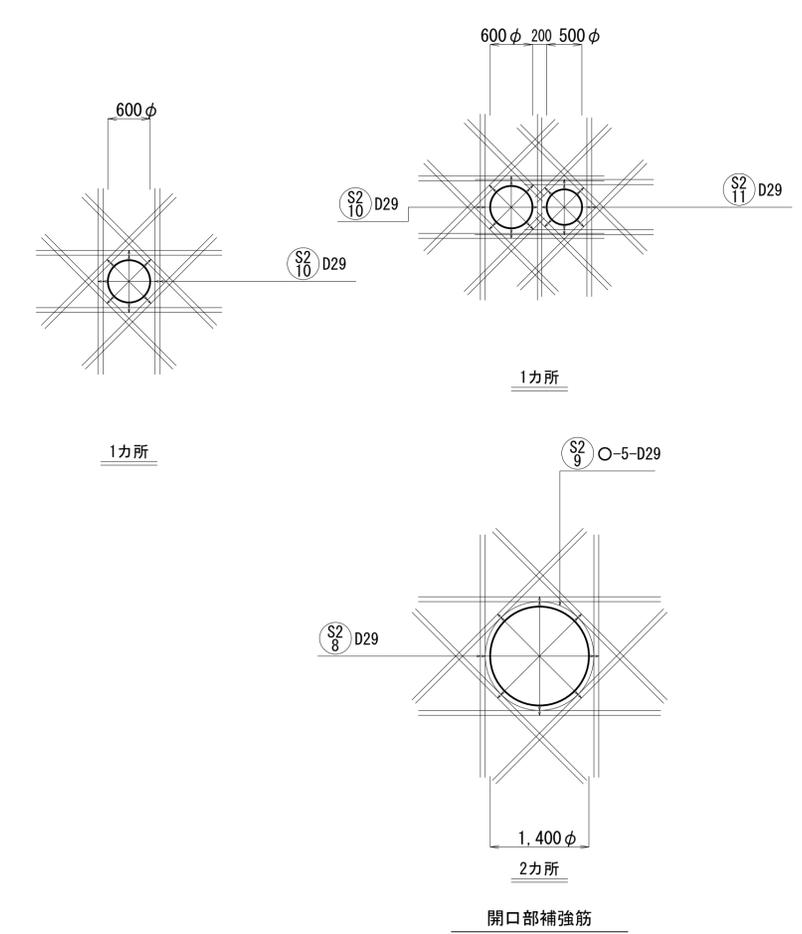
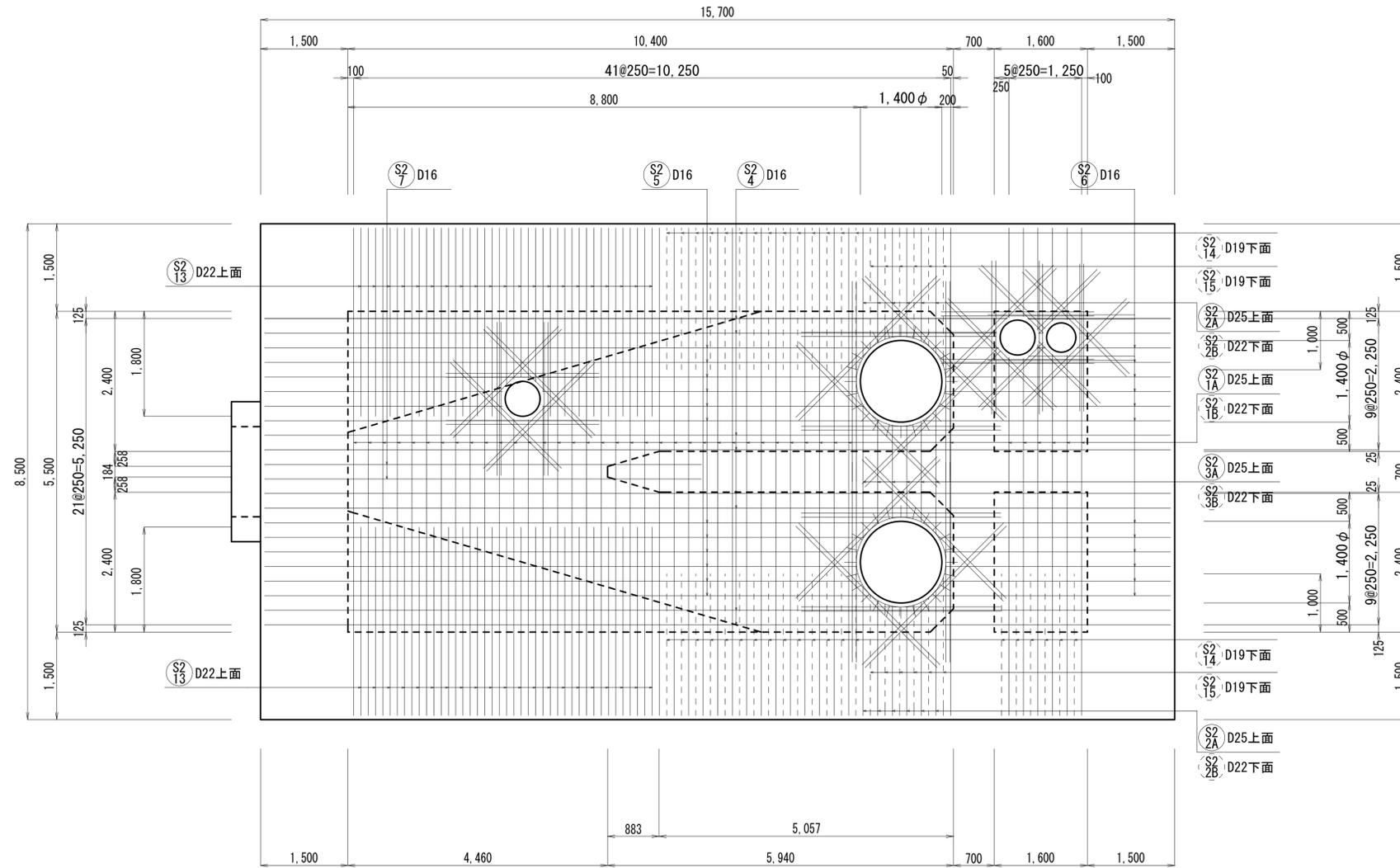


KEY PLAN

(共通事項)
 1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(8/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-8/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

吸水槽配筋図(10/11) S=1:50



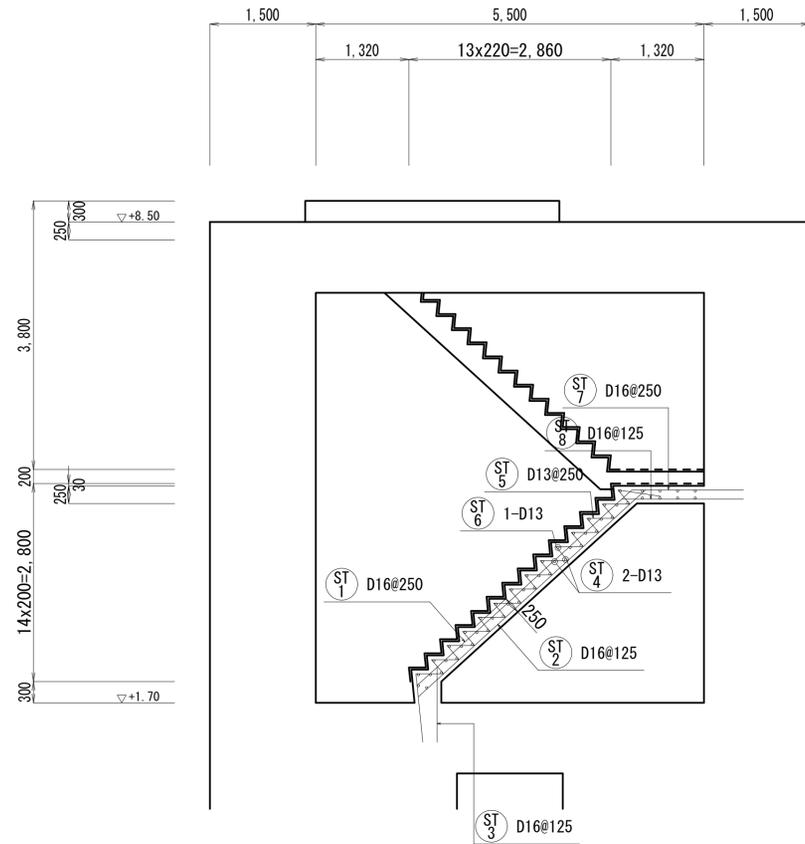
床版配筋図 1:50 S2

特記なき限り(共通事項)
 1. 鉄筋は、ダブル配筋を示し、鉄筋番号は、上面をA 下面をBとする。
 2. 床版幅止め筋は、□-D13@1,000×1,000程度とする。

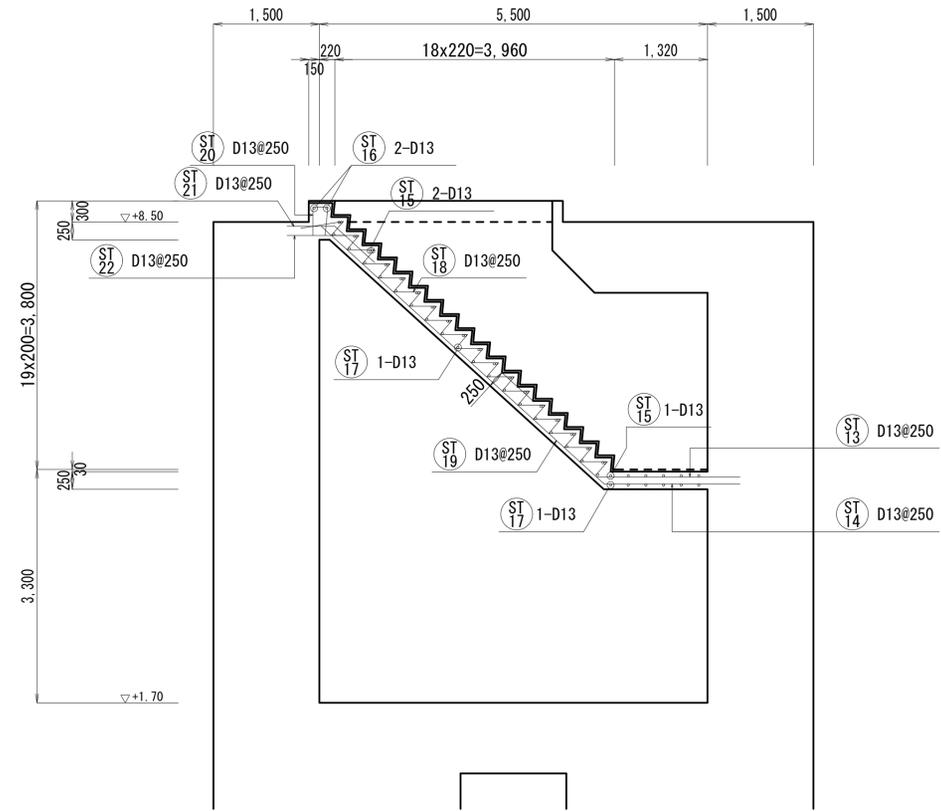
(共通事項)
 1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(10/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-10/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

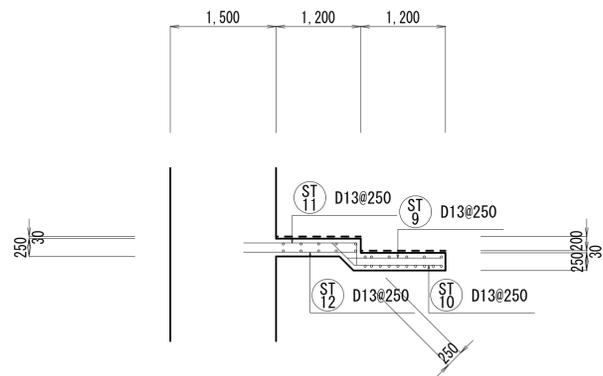
吸水槽配筋図(11/11) S=1:50



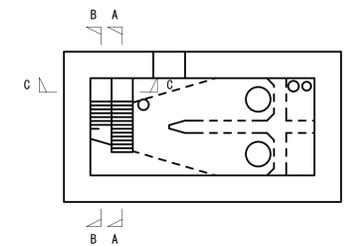
A-A 断面配筋図 1:50



B-B 断面配筋図 1:50



C-C 断面配筋図 1:50



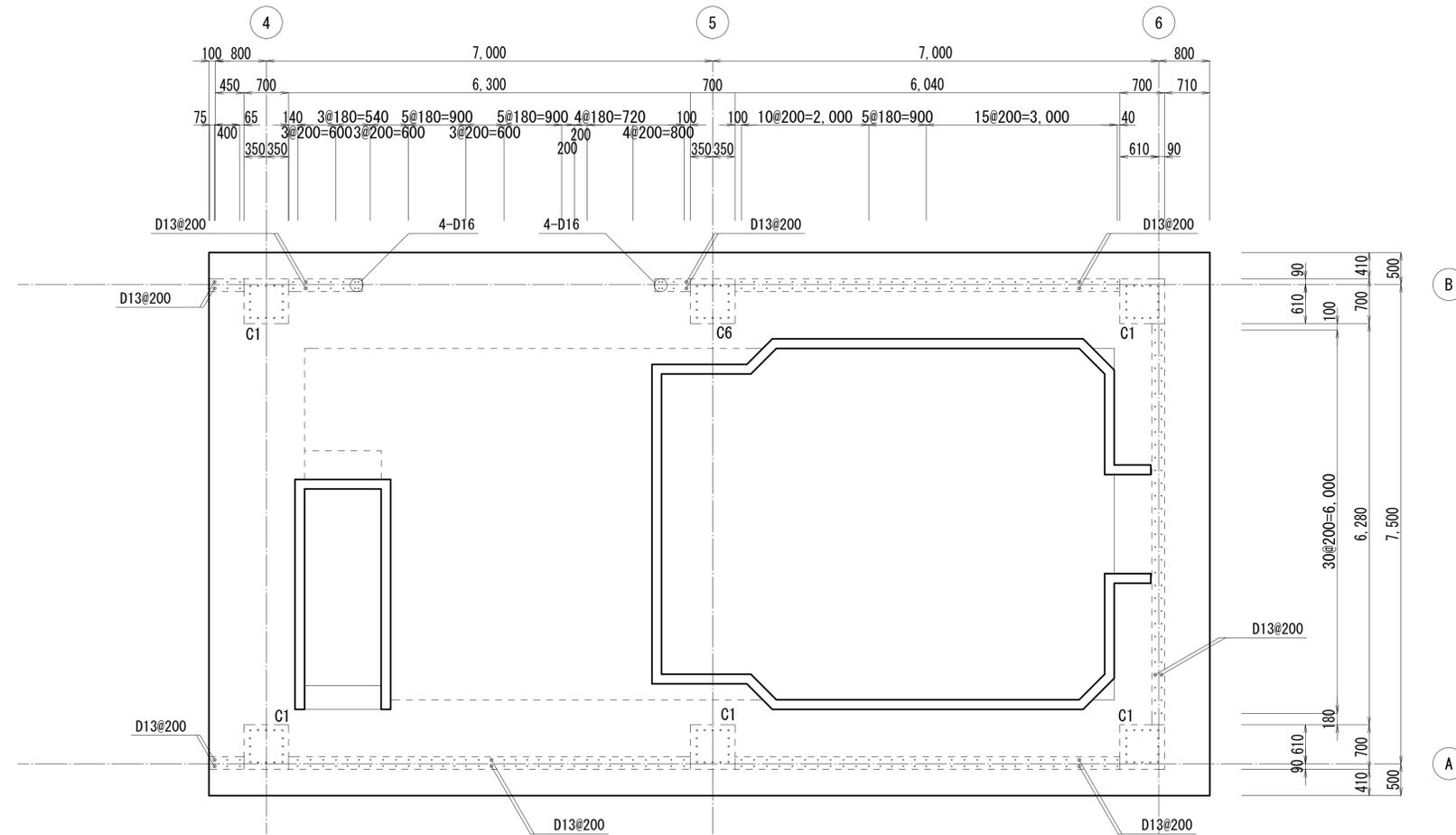
KEY PLAN

(共通事項)
1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽配筋図(11/11)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	4-11/11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

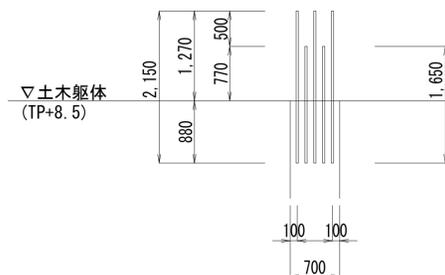
上屋差筋図

S=1:50

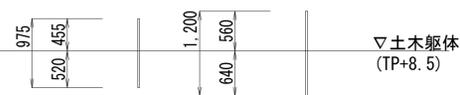


上屋差筋図 1:50

<柱筋アンカー長>
(D22)



<壁筋アンカー長>
(D13) (D16)



既設柱リスト

符 号	C1	C6
位 置	全断面	全断面
断 面		
B × D	700x700	700x700
主筋	16-D22	16-D22
HOOP	□ 2-D13@100	□ 2-D13@100

(共通事項)
1. 鉄筋は、D16以下をSD295A、D19以上をSD345とする。

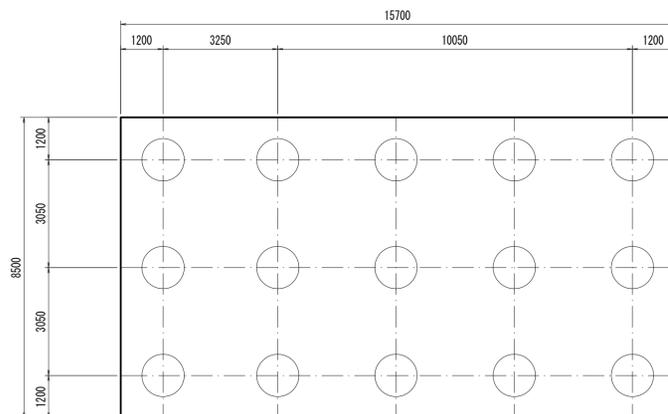
工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	上屋差筋図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	5
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

基礎杭構造図

S=1:100

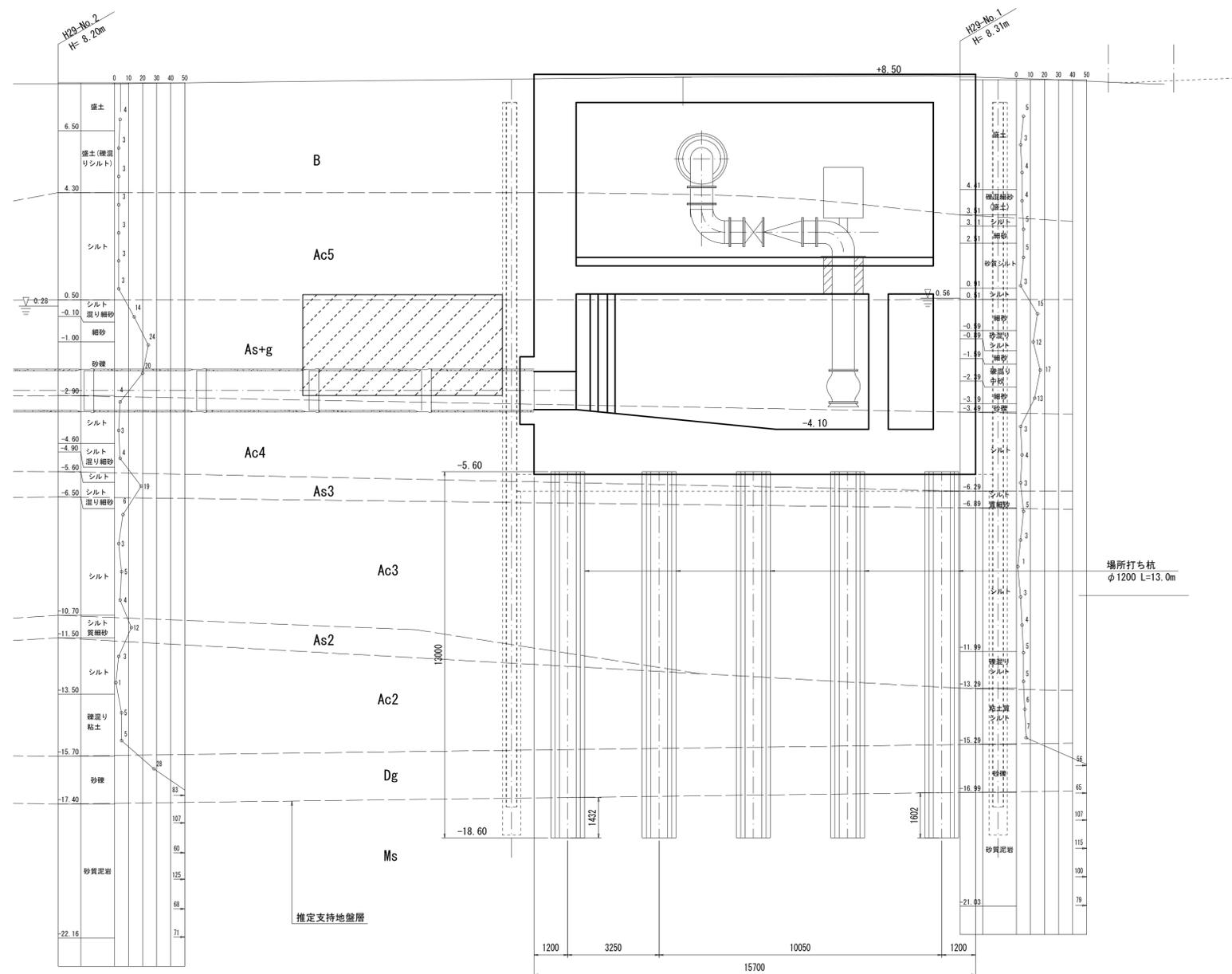
平面図

場所打ち杭
φ1200 L=13.0m N=15本



- 注 1) 工法は場所打ち杭オールケーシング工法とする。
- 注 2) 支持地盤層はあくまで推定である為、試験杭による支持層の確認を徹底すること。

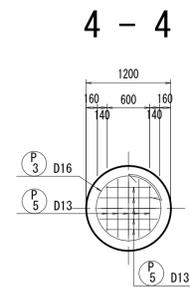
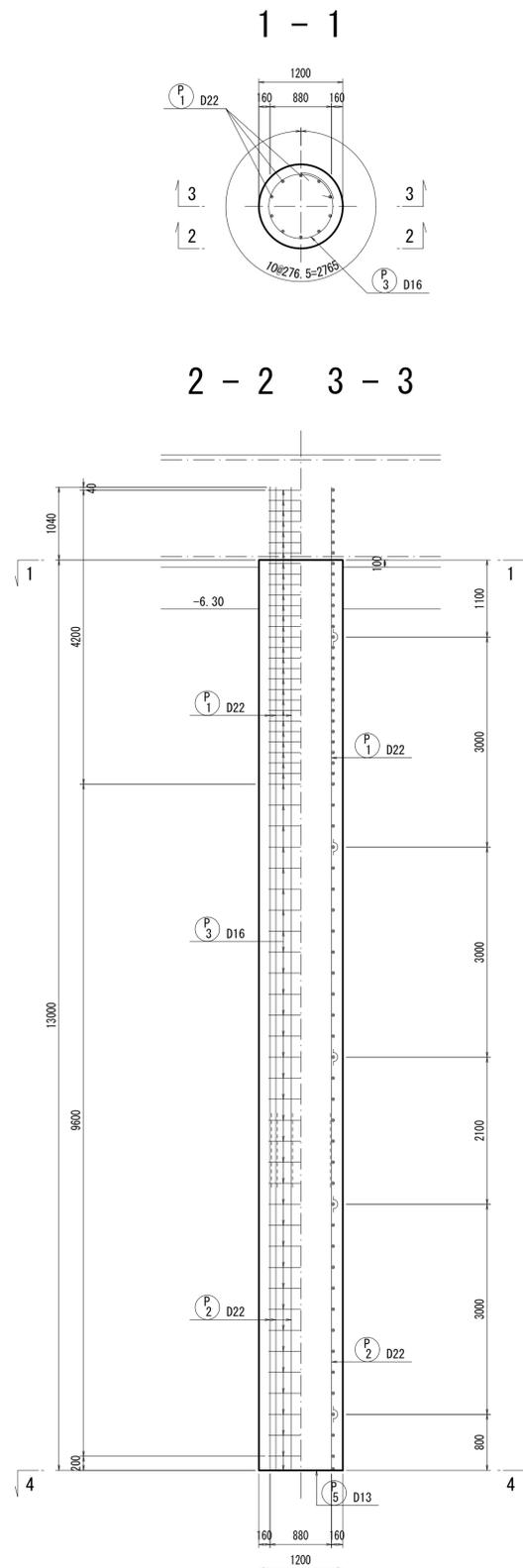
縦断図



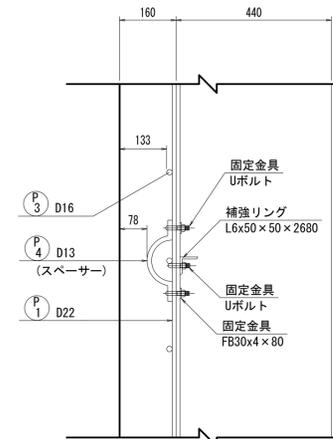
備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	基礎杭構造図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	6
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

吸水槽場所打ち杭配筋図 S=1:50



杭かぶり詳細図 S=1:10 (補強リング、スペーサー詳細図)



スペーサーは1断面あたり4か所を固定
(1交差箇所につき、上下1ヶ所ずつ金具で固定)

補強リング、固定金具

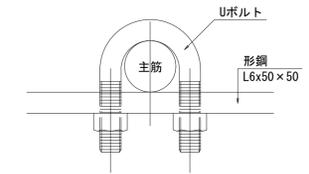
種別	長さ (mm)	本数	適要
L6x50x50	2680	5	補強リング
Uボルト	—	50	主鉄筋と補強リングの固定

スペーサー、固定金具

種別	長さ (mm)	本数	適要
スペーサー	—	20	P4鉄筋
Uボルト	—	40	スペーサーと主鉄筋の固定
FB30x4	80	40	Uボルト固定用

※Uボルト規格
D22用、SS400、変形荷重10kN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

固定金具詳細図 S=1:50



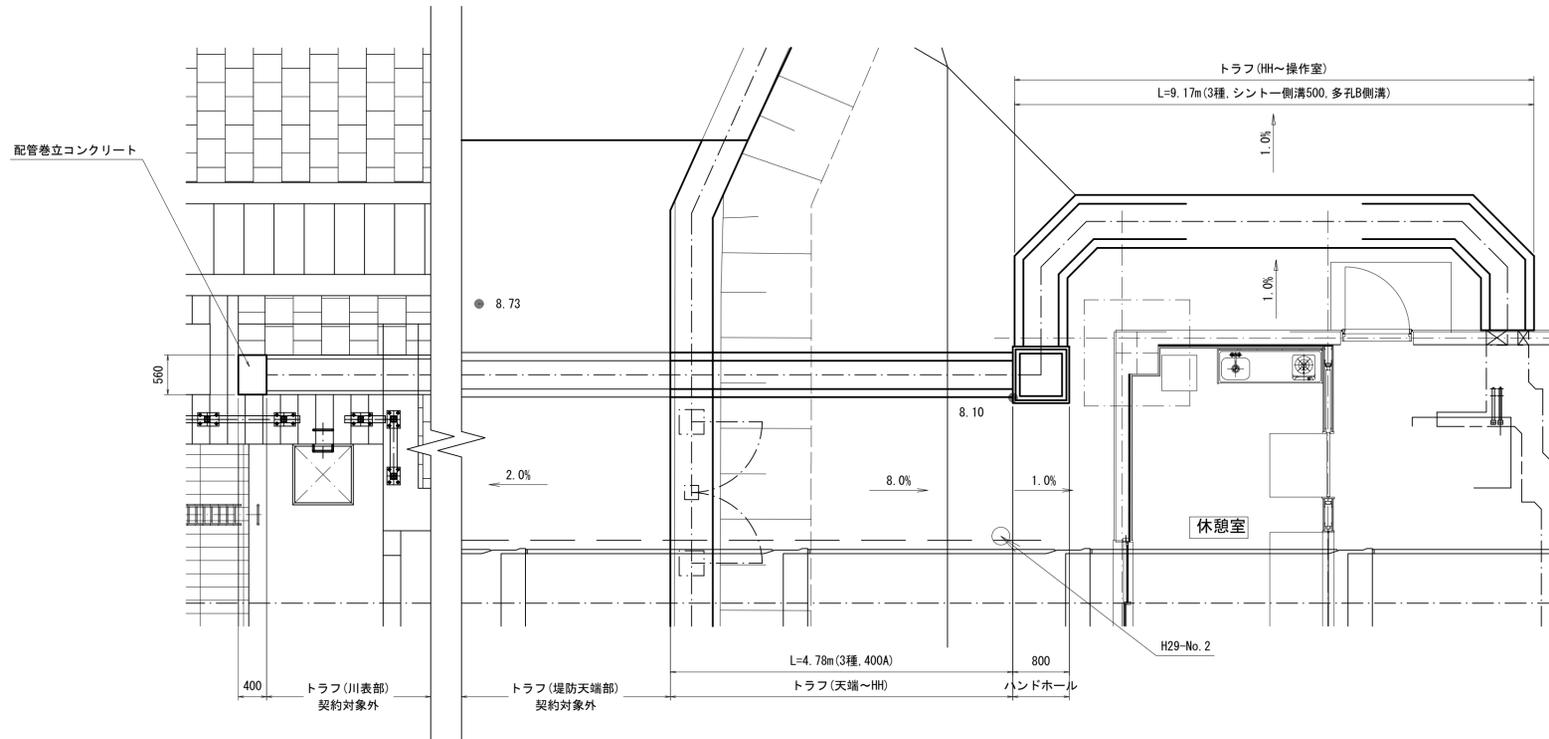
Uボルト又は同等品
主筋と補強リングは、全数金具で固定

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	吸水槽場所打ち杭配筋図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	7
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

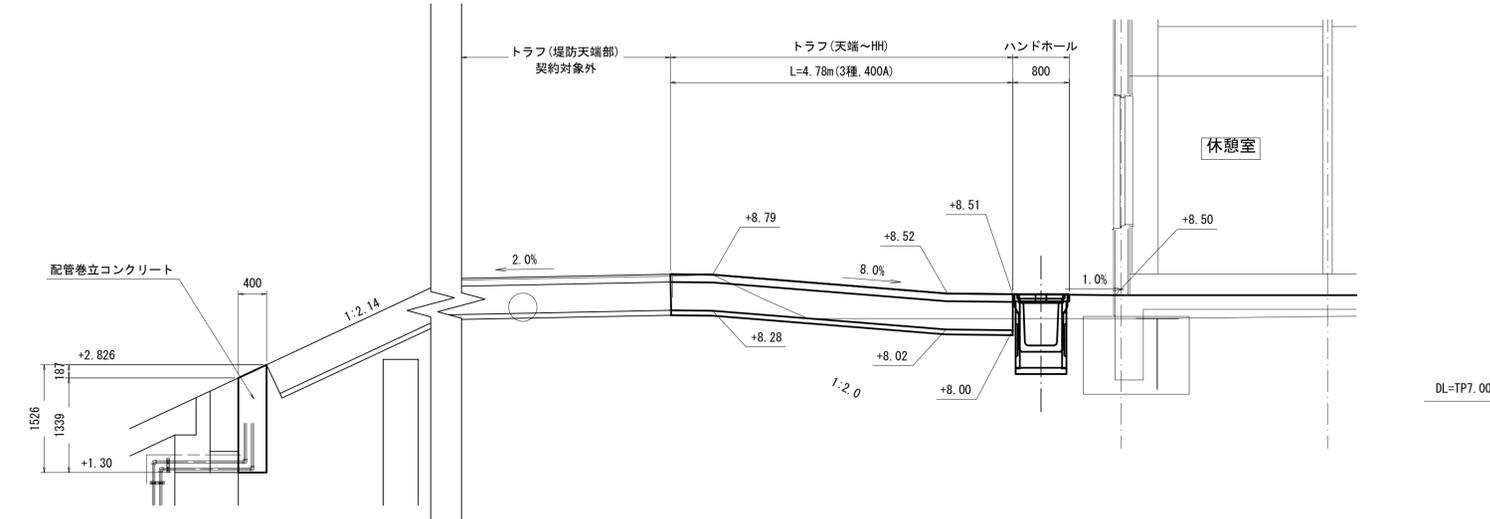
付帯工構造図

トラフ詳細図 S=1:50

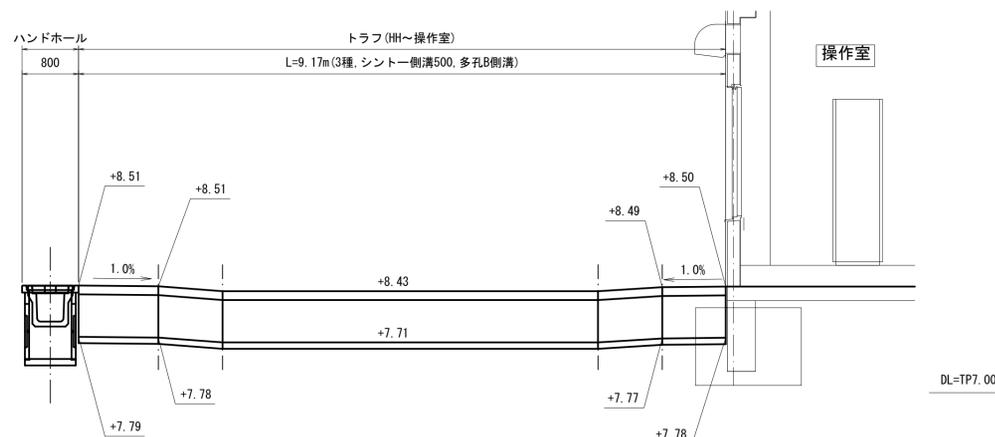
平面図



縦断図 (天端~HH)

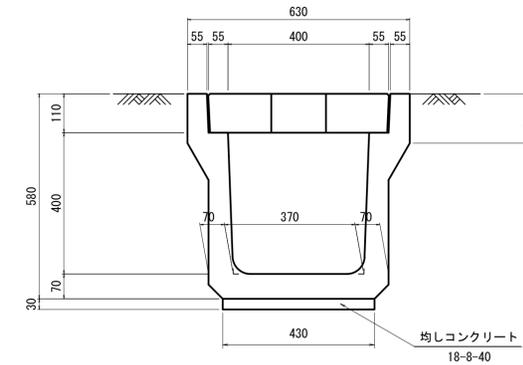


縦断図 (HH~操作室)

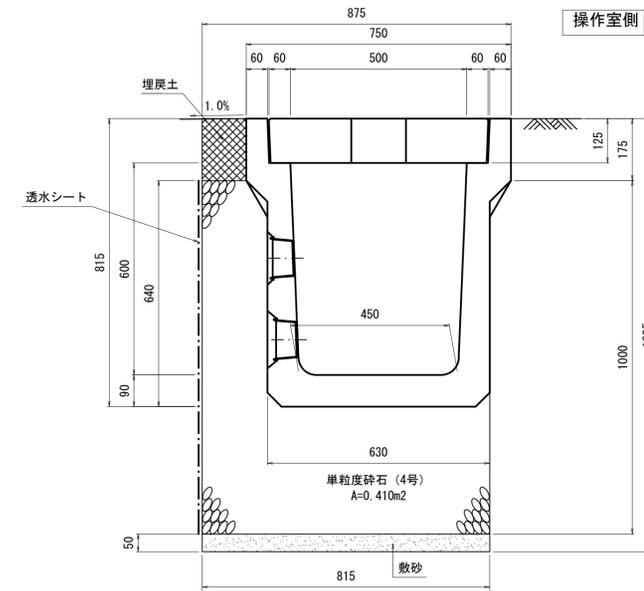


トラフ標準断面図 S=1:10

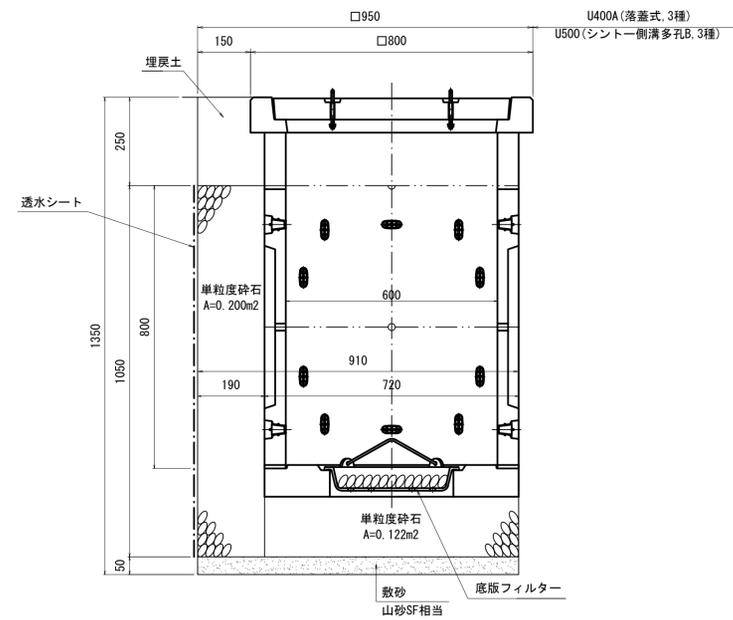
堤防天端~HH
(3種, 400A)



HH~操作室
(3種, シンター側溝500, 多孔B側溝)



ハンドホール標準断面図 S=1:10



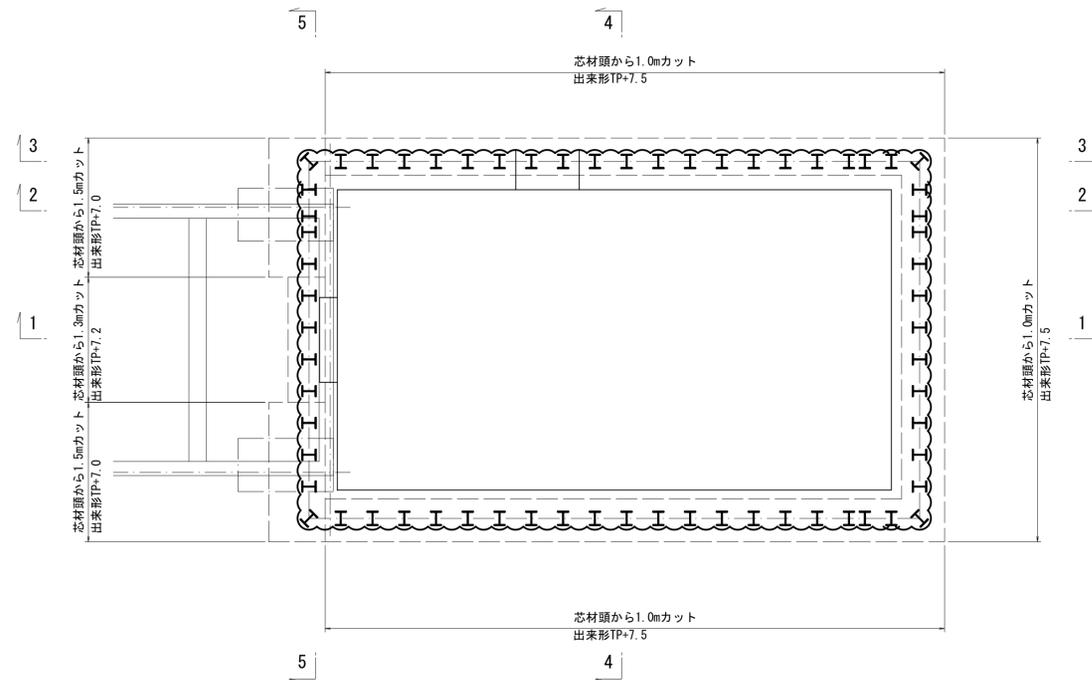
備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	付帯工構造図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

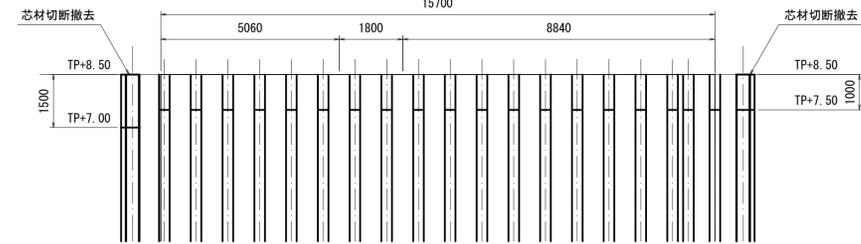
ソイルセメント系地下連続壁工法 (SMW) 切断詳細図

S=1:100

平面図



3 - 3



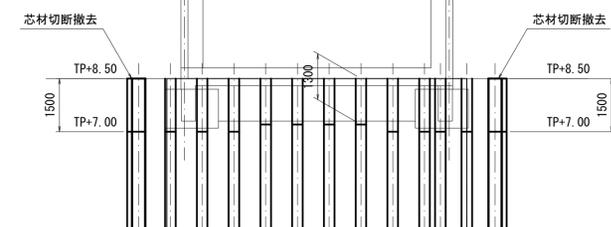
4 - 4



1 - 1



5 - 5



2 - 2



主要部材数量表

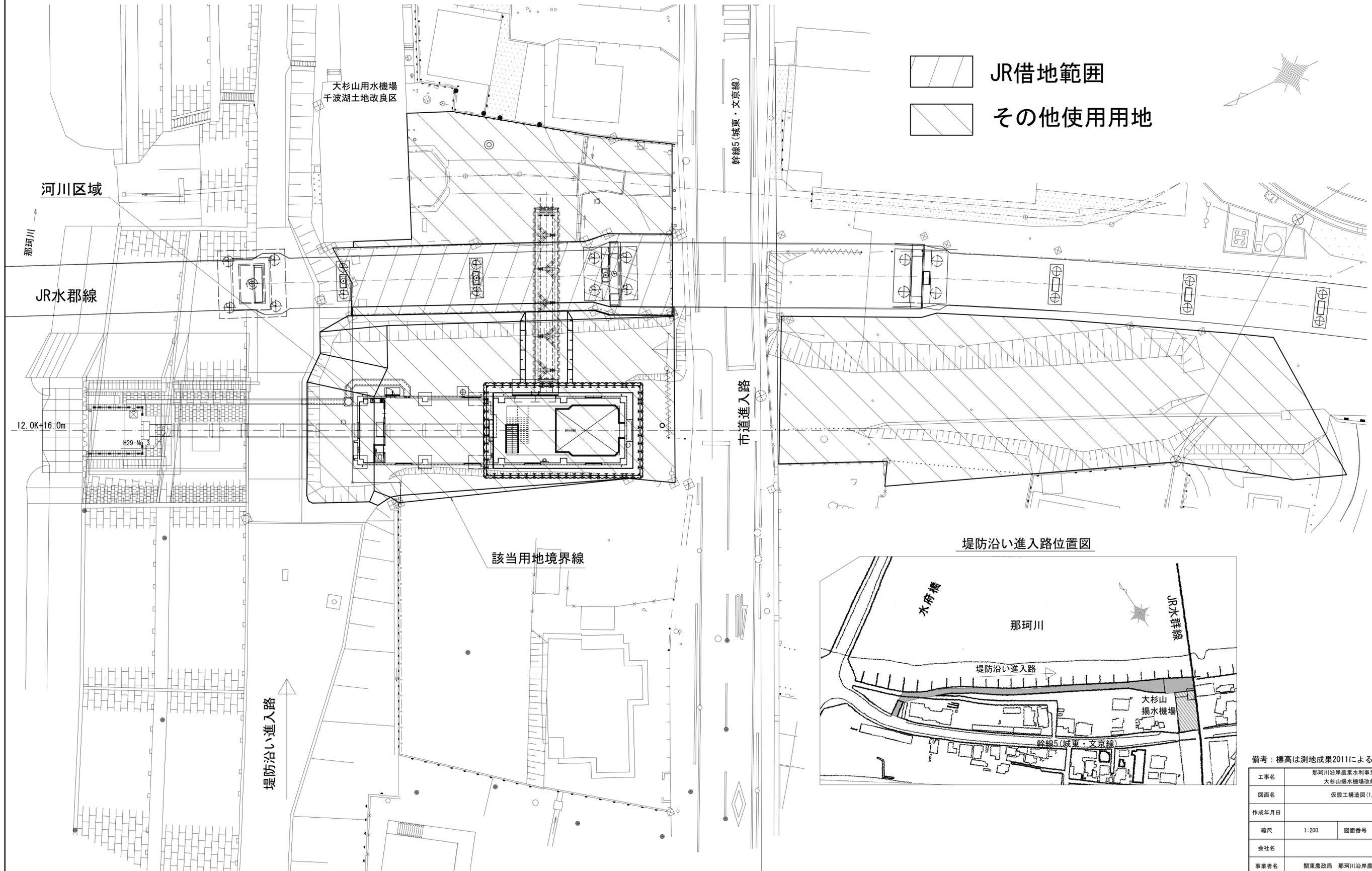
部材名	規格	本数	1本当り(m)	備考
芯材切断撤去	H-400×300×10×16	9	1.50	
	H-400×300×10×16	4	1.30	
	H-400×300×10×16	51	1.00	
合計				

注) 芯材はTP+8.50に切断済である。

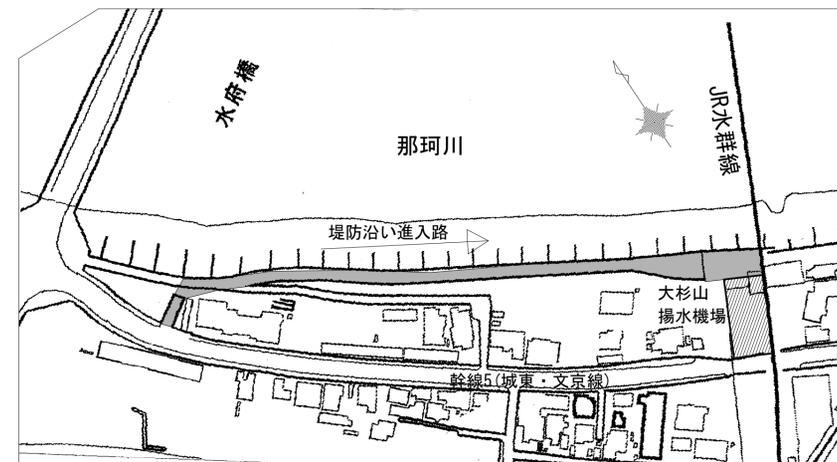
備考: 標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	ソイルセメント系地下連続壁工法(SMW)切断詳細図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	9
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

仮設工構造図(1/3) S=1:200



堤防沿い進入路位置図



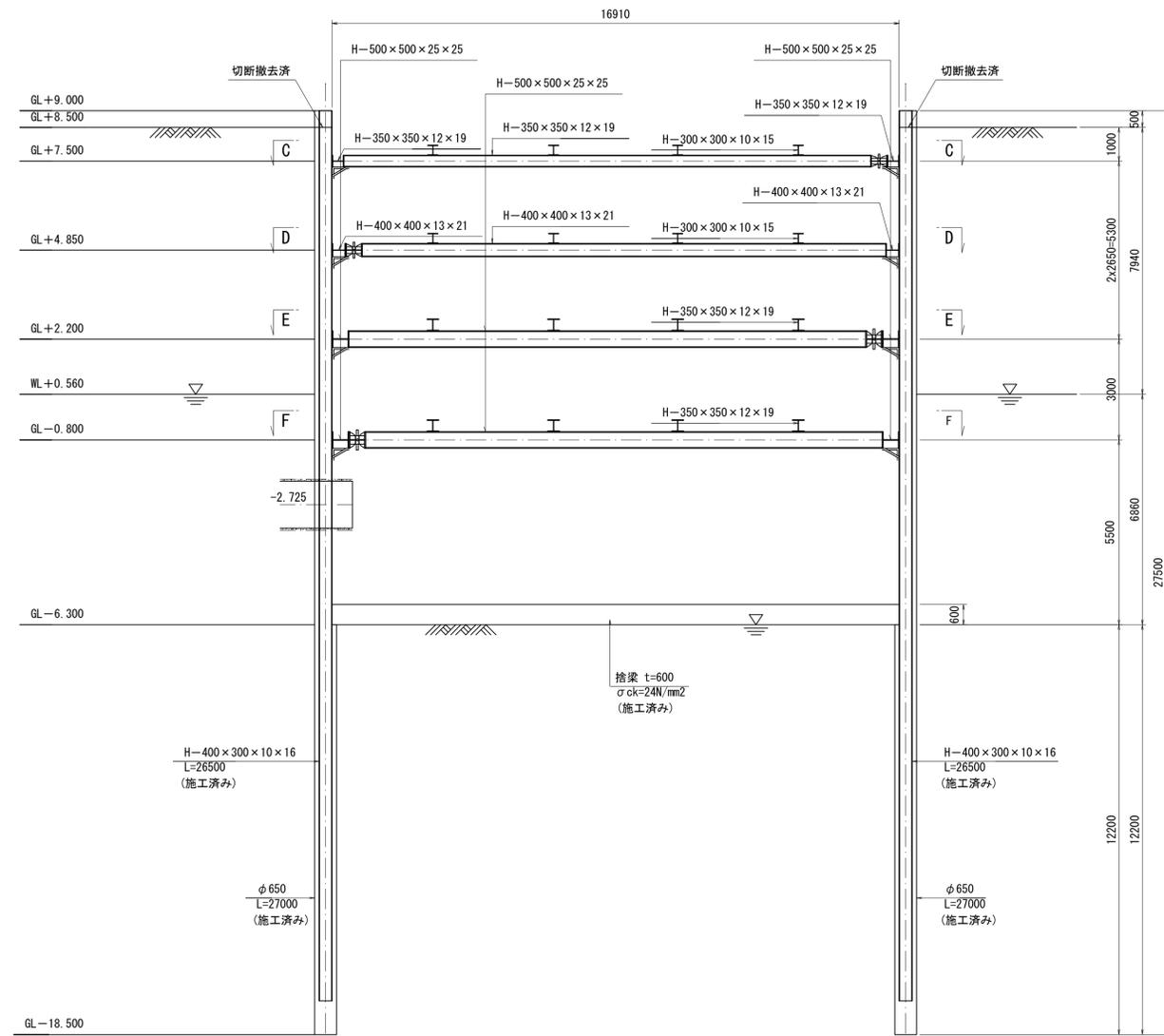
備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	仮設工構造図(1/3)		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	10 - 1/3
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

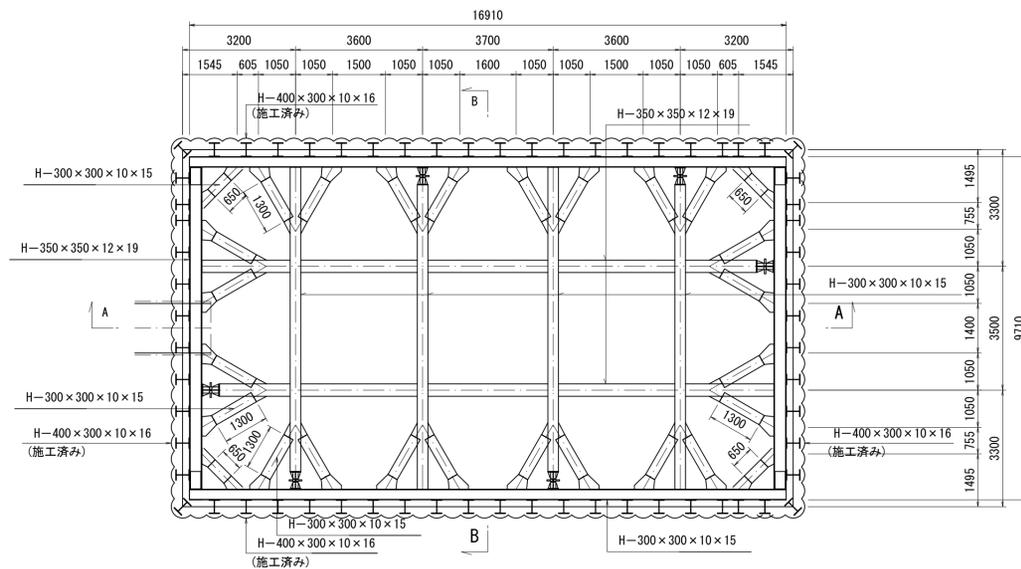
仮設工構造図(2/3) S=1:100

吸水槽部

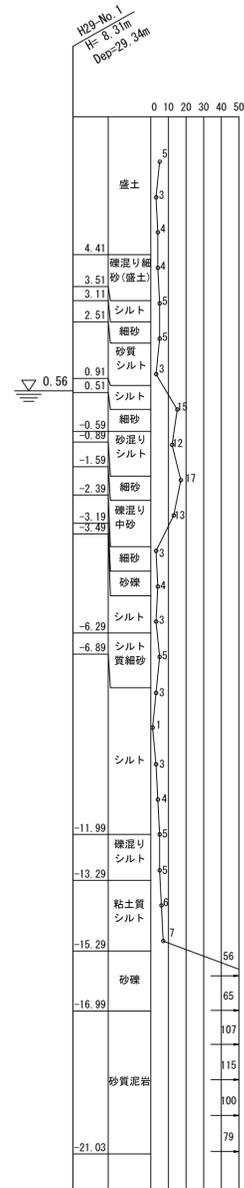
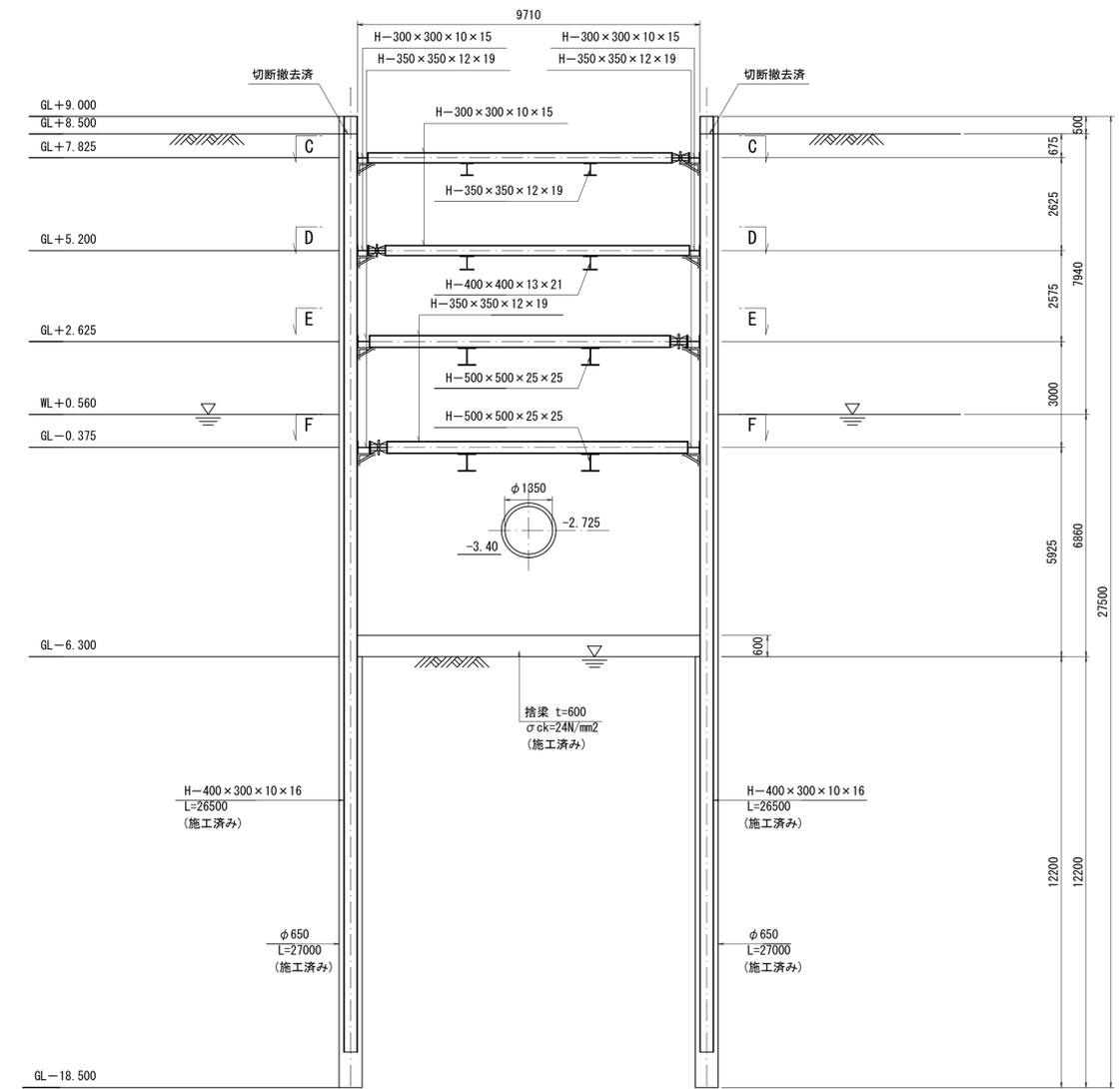
断面図 A-A



平面図 C-C



断面図 B-B



主要部材数量表

部材名	寸法	単位	数量
切ばり支保工(腹起し)	H-300×300×10×15	m	67.640
切ばり支保工(腹起し)	H-350×350×12×19	m	87.060
切ばり支保工(腹起し)	H-400×400×13×21	m	19.420
切ばり支保工(腹起し)	H-500×500×25×25	m	38.840
切ばり支保工(切ばり)	H-300×300×10×15	m	68.880
切ばり支保工(切ばり)	H-350×350×12×19	m	99.500
切ばり支保工(切ばり)	H-400×400×13×21	m	31.220
切ばり支保工(切ばり)	H-500×500×25×25	m	61.640
切ばり支保工(隅火打ち)	H-300×300×10×15	m	10.400
切ばり支保工(切ばり火打ち)	H-300×300×10×15	m	124.800
計			

備考：標高は測地成果2011による。

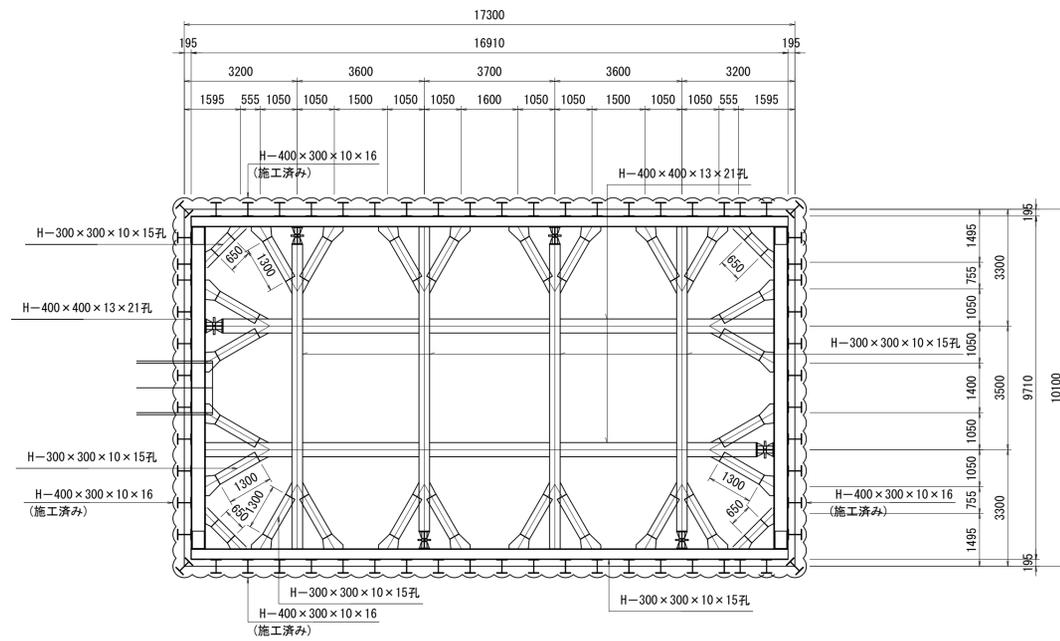
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	仮設工構造図(2/3)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	10-2/3
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

注1) 土留め壁及び捨梁は施工済みである。
注2) 掘削の余掘りは1.0mを基本とする。

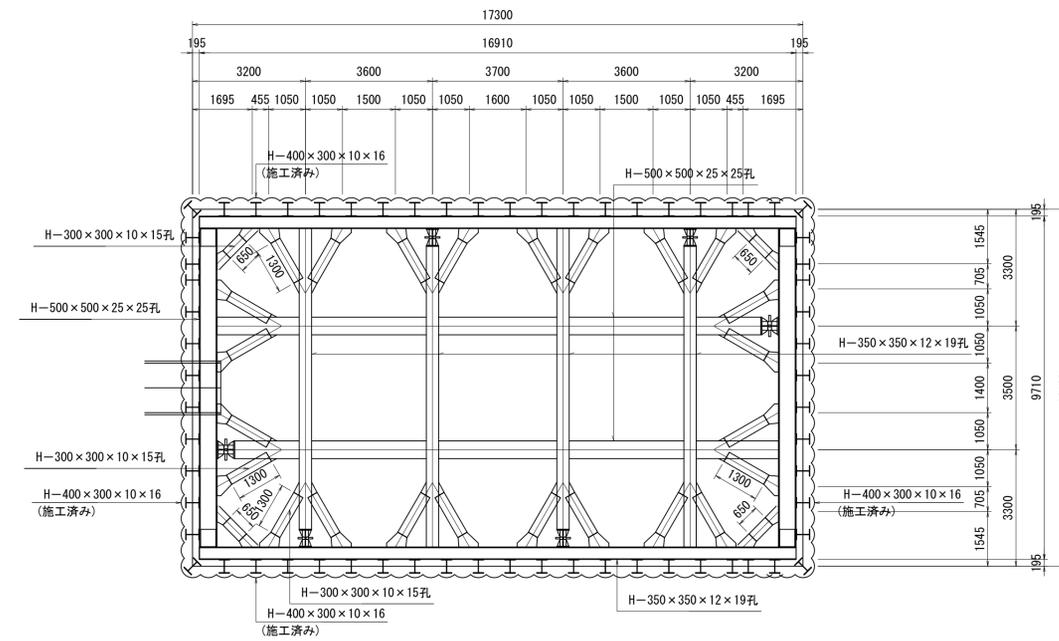
仮設工構造図(3/3) S=1:100

吸水槽部

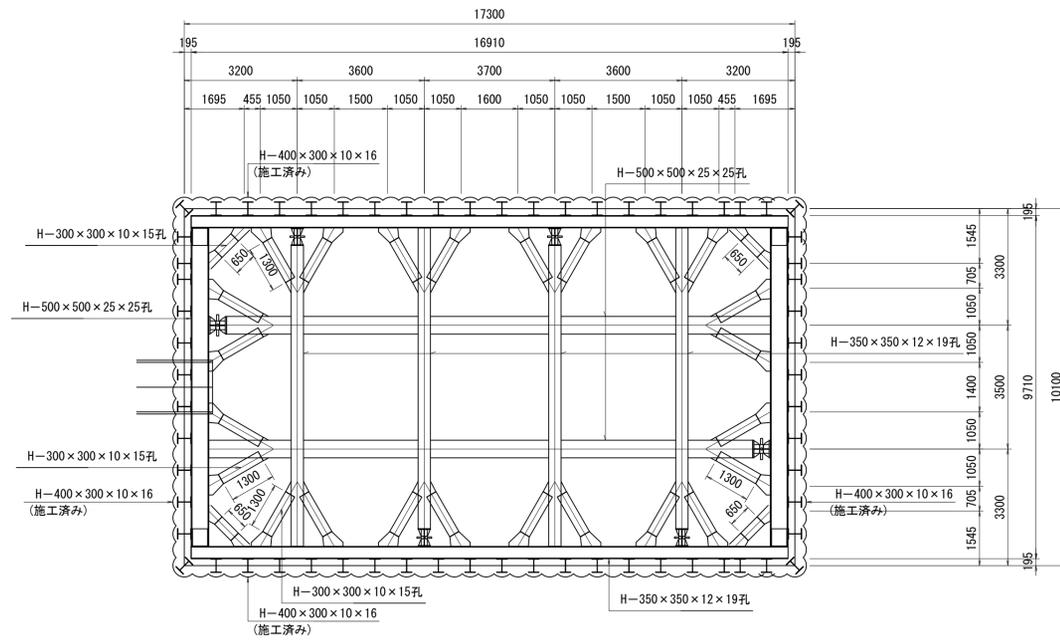
平面図
D-D



平面図
E-E



平面図
F-F



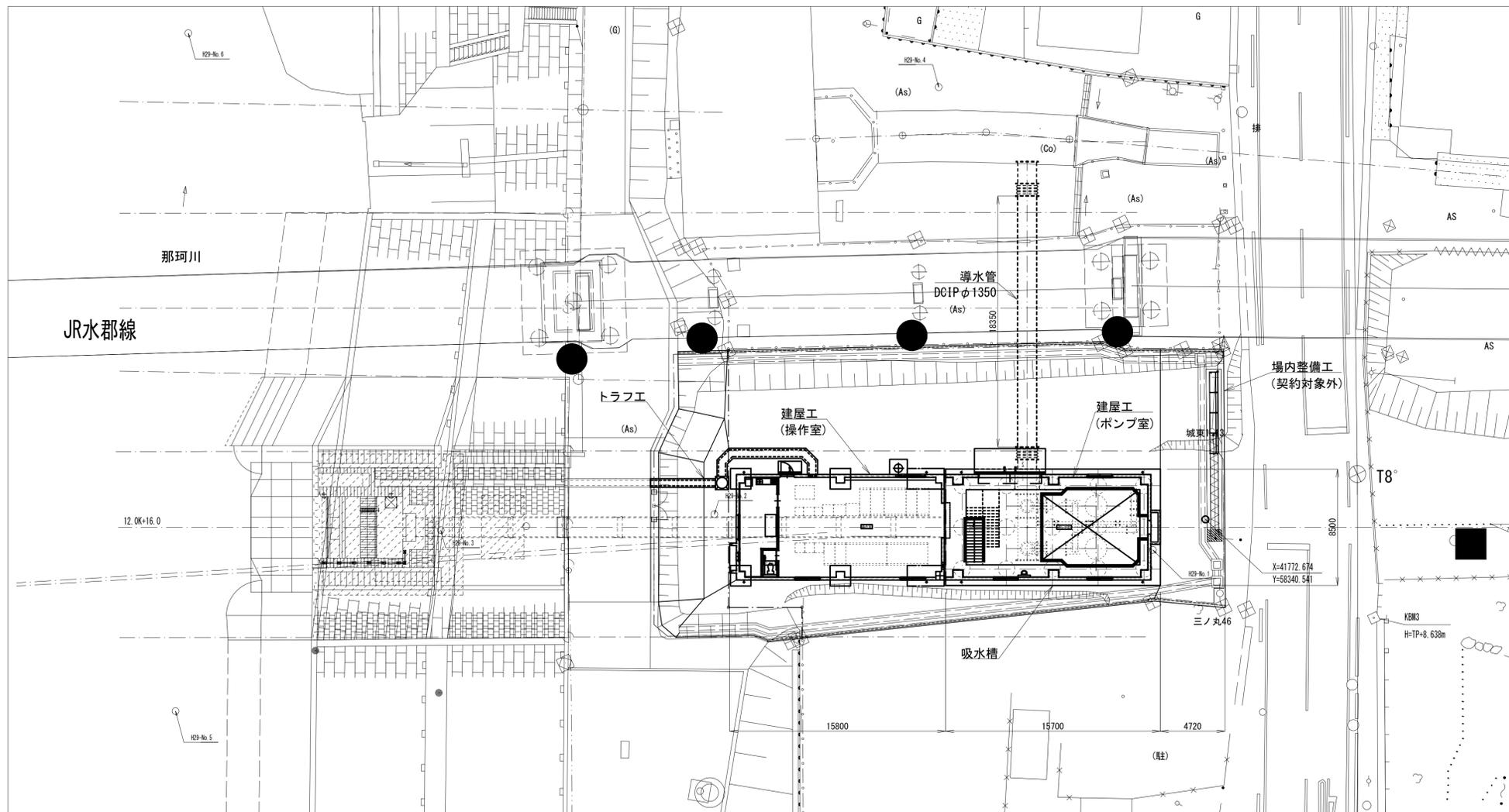
備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	仮設工構造図(3/3)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	10 - 3/3
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

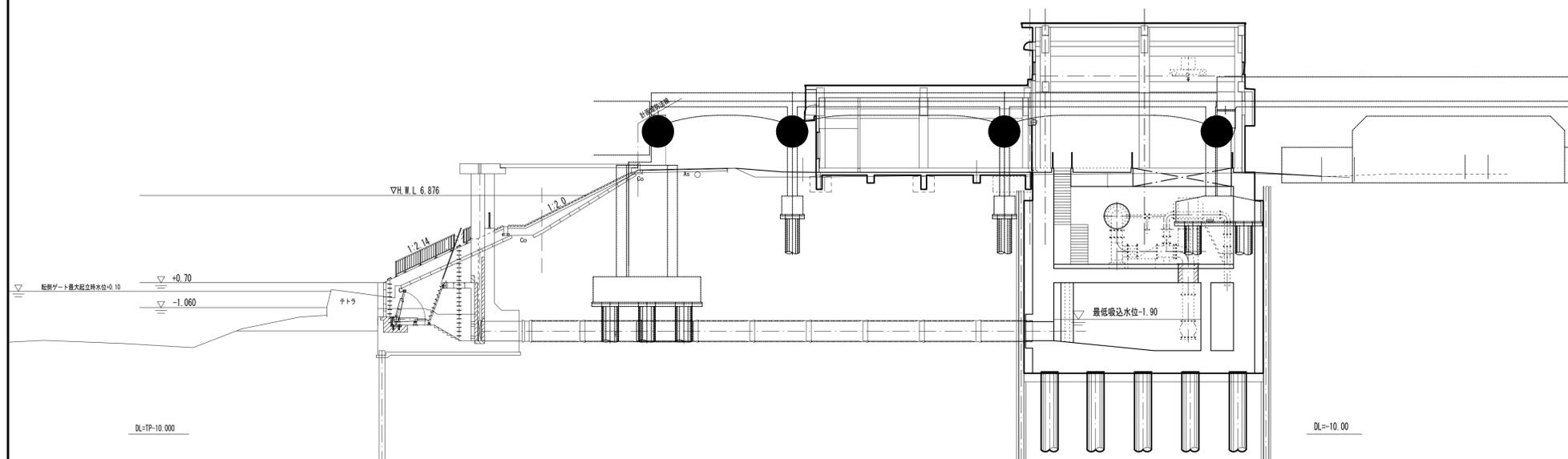
仮設計画図

S=1:200

平面図 (動態観測計画)



縦断図



凡例

仕様計器	凡例
トータルステーション	■
ターゲット (測点)	●
ターゲット (基準点)	○

備考：標高は測地成果2011による。

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	仮設計画図		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

大杉山揚水機場改修工事 建築設計図

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所	茨城県水戸市三の丸2丁目131-73.96、3丁目131-15.74.75	
2. 敷地面積	819.53 m ²	
3. 工事種目	1. 建物 1) 操作室、ポンプ室 新築1棟	
構造	鉄筋コンクリート造	
規模	地上1階、地下1階	
建築面積	225.75 m ²	(建築基準法による)
建面積	225.75 m ²	(国有財産法による)
延べ面積	288.36 m ²	(建築基準法による)
延面積	288.36 m ²	(国有財産法による)

2. 設備	1) 電気設備 2) 機械設備	新設一式 新設一式
-------	--------------------	--------------

4. 指定部分	・有 ○無	対象部分 () 指定部分工期 年 月 日
---------	-------	--------------------------

5. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
○「3. 工事種目」のうち 操作室・ポンプ室 の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

項目		
② 仮設工事	操作室・ポンプ室	
③ 土工	操作室・ポンプ室	
④ 地業工事	操作室・ポンプ室	
⑤ 鉄筋工事	操作室・ポンプ室	
⑥ コンクリート工事	操作室・ポンプ室	操作室、二次RC、床H300は別途
⑦ 鉄骨工事	ポンプ室	
⑧ コンクリート・ロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	ポンプ室	
⑨ 防水工事	操作室・ポンプ室	
10 石工事		
11 タイル工事		
12 木工事	操作室	
13 屋根及びとい工事	操作室・ポンプ室	
14 金属工事	操作室・ポンプ室	
15 左官工事	操作室・ポンプ室	
16 建具工事	操作室・ポンプ室	
17 カーテンウォール工事		
18 塗装工事	操作室・ポンプ室	操作室、ポンプ室の塗床工事は別途
19 内装工事	操作室・ポンプ室	操作室、ポンプ室のビット蓋は別途
20 ユニット及びその他の工事	操作室・ポンプ室	
21 排水工事		
22 舗装工事		
23 舗装及び屋上緑化工事		

II. 建築工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁審判部制定の下記仕様書等のうち、○を付したものを適用する。
○公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)(以下、「標準仕様書」という。)
○建築工事標準詳細図(平成28年版)(以下、「標準詳細図」という。)
・建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は()図、機械設備工事の特記仕様書は()図による。
(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のみの場合は適用しない。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 本工事に於いて、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく、「環境物品等の調達に関する基本方針(平成30年2月9日閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。なお、G印は設計図書で定めのある品目を示す。

章	項目	特記事項
---	----	------

1 一般共通事項
① 適用区分
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速 (V0= 32 m/s)
地表粗糙度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
○積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表(24)

② 環境への配慮 (1.4.1)
(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビステレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む可塑性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 材料の品質等 (1.4.2)
(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。
(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフトレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドア、可動間仕切、トップライト、鋼鉄製ふた

④ 室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9)
(1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
(2) 測定対象室及び測定箇所数は仕上り表による。
(3) 測定は、パッシング型採集機器により行う。
(4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。

⑤ 完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。
撮影部位及び箇所数 形式・サイズ 提出セット数 画素数、画質等 撮影者

外観正面 1箇所 カラー印刷紙キャビネ判 1 4500×3000ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質

上部と異なる 外部()箇所 カラー印刷紙キャビネ判 1 1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質

外部()箇所 内部()箇所 カラー印刷紙キャビネ判 1 1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質

注：※のアルバムは合わせて冊とし、黒表紙金文字入り、サイズはH320×D300程度とする。

⑥ 他工事又は他工種との取合い
工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。

2 仮設工事
① 足場その他 (2.2.4)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3 土工
① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)
埋戻し及び盛土の種類
・A種 適用場所()
・B種 適用場所()
・C種 適用場所()土質()受渡場所()
・D種 適用場所()
品質 細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。
六価クロム溶出試験 行う(現場説明書による) 行わない

② 建設発生土の処理 (3.2.5)
※現場説明書による 構内指示の場所に堆積 ○構内指示の場所に敷き均し

3 山留めの設置 (3.3.3)
設置範囲(※図示)

4 地業工事
5 鉄筋工事
6 コンクリート工事
7 鉄骨工事
特記仕様書(その7~8)による

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
① 補強コンクリートブロック造 (8.2.2、5)
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm) 120
長さ(mm) 400
高さ(mm) 200
化粧の有無 ○無・有
適用箇所 洗面取付面
各部の配筋 ※図示

2 コンクリートブロック
① 補強コンクリートブロック造 (8.3.2、3)
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm) 120
長さ(mm) 400
高さ(mm) 200
化粧の有無 ○無・有
適用箇所 洗面取付面
各部の配筋 ※図示

3 ALCパネル (8.4.2~5)
パネルの区分
単位荷重(N/m²) 厚さ(mm) 長さ(mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別
・外壁パネル 100 有(1)時間 平 窓庇 A種・B種
・間仕切壁パネル 100 有(1)時間 平 窓庇 C種・D種・E種
・屋根パネル 100 有(0.5)時間 平 F種
・床パネル 100 有()時間

4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2~5)
パネルの種類
表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考
・外壁パネル F(フット)種 50・60 600 A種 B種
T(ト)種 60
・間仕切壁パネル F(フット)種 50・60 600 B種 C種
D(デ)種 60
T(ト)種 60

外壁、屋根パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)
20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する 適用しない

出隅及び入隅のパネル接合部目地の目地幅(mm)
※長辺 8、短辺 15
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

パネルに開口	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
開口を設ける場合	長辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
開口を設ける場合	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
開口を設ける場合	長辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅

7 鉄骨工事
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm) 120
長さ(mm) 400
高さ(mm) 200
化粧の有無 ○無・有
適用箇所 洗面取付面
各部の配筋 ※図示

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
① 補強コンクリートブロック造 (8.2.2、5)
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm) 120
長さ(mm) 400
高さ(mm) 200
化粧の有無 ○無・有
適用箇所 洗面取付面
各部の配筋 ※図示

2 コンクリートブロック
① 補強コンクリートブロック造 (8.3.2、3)
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm) 120
長さ(mm) 400
高さ(mm) 200
化粧の有無 ○無・有
適用箇所 洗面取付面
各部の配筋 ※図示

3 ALCパネル (8.4.2~5)
パネルの区分
単位荷重(N/m²) 厚さ(mm) 長さ(mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別
・外壁パネル 100 有(1)時間 平 窓庇 A種・B種
・間仕切壁パネル 100 有(1)時間 平 窓庇 C種・D種・E種
・屋根パネル 100 有(0.5)時間 平 F種
・床パネル 100 有()時間

4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2~5)
パネルの種類
表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考
・外壁パネル F(フット)種 50・60 600 A種 B種
T(ト)種 60
・間仕切壁パネル F(フット)種 50・60 600 B種 C種
D(デ)種 60
T(ト)種 60

外壁、屋根パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)
20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する 適用しない

出隅及び入隅のパネル接合部目地の目地幅(mm)
※長辺 8、短辺 15
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

パネルに開口	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
開口を設ける場合	長辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
開口を設ける場合	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
開口を設ける場合	長辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅

9 防水工事
1 アスファルト防水 (9.2.2~5)(表 9.2.3~9)

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・A-1		断熱材	※F/F/F/F4L 厚さ0.15mm以上	乾式保護材
・A-2				
・A-3				
・B-1				
・B-2				
・B-3				
・A1-1		(材質) ※JIS A 9521 による押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種B A (3層付)又はJIS A 9511によるA種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 3種 (※あり)	※F/F/F/F4L 70g/m ² 程度	コンクリート押入
・A1-2				
・A1-3				
・B1-1				
・B1-2				
・B1-3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上

・乾式保護材
高業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・D-1
・D-2
・D-3
・D-4
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用する

・D1-1
・D1-2
・(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの
(厚さ) ・ 25mm

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示

9.2.2~5)(表 9.2.3~9)
屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・E-1
・E-2
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用する

・D1-1
・D1-2
・(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2種 1号若しくは 2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの
(厚さ) ・ 25mm

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示

9.3.2、3)(表 9.3.1~3)
屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-T1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

押入金物
※改質アスファルト製造所の仕様による

9.3.2、3)(表 9.3.1~3)
屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-T1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

押入金物
※改質アスファルト製造所の仕様による

9.3.2、3)(表 9.3.1~3)
屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-T1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

押入金物
※改質アスファルト製造所の仕様による

9.3.2、3)(表 9.3.1~3)
屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-T1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

押入金物
※改質アスファルト製造所の仕様による

9.3.2、3)(表 9.3.1~3)
屋根露出防水
断熱材の種類
仕上塗料
種類 使用量
高日射反射率
防水の適用

・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-T1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

・AS1-J1
・製造所の指定による
・製造所の指定による ※適用しない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

押入金物
※改質アスファルト製造所の仕様による

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	特記仕様書(その1)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	A-01
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) (表 9.4.1~3)

種別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用
				種類	使用量	
S-F1				・製造所の指定による	・製造所の指定による	
S-F2				・製造所の指定による	・製造所の指定による	
S-M1				・製造所の指定による	・製造所の指定による	※適用する
S-M2				・製造所の指定による	・製造所の指定による	
S-M3				・製造所の指定による	・製造所の指定による	※適用しない
S1-F1			(材質) ※標準仕様書 9.4.2(c)(3)(ii)による	・製造所の指定による	・製造所の指定による	
S1-F2			(厚さ) ・25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による	
S1-M1			(材質) ※標準仕様書 9.4.2(c)(3)(i)による	・製造所の指定による	・製造所の指定による	
S1-M2			(厚さ) ・25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による	

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立り部の保護
		平場のモルタル塗り	立り部の保護	
S-C1		・床塗り工法	・下地モルタル塗り	・下地モルタル塗り

ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標準仕様書 表 9.4.1、表 9.4.2 及び 表 9.4.3 による
絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状
※ 厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板

P/Cコンクリート部材下地及びALCパネル下地 種別 S-C1 の場合の目地処理
・ 行う (図示) ・ 行わない
P/Cコンクリート部材の入隅部の増張り (種別 S-F1、S1-F1、S-C1 の場合)
・ 行う (図示) ・ 行わない
ALCパネル下地の入隅部の増張り (種別 S-C1 の場合)
・ 行う (図示) ・ 行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

4 塗膜防水 (9.5.3) (表 9.5.1、2)

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反射率防水の適用
		種類	使用量		
X-1		・製造所の指定による	・製造所の指定による		※適用する
X-2	内樋	・製造所の指定による	・製造所の指定による		※適用しない
Y-1	※地下外壁防水				
Y-2	※屋内防水				

5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1、3) (表 9.6.1、2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
C-U1		C-UP	

6 脱気装置 (9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4	※ アスファルトルーフィング類	※ アスファルトルーフィング類
D1-1 D1-2 AS-T3 AS-T4	製造所の仕様による	製造所の仕様による
AS-J1 ASI-T1 ASI-J1		個/m ²
X-1	・防水層の主材料の製造所の仕様による	・防水層の主材料の製造所の仕様による

7 シーリング (9.7.2、3) (表 9.7.1)

下表以外は、標準仕様書 表 9.7.11による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

10 石工事 (10.1.8、5)

1 施工

石材の割付け ※標準仕様書 10.1.3(a)(1)、(2)による
粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ
・ 図示
・ 行う (適用場所) ・ すべて (適用場所)
・ 行わない

2 石材等 (10.2.1、3) (表 10.2.1、2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形				
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形				

テラズブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材
※石材施工業者の指定する製品 (10.2.2、3) (10.3.2、3)

3 外壁湿式工法 (10.2.2、3) (10.3.2、3)

受金物 材質 ※SS400
形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ 100mm
・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ 150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ

石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
下地ごしらえ ※ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法
・ あと施工アンカー、横筋流し工法

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※ 6以上
シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書 11.1.11による ・ 図示
シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書 9.7.3(a)(3)による ・ 図示 (10.2.2) (10.4.2、3)

4 内壁空積工法 (10.2.2) (10.4.2、3)

受金物 材質 ※SS400
形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ 100mm
・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ 150mm

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
下地ごしらえ ※ あと施工アンカー、横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅 (mm) ※ 6以上
シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない
伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書 11.1.11による ・ 図示
シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書 9.7.3(a)(3)による ・ 図示 (10.2.2) (10.5.2、3) (表 10.2.4)

5 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2、3) (表 10.2.4)

取付け方式 ・ スライド方式 ・ ロッキング方式
アンカーの材質及び形状 ※ ステンレス (SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
だぼ用の穴の位置 ※ 標準仕様書 10.5.2 (b)(1)による ・ 図示
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
目地 目地幅 (mm) ※ 8以上
シーリング材 ・ 適用する (※ 標準仕様書 9章7節による ・ 図示) ・ 適用しない

6 床及び階段の石張り (10.6.2、3)

床石張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
階段張りの裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
目地 一般目地 目地幅 (mm) ・ 図示
シーリング材 ・ 適用する (※ 標準仕様書 9章7節による ・ 図示) ・ 適用しない

7 アーチ、上げ表等の石張り (10.2.2) (10.7.1、2)

取付け金物 ※ 標準仕様書 10.2.2(c)による
引金物、だぼ、かすがい及び受金物 ※ 標準仕様書 10.2.2(a)による
ファスナー ※ 標準仕様書 10.2.2(b)のスライド式に準ずる
吊金物及び化粧吊りボルト
・ 設ける 吊金物 ※ ステンレス (SUS304) 径6mm長さ80mm (加工物)
吊りボルト ※ ステンレス (SUS304) M10化粧ナット付き
・ 設けない
アンカーの材質及び径 ・ SS400 M12 ・ ステンレス (SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
取付け工法 ・ 内壁空積工法 ・ 乾式工法
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない
目地 一般目地 目地幅 (mm) ※ 6以上
伸縮調整目地 位置 ※ 他の部位との取合い部 ・ 図示
シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書 9.7.3(a)(3)による ・ 図示 (10.2.2) (10.7.1、3)

8 柱木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1、3)

取付け金物 ※ 標準仕様書 10.2.2(c)による
引金物、だぼ、かすがい及び受金物 ※ 標準仕様書 10.2.2(a)による
ファスナー ※ 標準仕様書 10.2.2(b)のスライド式に準ずる
アンカーの材質及び径 ・ ステンレス (SUS304) M10
あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法
石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※ 標準仕様書 10.5.3(b)による
石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない

11 タイル工事 (11.1.3) (表 11.1.1)

1 伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11.1.3) (表 11.1.1)

位置 ※ 標準仕様書 表 11.1.11による ・ 図示

2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル (セラミックタイル) 張り (11.2.1、7)

位置 ※ 標準仕様書 表 11.1.11による ・ 図示

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分				役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐塩性	備考
		1等	2等	3等	4等						

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
モルタル塗りのコンクリート素地の処理 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 (高圧水洗処理) ・ 壁タイル張りの工法
外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良任意張り
内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

・ 既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による (試験方法)
建築材料等品質性能表による

・ 既製調合目地材
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による (試験方法)
建築材料等品質性能表による

3 接着剤による陶磁器質タイル (セラミックタイル) 張り (11.3.2~4、7)

位置 ※ 標準仕様書 表 11.1.11による ・ 図示

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分				役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐塩性	備考
		1等	2等	3等	4等						

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ ポリウレタン系シーリング材
びびり誘発目地 ※ ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※ 変成シリコン系シーリング材
その他の目地 ※ 変成シリコン系シーリング材
モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ・ MCR工法 ・ 目荒し工法 (高圧水洗処理) ・

4 陶磁器質タイル (セラミックタイル) 型枠先付け (11.4.2、3) (表 11.4.1)

位置 ※ 標準仕様書 表 11.1.11による ・ 図示

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分				役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐塩性	備考
		1等	2等	3等	4等						

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

タイル型枠先付けの種類

種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類
・タイルシート法	・小口タイル	※ 標準仕様書 6.8.3(b)(2)
・目地削法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル
・積木法	大形タイル	

12 木工事 (12.1.4) (表 12.1.1)

1 表面仕上げ (12.1.4) (表 12.1.1)

表面仕上げの種類	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

2 製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
			※2級		※A種・B種	
			※2級		※A種・B種	
			※2級		※A種・B種	

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
見え掛り面			※上小節		※A種 ・ B種	
見え掛り面以外			※小節以上		※A種 ・ B種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用
			※1等		※10%以下	・A種・B種
			※1等		※10%以下	・A種・B種

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の材面の品質	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
			()			※A種・B種	
			造作材の場合 (※A種・B種)				

・代用樹種を使用できない箇所 ()

3 造作用集材材 (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
			※1等 ・ 2等	
			※1等 ・ 2等	
			※1等 ・ 2等	

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・ 2等	
					※1等 ・ 2等	
					※1等 ・ 2等	

・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用
					※15%以下
					※15%以下
					※15%以下

4 造作用単板積層材 (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・有り (加工: 天然木加工・塗装加工)		
		・無し (等級: 1等・2等・3等)		

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等の適用
					※14%以下

5 床張り用合板等 (12.2.1)

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
①「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
休憩室・トイレ・脱衣室	※5.5		※1類	広葉樹 ※2等以上	・1等	
	①12		・2類	針葉樹 ※C-D以上		
	※5.5		※1類	広葉樹 ※2等以上	・1等	
			・2類	針葉樹 ※C-D以上		

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 (12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理の適用	強度等級	間伐材等の適用
		※12		・1級	・特類	※C-D以上			・指定する () ・指定しない

②パーティクルボード (12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
休憩室・トイレ・脱衣室	※15		※13タイプ	※P又はM	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	等級
		・1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級

6 接着剤 (12.2.2、3)

接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 (12.3.1、2)

7 防虫・防蟻処理 (12.3.1、2)

・防虫・防蟻処理に不要な樹種による製材
適用部位: ()

・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・ K3 ・ K4
	・K2 ・ K3 ・ K4
	・K2 ・ K3 ・ K4

・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※標準仕様書 12.3.1(3)(ii)①~④による
	※標準仕様書 12.3.1(3)(ii)①~④による
	※標準仕様書 12.3.1(3)(ii)①~④による

・ボード原料接着材への薬剤混入による防虫・防蟻処理
適用部位 ()

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	特記仕様書 (その2)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	A-02
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

13 屋根及び土工

13 長尺金属板葺 (13.2.2, 3)
2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2, 3) (表 13.2.1)
3 粘土瓦葺 (13.4.2, 3)
4 とい (13.5.2, 3) (表 13.5.5)

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表 14.2.1)
3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表 14.2.2)
4 軽量鉄骨天井地下 (14.4.2~4) (表 14.4.1)

5 軽量鉄骨壁地下 (14.5.3) (表 14.5.1)
6 金属成形板張り (14.6.2, 3) (表 14.2.1)
7 アルミニウム製笠木 (14.7.2, 3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)
8 手すり及びタラップ (14.8.2, 3)

15 左官工事

1 モルタル塗り (15.2.2, 5)
2 床コンクリートの直直し仕上げ (6.2.5) (15.3.2)
3 セルフレベリング材塗り (15.4.2) (表 15.4.1)
4 仕上塗材仕上げ (15.5.2)
5 ALCパネルの場合の地下処理 (15.5.4)

6 マスチック塗料塗り (15.6.2)
7 ロックウール吹付け (15.8.2, 3)
16 建具工事
1 防火戸 (16.1.3)
2 見本の製作等 (16.1.4)
3 防犯建物部品 (16.1.6)
4 アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5) (表 14.2.1)
5 網戸等 (16.2.3)
6 樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2~5)
7 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表 16.4.2)

8 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)
9 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)
10 木製建具 (16.7.2~4)

工事名: 那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事
図面名: 特記仕様書(その3)
作成年月日:
縮尺: NON
図面番号: A-03
会社名:
事業者名: 関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所

11 建具用金物 (16.8.2, 3) (表16.8.1)
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による
樹脂製建具に使用する寸番 ※標準仕様書表16.8.3による
握り玉、レバーハンドル、押板、クレセントの取付け位置 ・建具表による

12 鍵 (16.8.4)
マスターキー ○ 製作する ・ 製作しない
その他の鍵 ※ 各室3本1組
鍵箱 ※ 有 ・ 無

13 自動ドア開閉機構 (16.9.2, 3) (表16.9.1, 2)
自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止
・SSL-1 ※標準仕様書表16.9.1による
・SSL-2
・DSL-1
・DSL-2

14 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)
性能 ※標準仕様書表16.10.1による
(試験)
建築材料等品質性能表による

15 重量シャッター (16.11.2, 3)
シャッターの種類 耐風圧強度
○管理用シャッター 耐風圧強度(800) N/m²
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m²
・屋内用防火シャッター
・屋内用防塵シャッター

16 軽量シャッター (16.12.2~4)
開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用)
耐風圧強度() N/m²
スラットの材質
○JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっき付着量(※Z06又はF06)
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量(※A290)

17 オーバーヘッドドア (16.13.2, 3)
セクション材料 耐風圧 区分 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・125(1250Pa) ※バランスタイプ ・スタンダード形 ※溶融亜鉛
・アルミニウムタイプ ・100(1000Pa) ・チェーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板
・ファイバーグラスタイプ ・75(750Pa) ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板
・50(500Pa) ・パーチカル形

18 ガラス (16.14.2~4) (表16.14.1)
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・合わせガラス
種類 構成種類 性能
・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類
・熱線吸収、フロート板合わせガラス
・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・II-1類 ・II-2類
・網入磨き、熱線吸収合わせガラス ・III類
・強化ガラス
材料板ガラスの種類 種類 性能
・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I類 ・III類
・熱線吸収強化ガラス
・型板ガラス ・型板強化ガラス
・熱線吸収板ガラス
種類 性能 色調
・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス

19 ガラスブロック (16.14.5)
種類 記号
○断熱複層ガラス
・1種 U1
・2種 U2
・3種 U-3-1 ・U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス
・4種 E4
・5種 E5
・熱線反射ガラス
品種 日射熱遮へい性 耐久性
・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー) ・1種 A種
・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー) ・3種 B種

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ○シーリング材 ・ガスケット ※標準仕様書表16.14.1による
・グレイジングチャンネル形
鋼製及び鋼製軽量 ○シーリング材 ※標準仕様書表16.14.1による
・図示
ステンレス製 ・シーリング材 ※標準仕様書表16.14.1による
・図示

表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整目地(mm) 防火性能
・125×125 80 ・ ・ ※8~15 外側 ※15以下 ※6m以下ごとに幅10~25
・160×160 95 ・ ・ ・ 15~25 ・ ・ ・ 幅10~25
・200×200 125 ・ ・ ・ 内側 ※6以上 ・ ・ ・ ※無し・有り
・320×320 95 ・ ・ ・
・250×125 80 ・ ・ ・
・320×160 95 ・ ・ ・

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける(形状 ※図示)
・ 設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状横筋及び単筋
化粧目地モルタルの色()
金属強化紐カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ※図示
形状 ※図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地部の力骨の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示

1 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.3)
取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式
性能
耐震性能
水平方向(kH) 垂直方向(kV) 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度差性能
・1.0 ・0.5
耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)
支点間距離(h) 耐風圧性能 状態
4m以下 ・たわみ量が±(1/500)×h かつ絶対量20mm以下であること 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。
4mを超える ・

層間変位係数
建築物の構造種別 層間変位量(h=支点間距離) 変位後の状態
鉄骨造 ・ ±(1/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること。
鉄筋コンクリート造 ・ ±(1/300)×h以上 シーリングは補修程度の損傷であること。
鋼骨鉄筋コンクリート造

シーリング材
下表以外は標準仕様書表9.7.1による
被着体の組合せ 記号 シーリング材の種類
主成分による区分
金属 ガラス
石、タイル
ガラス ガラス
カーテンウォール板間目地

21 カーテンウォール工事
カーテンウォール板間目地
被着体の組合せ 記号 シーリング材の種類
主成分による区分
金属 ガラス
石、タイル
ガラス ガラス
カーテンウォール板間目地

22 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

23 塗装工事
①材料 (18.1.3)
屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)
(18.2.2~7)
②素地ごしらえ
③錆止め塗料塗り (18.3.2, 3)
④塗装 (18.4.1~18.4.2)
⑤合成樹脂塗料 (19.4.2, 3) (表19.4.4, 5)

24 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

25 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

26 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

27 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

28 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

29 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

30 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

31 内装工事
19 ①接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示

32 ビニル床シート (19.2.2, 3)
種類 JIS 記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考
○発泡層のないもの ※FS(複層ビニル床シート) トイレ ・無地 ・帯電防止 ※2.0
・発泡層のあるもの ・無地 ・帯電防止 ・耐動荷重性
・無地 ・防汚性
・柄物 ・耐薬品性

33 ビニル床タイル (19.2.2)
JIS記号 施工箇所 色柄 寸法(mm) 特殊機能 厚さ(mm) 備考
・FT (複層ビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※2.0
・柄物 ・450×450 ・防汚性 ・2.5
・3.0
・KT (コブシシボビニル床タイル) ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0
・柄物 ・450×450 ・防汚性 ・3.0
・FOA (蓋敷きビニル床タイル) ・無地 ・500×500 ・帯電防止
・柄物 ・防汚性

34 ビニル幅木 (19.2.2)
材質 ・軟質 ○硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上

35 ゴム床タイル (19.2.2)
色柄 ()
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) ()
36 カーペット敷き (19.3.3, 4) (表19.3.1)
・ 織じゅうたん
種類 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考
・A種 ・カトハバ 織り方 ・ウルトンカーペット ・無地 ・適用する
・B種 ・ルーフバ 織り方 ・ダブルウルトンカーペット(標準品) ・柄物 (性能: ※人体帯電圧3kV以下)
・C種 ・カト、ルーフ併用 ・7.5mmウルトンカーペット ・適用しない

下敷き材
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm
・ タフテッドカーペット
バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考
・カトハバ 5~7 ・ ※全面接着工法 ・ 適用する
・ルーフバ 4~6 ・ ・ グリッパ工法 (性能: ※人体帯電圧3kV以下)
・カト、ルーフ併用 ・4 ・ ・ 適用しない

下敷き材(グリッパ工法の場合)
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm
・ ニードルパンチカーペット
厚さ(mm) () 帯電性 ・ 適用する(性能: ※人体帯電圧3kV以下)
・ 適用しない
備考()
・ タイルカーペット
バイル形状 種類 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考
※ルーフバイル ※第一種 ・ ※500×500 ※6.5
・第二種
・ カットバイル ・第一種 ・ ※500×500 ・6.5
・第二種
・ カット・ルーフ併用 ・第一種 ・ ※500×500 ・6.5
・第二種

タイルカーペットの敷き方
平 場 ※市松敷き ・ 模様流し
階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き
見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、形状等 ※図示)
・ 適用しない
(19.4.2, 3) (表19.4.4, 5)
種類 施工箇所 工法 仕上げの種類
○厚膜型塗床材(弾性ウレタン樹脂系塗床) ※平滑仕上げ
(弾性ウレタン樹脂系塗床) ・ 薄膜流し展べ工法 ・ 平滑仕上げ
・ 厚膜流し展べ工法 ・ 平滑仕上げ
・ 樹膜流し展べ工法
・ 厚膜型塗床材(弾性ウレタン樹脂系塗床) ※平滑仕上げ
(弾性ウレタン樹脂系塗床)
・ アクリル樹脂系塗床(防塵塗料塗り) ※製造所の指定による
工法
塗布量(kg/m²)
※0.25kg/m²以上
表面仕上げ
※平滑 ・ 防滑
溶剤
※水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系
仕上げ色
※標準色

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
工事名 那珂川沿岸農業水利事業(一期)
大杉山揚水機場改修工事
図面名 特記仕様書(その4)
作成年月日
縮尺 NON 図面番号 A-04
会社名
事業名 関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所

⑧ フローリング張り

単層フローリング (表 19.5.2~6) (表 19.5.1~5)
種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用
・フローリングボード1等

複合フローリング (表 19.5.2~6) (表 19.5.1~5)
種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種類 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用
○天然化粧複合フローリング

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外
接着工法の場合の表面被覆材 ※合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ○行方 (施工箇所 休憩室)

9 畳敷き (表 19.6.2) (表 19.6.1)
種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.11による床組

⑩ せっこうボードその他のボード張り

種類 JIS記号 厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板
・中質木毛セメント板
・普通木毛セメント板

11 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (表 19.8.2, 3)
施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考

⑫ 断熱材

断熱材の種類 ※A種1 ・B種1
厚さ(mm) ・25 ・30
施工箇所 ・表示
・現場発泡断熱材 (品質・性能)
建築材料等品質性能表による (試験方法)
建築材料等品質性能表による

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア (表 20.2.2)

施工箇所 構法 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重(N) 表面仕上材 備考
・置敷式
・支柱調整式

2 可動間仕切 (表 20.2.3)

構造形式 構成基材の種類 表面仕上材 遮音性 防火性能
スタッド パネル 厚さ(mm) 材質 パネル表面仕上材

3 移動間仕切 (表 20.2.4)

構造形式 操作方法 圧接装置の操作方法 表面仕上材 遮音性
平行方向 移動式
二方向 移動式

遮音シール材 ・適用する(シーリング材・ジョイントコンパウンド)
・適用しない
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

モルタル・プaster面の素地ごしらえ ※B種 ・A種
コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

断熱材打込み工法
種類 厚さ(mm) 施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材

断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・B種1
厚さ(mm) ・25 ・30
施工箇所 ・表示

8 黒板及びホワイトボード (表 20.2.8)

種類 寸法(mm) 色 形 式
・黒板 ※焼付け
・ホワイトボード

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)~(iii)による
厚さ ±0.5mm
平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ)
スロープ及びボデー ・製造所の仕様による ・図示

空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所: 図示)
(性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

11 煙突ライニング (表 20.2.11)

煙突用成形ライニング材 (品質・性能)
建築材料等品質性能表による (試験方法)
建築材料等品質性能表による

パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示) ・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落しとは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする。

⑫ ブラインド (表 20.2.12)

形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) 材質・レースの材質 寸法・取付箇所
○横型 ○手動

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図示 とする

4 トイレブース (表 20.2.5)

表面材の種類 脚部 形状 形状 材質
・メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板

(品質・性能)
建築材料等品質性能表による (試験方法)
建築材料等品質性能表による

5 視覚障害者用床タイル (表 11.2.2) (表 19.2.2)

施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考
・塩化ビニル製
・セラミックタイル

6 階段滑り止め (表 20.2.6)

材質 幅(mm) 取付け工法 端部フラットエンド
・ステンレス製(SUS304)ビニルタイヤ入り

7 手すり (表 20.2.6)

材質 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考
・集成材
・クリアラッカー

9 鏡 (表 20.2.9)

取付箇所 ()
寸法(mm) ・図示
厚さ(mm) ※5

10 表示 (表 20.2.10)

区分 材質 寸法・形状(mm) 厚さ(mm) 取付高さ(mm) 備考
・衝突防止表示
・案内・片面

11 煙突ライニング (表 20.2.11)

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。

⑫ ブラインド (表 20.2.12)

形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) 材質・レースの材質 寸法・取付箇所
○横型 ○手動

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図示 とする

13 ロールスクリーン (表 20.2.13)

材質 操作方式 遮光性 寸法(mm) 取付箇所 備考
・ポリエステル

14 カーテン (表 20.2.14)

形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の種別、品質、特殊加工等 取付箇所 備考
・シングル
・ダブル

15 カーテンレール (表 20.2.14)

材質 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル

⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス (表 20.2.14)

材質 ※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
表面処理 ・C-1
・C-2 (アンバー・ブロンズ・ブラック系)
・ステンカラー)
・C-1
・C-2 (アンバー・ブロンズ・ブラック系)
・ステンカラー)
・C-1
・C-2 (アンバー・ブロンズ・ブラック系)
・ステンカラー)

⑰ 天井点検口 (表 20.2.14)

材質 寸法 形式 外枠 内枠
※アルミニウム製

18 床点検口 (表 20.2.14)

材質 寸法 形式 備考
・アルミニウム製

⑱ 耐震スリット (表 20.2.14)

方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考
○垂直方向
○水平方向

20 止水板 (表 20.2.14)

形式 ○差込式 ・掘置き ・壁張り式
施工箇所 ○図示

⑳ エキスパンション・ジョイント金物 (表 20.2.14)

材質 躯体間クリアランス(mm) 上材間クリアランス(mm) 変位追従性能(mm) 耐火性能 備考
○アルミニウム製

22 くつきマット (表 20.2.14)

材質 受け枠 備考
・塩化ビニル又はゴム製

工事名 那珂川沿岸農業水利事業(一期)
大杉山揚水機場改修工事
特記仕様書(その5)
図面名
作成年月日
縮尺 NON 図面番号 A-05
会社名
事業名 関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業

20 ユニット及びその他の工事

Table with 23 rows and multiple columns. Includes items like '流し台ユニット', '旗竿', '旗竿受金物', '止り止め支柱', 'フェンス', 'プレキャストコンクリート', '間知石及びコンクリート間知ブロック積み', '鋼製書架及び物品棚', '屋内掲示板', '洗面カウンター', '防煙垂れ壁', '屋外掲示板', '収納家具', 'ミニキッチン', 'シャワーユニット'. Each row contains detailed specifications, materials, and dimensions.

21 排水工事

Table with 5 rows and multiple columns. Includes items like '1 屋外雨水排水', '2 錆鉄製ふた', '3 グレーチング', '4 街きよ、緑石、側溝', '5 埋戻し土'. Each row contains detailed specifications, materials, and dimensions.

22 舗装工事

Table with 4 rows and multiple columns. Includes items like '1 路床', '2 路盤', '3 アスファルト舗装', '4 コンクリート舗装'. Each row contains detailed specifications, materials, and dimensions.

5 カラー舗装

Table with multiple rows and columns. Includes sections for 'カラー舗装', '透水性舗装', and '基準値'. Contains detailed specifications, materials, and dimensions for various paving and performance standards.

Table with 6 rows and 2 columns. Includes fields like '工事名', '図面名', '作成年月日', '縮尺', '会社名', '事業者名'. Contains project identification information.

4 地業工事

Table with 2 columns: ① 支持地盤 (Support Ground) and ③ 既製コンクリート杭地業 (Pre-made Concrete Pile Groundwork). It details construction methods, materials, and testing procedures for pile foundations.

Table with 2 columns: 4 鋼杭地業 (Steel Pile Groundwork) and 5 場所打ちコンクリート杭地業 (Cast-in-place Concrete Pile Groundwork). It covers specifications for steel piles and cast-in-place concrete piles, including dimensions and materials.

Table with 2 columns: ⑥ 砂利地業 (Gravel Groundwork) and ⑧ 床下防湿層 (Basement Waterproofing Layer). It describes the installation and requirements for gravel and waterproofing layers.

5 鉄筋工事

Table with 2 columns: ① 鉄筋 (Reinforcement) and ④ 鉄筋の定着長さ (Reinforcement Embedment Length). It provides detailed specifications for reinforcement bars, including types, diameters, and lap lengths.

Project Information Table with fields: 工事名 (Project Name), 図面名 (Drawing Name), 作成年月日 (Creation Date), 縮尺 (Scale), 会社名 (Company Name), 事業者名 (Contractor Name).

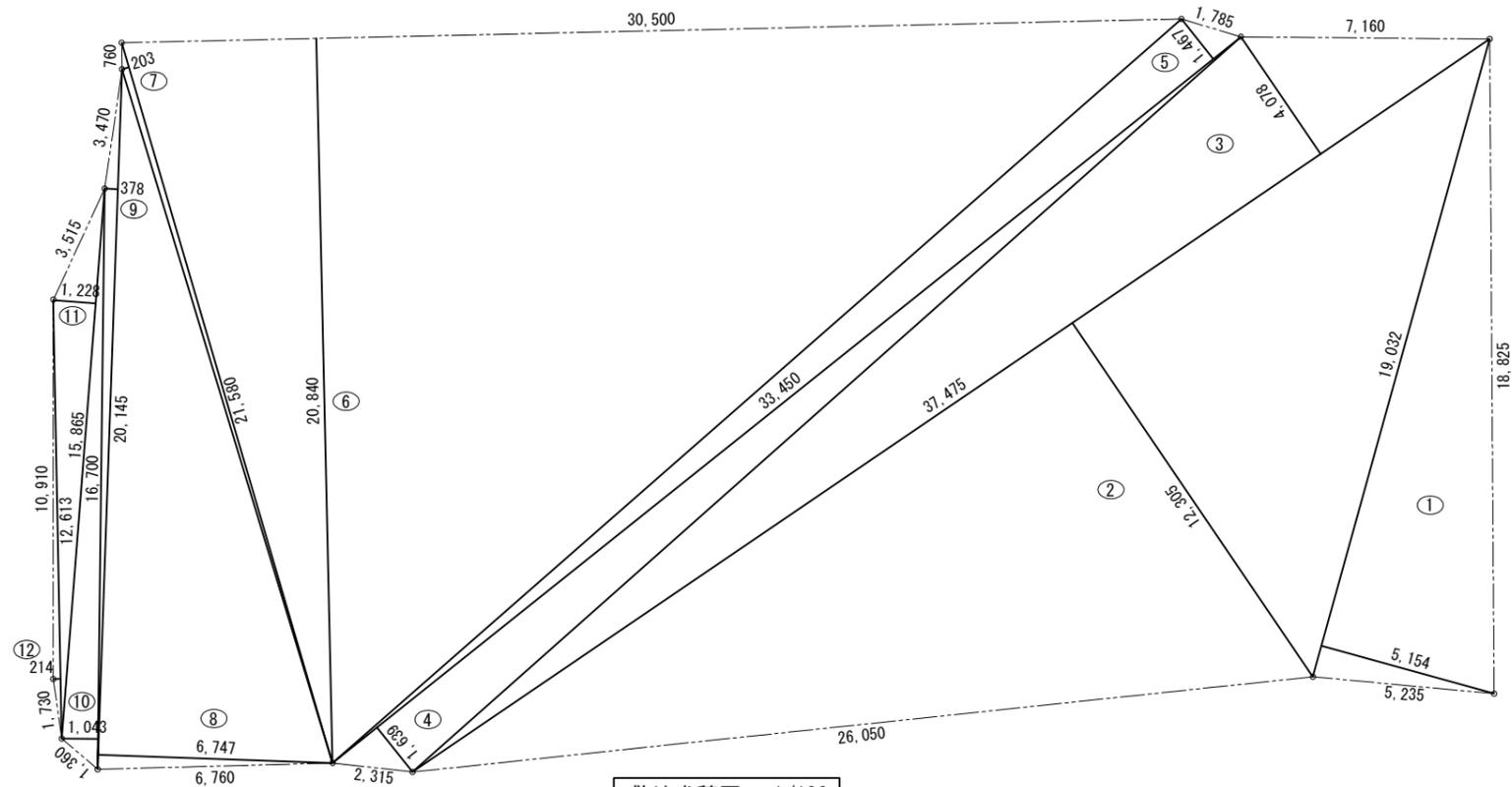
⑤ 鉄筋工事	7 溶接継手	<p>使用箇所 ・ 図示による ()</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.3) ・ A級</p> <p>鉄筋相互のあき ・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)</p> <p>溶接継手の工法 ・ 図示による () ・ 重ねアーク溶接 (5.5.3)</p> <p>品質の確認方法 ・ 図示による () ・ 標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による () ・ 標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による (5.5.3)</p> <p>溶接技術者 ・ 標準仕様書5.5.3(f)による ・ JIS Z 3882 (鉄筋の突合わせ溶接技術検定における試験方法及び判定基準) による 技量を有する者</p>
	⑥ 各部配筋	<p>各部配筋 (5.3.7) ○ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図))</p> <p>帯筋 組立の形の種別 ○ 構造関係共通図 (配筋標準図) 6.2(b) (3) () 形による ・ 図示による ()</p> <p>壁開口部の補強 一般壁 ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 8.2(a) (1) () 形による ○ 図示による (SD-14)</p> <p>耐力壁 ○ 図示による (SD-14)</p> <p>梁貫通孔の補強 補強形式 ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 11.1 () 形による ○ 図示による ()</p> <p>梁貫通孔径 (部材記号含む) 及び配筋種別リスト ・ 図示による (既製品による)</p> <p>柱主筋の柱頭定着 ・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 6.1(a) (2) ・ 図示による ()</p>
② 圧接完了後の試験	<p>外観試験 (5.4.9) ※ 行う (全数)</p> <p>抜取試験 (5.4.9) (5.4.10) ・ 超音波探傷試験 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数: 1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。</p> <p>○ 引張試験 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする。 試験の箇所数: 1ロットに対して (※3本 ・ 5本) とする。</p>	

⑥ コンクリート工事	① コンクリートの種類及び強度	<p>普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積 質量 (t/m³)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○24</td> <td>2.3程度</td> <td>・ 15又は18 ・ 18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積 質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所	○24	2.3程度	・ 15又は18 ・ 18		・		・		・		・		・		・	
	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積 質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所																		
○24	2.3程度	・ 15又は18 ・ 18																				
・		・																				
・		・																				
・		・																				
② コンクリートの種別	<p>類 別 (6.2.1) ※ 1類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ 11類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p>																					
③ セメント	<p>種 類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の地、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする</p> <p>・ 高炉セメントB種 [G] 使用部位 (・ 1FLより下部 (立上り部含む))</p> <p>・ フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位 ()</p>																					
④ 骨 材	<p>アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※ A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt = 3.0 kg/m³以下)</p>																					
⑤ 混和材料	<p>・ 混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※ 標準仕様書 6.3.1(d) (i) による</p> <p>・ 混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※ 標準仕様書 6.3.1(d) (ii) による</p>																					
⑥ 無筋コンクリート	<p>設計基準強度 (6.2.1) (6.3.1) (6.14.1) ※ 18 (N/mm²)</p> <p>スランブ (6.14.1) ※ 15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>適用箇所 (6.2.1) (6.14.1) ※ 標準仕様書 6.14.1(e) による箇所 ・ 図示による ()</p>																					
⑦ ひび割れ誘発目地、打継目地	<p>目地寸法 (6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) ・ 標準仕様書 9.7.3による ※ ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する</p> <p>間隔・位置・形状 (6.8.2) ・ 図示による ()</p>																					
⑧ コンクリートの仕上げ	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>※ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>※ 図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td>※ 図示による ()</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	適用箇所	・ A種	※ 図示による ()	○ B種	※ 図示による ()	○ C種	※ 図示による ()													
種 別	適用箇所																					
・ A種	※ 図示による ()																					
○ B種	※ 図示による ()																					
○ C種	※ 図示による ()																					
⑨ 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	<p>打増し厚さ (6.8.2) ○ 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm</p> <p>・ 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ○ 10mm ・ 20mm</p> <p>・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm</p> <p>打増し範囲 ・ 図示による ()</p>																					

⑩ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.3) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議する。
	<p>○ 合板 (※12mm) [G]</p> <p>・ 断熱材を兼用した型枠の使用 (6.8.3) ・ あり 使用箇所 ()</p> <p>・ MCR工法用シートの使用 (6.8.3) 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 図示による ()</p> <p>スリーブの材質・規格等 (6.8.3) ※ 図示による ()</p> <p>存置期間及び取り外し ※ 標準仕様書 6.8.5 による (6.8.5)</p> <p>標準仕様書 第6節 第7節による</p> <p>標準仕様書 6.5.5, 6.9.2, 6.9.3, 6.9.4 による (6.5.5) (6.9.2~6.9.4)</p>
⑪ コンクリートの養生方法	<p>・ 行わない ○ 行う 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書 6.3.2(2) による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値 (以下、「設計値」という。) ±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値 ±15 を超え ±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値 ±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値 ±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値 ±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値 ±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機は該コンクリート製造所以外の機関とする。</p>
⑫ 圧縮強度及び試験方法	
⑬ コンクリートの単位水量測定	

⑦ 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	<p>鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.1) (7.1.3) 建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧)社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場</p> <p>評価の区分 ※ () グレード ○ 指定しない</p>											
	2 施工管理技術者	<p>・ 適用する (7.1.3) (7.1.4) ・ 適用しない</p>											
③ 鋼 材	<p>材質等 (7.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所 (主要な部分)</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS400</td> <td>クレーンレール取付架台</td> <td>○ JIS規格による ・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ JIS規格による</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格	SS400	クレーンレール取付架台	○ JIS規格による ・ JIS規格による			・ JIS規格による			・ JIS規格による
種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格											
SS400	クレーンレール取付架台	○ JIS規格による ・ JIS規格による											
		・ JIS規格による											
		・ JIS規格による											
4 高力ボルト	<p>高力ボルトの区分 (7.2.2) ・ トルシア形高力ボルト セツの種類 ・ 2種 (S10T)</p> <p>・ JIS形高力ボルト セツの種類 ・ 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径 (7.2.2) ・ 図示による ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p> <p>すべり係数試験 (7.4.2) ※ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ 図示による ()</p>												
⑤ 普通ボルト	<p>ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ○ 標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) による ・ 標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) 又は JIS 本体規格品 (ISO規格) による (JIS 本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする)</p> <p>産金 (7.2.3) ○ 標準仕様書 7.2.3(d) による</p> <p>戻り止め (7.5.2) ※ 二重ナット</p> <p>ボルトの径 (7.2.3) ○ 図示による ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p>												
⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト	<p>セツの種類 (7.2.2) ○ 1種 (F8T相当)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2) ○ 図示による ()</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8) ○ 大臣認定を受けた内容による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p> <p>摩擦面の処理 (7.12.4) ※ プラスト処理 (表面粗度 50 μmR ± 以上) ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり耐力等の確認方法 ※ すべり係数試験 試験方法等 ・ 図示による ()</p>												
⑦ アンカーボルト	<p>・ 構造用アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) ・ 本体鉄骨 セツの種類 (JIS B 1220) ・ ABR400 ・ ABR490 形状、寸法 図示による () ・ その他の鉄骨 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※ 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>・ 形状、寸法 図示による ()</p> <p>○ 埋方用アンカーボルト 種類 ○ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※ 標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>・ 形状、寸法 図示による ()</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p>												

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	特記仕様書 (その8)		
作成年月日			
縮尺	NON	図面番号	A-08
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



敷地求積図 1/100

敷地境界線

敷地求積表				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	19.032	5.154	98.091	49.045
2	37.475	12.305	461.130	230.565
3	37.475	4.078	152.823	76.412
4	33.450	1.639	54.825	27.412
5	33.450	1.467	49.071	24.538
6	30.500	20.840	635.620	317.810
7	21.580	0.203	4.381	2.190
8	20.145	6.747	135.918	67.959
9	20.145	0.378	7.615	3.807
10	16.700	1.043	17.418	8.709
11	15.865	1.228	19.482	9.741
12	12.613	0.214	2.699	1.350
合計				819.536
敷地面積				819.53 m ²

操作室棟

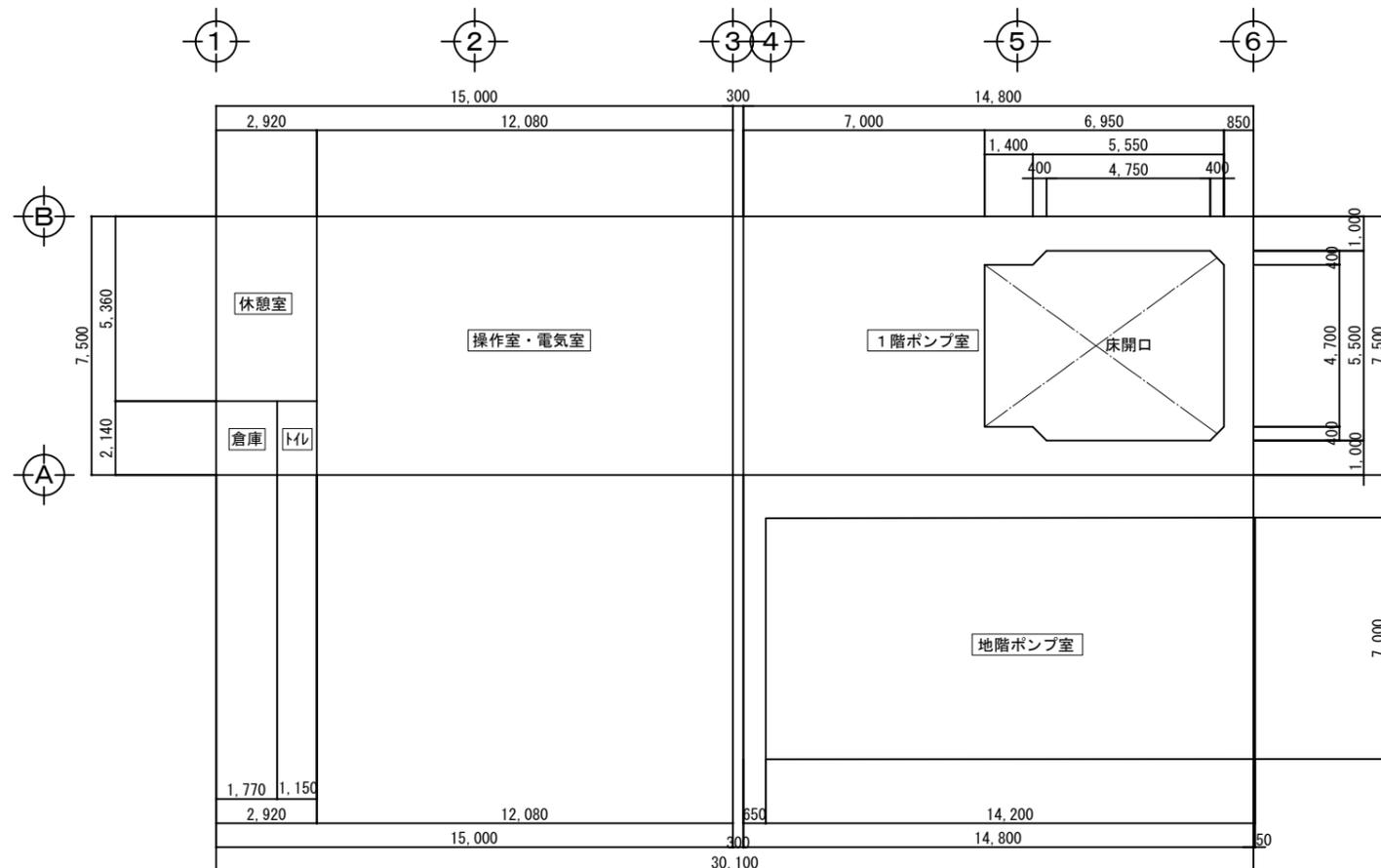
延床面積	112.50 m ²	1階各室床面積	
7.500 × 15.000 =	112.50	操作室・電気室	7.500 × 12.080 = 90.60 m ²
建築面積	112.50 m ²	休憩室	5.360 × 2.920 = 15.65 m ²
7.500 × 15.000 =	112.50	トイレ	2.140 × 1.150 = 2.46 m ²
		倉庫	2.140 × 1.770 = 3.78 m ²
1階床面積	112.50 m ²		
7.500 × 15.000 =	112.50		

ポンプ室棟

延床面積	111.00 m ²	各階床面積	
7.500 × 14.800 =	111.00	1階床面積	7.500 × 14.800 = 111.0000
			▲ 4.700 × 6.950 = -32.6650
建築面積	111.00 m ²		▲ (4.750+5.550) × 0.400 = -4.1200
7.500 × 14.800 =	111.00		= 74.21 m ²
		地階床面積	7.000 × 14.200 = 99.40 m ²

建物全体（建築基準法上の面積）

建築面積	225.75 m ²	建蔽率	27.54 %
7.500 × 30.100 =	225.75	225.75 × 819.53 =	0.2754
延床面積	288.36 m ²	容積率	35.18 %
操作室棟 1階床面積 :	= 112.50	288.36 × 819.53 =	0.3518
ポンプ室棟 1階床面積 :	= 74.21		
ポンプ室棟地下 1階床面積 :	= 99.40		
接続部床面積 :	7.500 × 0.300 = 2.25		



操作室・ポンプ室 求積図 1/100

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	求積図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	A-09
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

共通事項	
<p>1 各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同じとする。</p> <p>2 (○-○-○)内の数字は建築工事標準詳細図(平成28年版)の詳細番号を示す。</p> <p>3 特記以外の建物内部の木部は、E-P-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。</p> <p>4 特記以外の鉄面、垂始めつき面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。</p> <p>5 備考欄の「測定対象室()」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、()内数値は測定箇所数を示す。</p> <p>6 略号は下表による。([]はJIS旧略号及び名称を示す)</p>	
略号	仕上げ材等
RC(B)	床:標準仕様書表(6.2.5)による 壁、天井:コンクリート打放し(種別)表(6.2.4) 〔()の記載がない場合はコンクリート打ちの のままとする〕
CB	コンクリートブロック積み
FS/TS [NC]	複層ビニル床シート/単層ビニル床シート
KT	コンポジションビニル床タイル
[CT,CTS]	[コンポジションビニル床タイル(半硬質、軟質)]
FT [HT]	複層ビニル床タイル [ホモジニアスビニル床タイル]
KT(E)	帯電防止コンポジションビニル床タイル
[VT(E)]	[帯電防止ビニル床タイル]
VB	ビニル幅木
WB	木製幅木
GB-R	せっこうボード
GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧無し:下地張り用)
GB-NC(T)	不燃積層せっこうボード(化粧有り:トラバーチン模様)
GB-D	化粧せっこうボード(木目)
GB-S	シーリングせっこうボード
GB-F	強化せっこうボード
ケイカル板	けい酸カルシウム板(タイプ2)
ケイカル板(P)	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)
DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)
DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用:フラットタイプ)
DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用:凹凸タイプ)
PF板	押出法ポリスチレンフォーム保温板
RW-B	ロックウールガラスクロス張り
GW-B	グラスウールガラスクロス張り
外部仕上げ	
床	種別 ○コンクリート直均し仕上げ(1-01-3:t=10) ・タイル張り仕上げ(1-01-6) ・天然石(ひき石)(1-01-9) ○モルタル、防水モルタル(1-01-1) ・誘導ブロック(1-01-7) ・
壁、柱、はり	※RC(B)増厚さ20mm(2-02-8~12 ※出隅面取り=20mm) ○出隅面取=20×20mmのうえ ○複層塗材(E)吹付け仕上げ・外装薄塗材() ・ ・磁器質タイル密着張り(2-01-4) ・磁器質タイルマスク張り(2-01-7) ・
腰	※壁、柱、はりに同じとする。 ○巾木 RC(B)のうえ耐水性塗料クリアー仕上げ H=500 ○設備機器・LP Gポンベ置場 RC(B)のうえ耐水性塗料クリアー仕上げ
屋根	※下地コンクリート直均し仕上げのうえ ・アスファルト防水(A-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、伸縮調整目地 ・アスファルト防水(AI-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、伸縮調整目地 ・アスファルト防水(D-2) ・フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.45 段付横置き 勾配 4/10
軒天	○壁、柱、はりに同じとする。
庇	施工箇所 上 端 は な 下 端
外部詳細	・屋上パラベット ・屋根取合い ・屋上点検口(5-21-1:ステンレス製ふた) ・屋上換気塔(5-21-2) ・屋上管頭貫通部(5-22-1) ・屋上基礎(5-22-2) ・(5-22-3) ・煙突 ※成型パイプ(7-21-1)径= mm 天板(※無・有) 耐酸耐熱塗料なし ○雨とい及びルーフレンド ・タラップ ・懸垂吊受け金物 ・屋上手すり ○庁名文字 ・くつきマット ・くつき洗い流し
内部仕上げ	

幅木	
(1) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。	
仕上げ種別	高さ(mm) 詳細番号
VB	※60・75 (2-11-1) (2-11-9)
WB(樹種 ※杉)	・60 (2-11-4:CL仕上げ)
NC(ビニル床シート巻上げ)	○60 (2-11-2:アルミ製ジョイナー)
(2) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。	
仕上げ種別	詳細番号
ボード張り(RC又はCB下地)	(GL工法:接着材=11~13mm)(2-03-6)(1枚張り)
ボード張り(軽量鉄骨壁下地:一般壁)	(2-21-1)(2-22-1)(2-24)
ボード張り(軽量鉄骨壁下地:通音壁)	(2-23-1)(2-24-5~8)
陶磁器質タイル(RC又はCB下地)	(2-01-2)
モルタル	(2-02-12)
吸音材張り(RC又はCB下地)	(2-02-13)
地下二重壁	(2-41-1)
(2) 特記以外のボード類は下表による。	
種別	厚さ(mm) 備考
GB-R	12.5 塗装仕上げ及び、壁紙張りの場合は継目処理(2-03-6)(2-03-10)ただし、仕上げ等行わない場合は突き付け(2-03-9)(2-03-13)とする。(二重張りの特記無き限り下張りは上張りと同様のボードとする。)
ケイカル板	8 突き付け(V目地)(2-03-17:下地張りはGB-S)(2-03-12:下地張りはGB-S・ケイカル板)
(3) コンクリート打放しの出隅面取りは10mmとする。(梁型とも)	
(4) 下り壁(3-12-1):※塩ビ製見切縁・アルミ製見切縁の仕上げは壁と同じとする。ただし、下地張りは無しとする。	
(5) ボード壁とRC又はCB壁との取合いは(2-24-4、2-24-7):※目隠し・継目処理とする。	
(6) ボード壁とサッシ取合いは(2-24-8)とする。	
(7) 挿入(6-46-1)の壁はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突き付けとする。	
(8) 陶磁器質タイルを、軽量鉄骨壁下地のボード面に接着張りを行う場合はボードは、下地張りをGB-S、上張りをケイカル板(突き付け)とする。(2-03-13)	
(9) 化粧ケイカル板を使用する場合の目地処理は(目地シーリング工法・アルミジョイナー工法)とする	
(1) 軽量鉄骨天井下地は(3-21-1)(3-21-2)(3-21-3)(3-41)(3-42)とする。	
(2) 特記以外のボード類は下表による。	
種別	厚さ(mm) 詳細番号
・DR(つり付け)	・9 ・12 (3-01-4)
・DR(凹凸付け)	・12 ・15 (3-01-4)
・ケイカル板	6 (3-01-2)
○GB-NC(T)	9.5 (3-01-2)
・GB-D	12.5 下地は製造所の仕様とする
・RW又はGW張り	25 (3-01-12)
(3) 挿入(6-46-1)の天井はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突き付けとする。	
(4) 壁~天井の取合いは天井付き目地(3-11-3、4、7、8:※塩ビ製見切縁・アルミ製見切縁)とする。	
(5) DRの下張りは ※GB-R12.5 ・GB-NC9.5とする。	
(6) GB-NC(T)の大きさは ※910×455mm ・910×910mm	
(7) 塗装仕上げ及び壁紙張りの場合はGB-R厚さ12.5mm(継目処理)とする。	
(8) 外部のDR(軒天)の下地張りはGB-S厚さ12.5mmとする。	
○断熱材	種別 ※PF板打ち込み・現場発泡断熱材 窓まわりなどの補修材は現場発泡断熱材とする。 施工範囲 外壁 ※内面がGB-R張り(GL工法)の床面から梁型下端まで(階段は除く)の部分(7-01-2) ○図示 スラブ ・土層接地スラブ下面(機械室、電気室、自家発電機室は除く)および 図示の範囲(7-01-2) (ただし、屋根スラブ下面を除く) ○図示
・雨といおよび掃除口	※鋼管とい(5-32-1および2)
・カーテンボックス	※アルミニウム製既製品(3-31-3) ・木製(3-32-1) ・図示
及びブラインドボックス	
・扉	(1) 壁当たりとなる開き戸の取付位置は壁面からの逃げ寸法を100mmとする。 (2) RCまたはCB壁に取付く建具は室外側特納まりとする。
・階段手すり	・ビニル製(7-12-5~7:通しのFBは38×9.0とする) ※集材材(7-12-2~4、-8) ・図示
・落下防止手すり	・図示
・トラフ	・ビニル床タイル(1-21-4) ・しま鋼板SOP、EP-G又は溶融亜鉛めっき(1-21-3)
・トイレブース	※既製品 へだての補強が必要な場合には、製造所の仕様による
・車いす使用者用便所等手すり	固定手摺(6-23-1~3) 可動手摺(6-23-1~3)
・便所防水	※塗膜防水(1-31-2)
・流し台およびコンロ台	(6-11)
・流し上部水切り	・奥行き55mm(6-11-3) ・奥行き(mm)(6-11-4)
・つり戸だな	(6-11-5)
・フード	(6-11-2)
・和室出入口	※(6-42) ・(6-41-) ・押入(6-46-1 ※天袋なし・天袋あり) ・浴室(6-31-1 ※防水あり・防水なし) ただし、浴槽およびバランス釜は別途とする。
・脱衣箱	(6-32-1)
・くつきマット	・排水なし(8-21-1) ※排水つき(8-21-2) ・泥だまり、排水つき(8-21-3)
・タラップ	※(8-31-1) ・(8-31-2) ・(8-31-3)
・郵便受け	※既製品(程度)
・表示標識	※(8-42-1) ・(8-42-2) ・(8-42-3) ・(8-43-1) ・(8-43-2) ・(8-43-3) ・(8-44-1) ・(8-44-2) ・(8-44-3) ・(8-44-4)
・屋内掲示板	既製品(アルミ枠)
・木製受付カウンター	(8-11-1)
・コーナーカウンター	(8-11-2)
・木製コーナーガード	(8-12-1、2)
・ウッドデッキ	・(8-12-3) ・(8-12-4)
・木製ファンコイルユニットカバー	(8-13-1)
・木製壁	・(2-12-1) ・(2-12-2) ・(2-13-1、-2)

階	室名	床		幅木		壁・柱		天井		備考
		下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	
1	操作室	C	二次RC t=300 合成樹脂塗材(ウレタン樹脂系塗床)	C	RC(B) H=60	C	RC(B)	C	木毛パーライトセメント板 t=25 打込み 直天井	配管ビット・蓋(P) 粉末ABC10型消火器1ヶ
		S	VB H=60	S	GB-R t=12.5+9.5 EP	S	GB-NC(T)貼 t=9.5	S	ミニキッチン L=1,500(A) 'ブラインド'、'ブラインド'BOX(A)	
1	休憩室	C	木製フローリング貼	S	VB H=60 腰 杉板羽目張り CL H=775	S	GB-R t=12.5+9.5 EP	S	PF板 t=25.0 打込み GB-R t=12.5 EP	PF板 t=25.0 打込み
		C	乾式二重床	C	PF板 t=25.0 打込み GB-R t=12.5 VB H=60	C	PF板 t=25.0 打込み GB-R t=12.5 EP	C	PF板 t=25.0 打込み	
1	倉庫	C	木製フローリング貼	S	VB H=60	S	GB-R t=12.5 EP	S	GB-NC(T)貼 t=9.5	
		C	乾式二重床	C	PF板 t=25.0 打込み GB-R t=12.5 VB H=60	C	PF板 t=25.0 打込み GB-R t=12.5 EP	C	PF板 t=25.0 打込み	
1	トイレ	C	複層ビニル床シート貼	S	複層ビニル床シート巻上げ H=60	S	GB-R t=12.5+9.5 EP	S	GB-NC(T)貼 t=9.5	
		C	乾式二重床	C	PF板 t=25.0 打込み 複層ビニル床シート巻上げ	C	PF板 t=25.0 打込み GB-R t=12.5 EP	C	PF板 t=25.0 打込み	
1	ポンプ室	C	二次RC t=300 合成樹脂塗材(ウレタン樹脂系塗床)(P)	C	合成樹脂塗材 H=400(ウレタン樹脂系塗床)	C	グラスウール吸音板 t=25 ガラスクロス貼り	C	グラスウール吸音板 t=25 ガラスクロス貼り 直天井	手動式クレーン 7.5t アルミ製手摺り(固定式、脱着式)
凡例	化学物質の濃度測定対象室: 休憩室 1箇所									
		(A): 建築工事								
		(E): 電気設備工事								
		(M): 機械設備工事								
		(D): 土木工事								
		(P): プラント設備工事								
		工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事							
		図面名	仕上表							
		作成年月日								
		縮尺	NON	図面番号	A-10					
		会社名								
		事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所							

凡例	
RC壁	
LGS壁	
記号	説明
防火区画 (兼防煙区画)	
特	常時閉鎖式特定防火設備
特	随時閉鎖式煙感知器連動特定防火設備
防	常時閉鎖式防火設備
自然排煙	
⊖(一)	H12告示1436号第四号ニ(一)
⊖(二)	H12告示1436号第四号ニ(二)
⊖(三)	H12告示1436号第四号ニ(三)
⊖(四)	H12告示1436号第四号ニ(四)
⊖(ハ)	H12告示1436号第四号ハ
田	粉末ABC消火器10型
---	敷地境界線
---	延焼の恐れのある部分

休憩室	
床面積	15.65 m ²
排煙	自然排煙
必要排煙面積	0.32 m ²
有効排煙面積	0.41 m ²
有効排煙幅 × 有効排煙高 = 有効開口面積 0.83 × 0.50 = 0.41 m ²	
換気	第1種換気設備

操作室・電気室	
床面積	90.60 m ²
排煙	ニ-(一)
換気	第1種換気設備

倉庫	
床面積	3.78 m ²
排煙	ニ-(二)
換気	第1種換気設備

トイレ	
床面積	2.46 m ²
排煙	ニ-(二)
換気	第3種換気設備

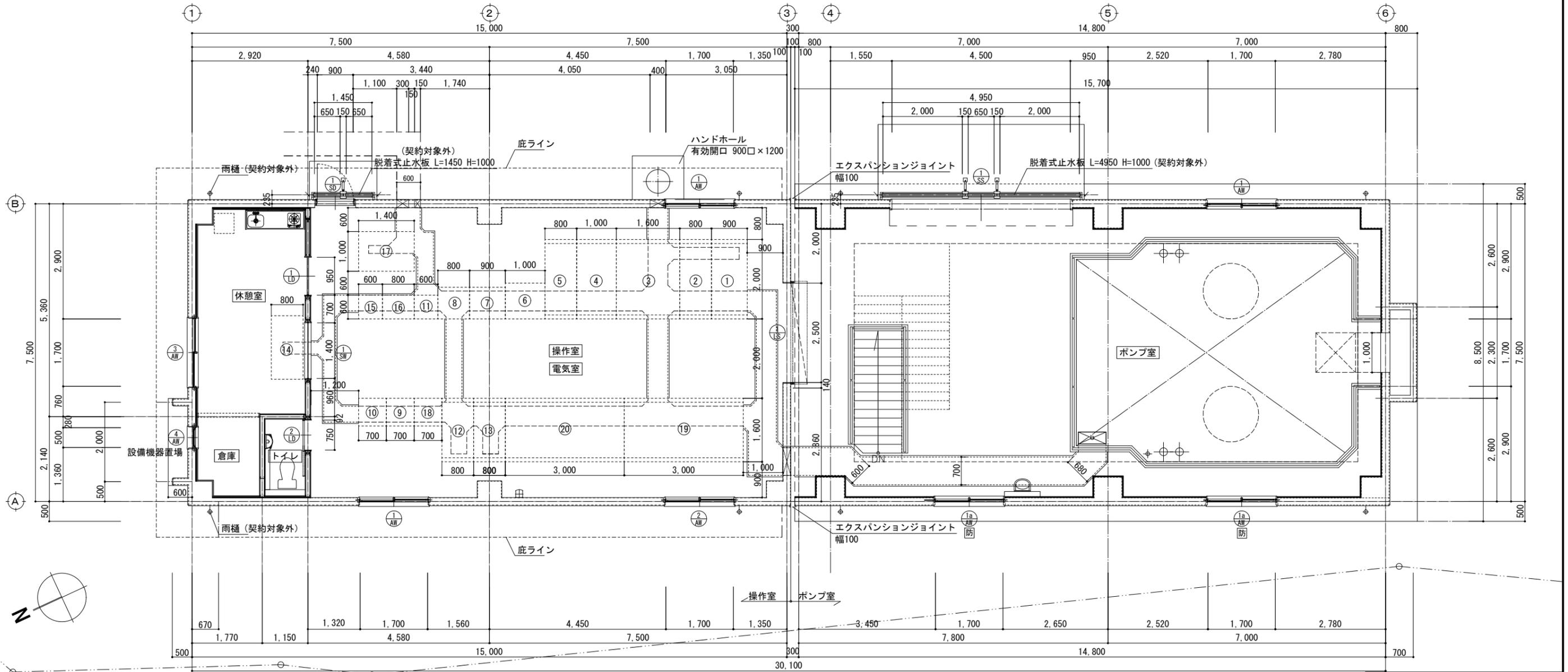
ポンプ室	
床面積	74.21 m ²
排煙	ニ-(四)
換気	第1種換気設備

有・無窓階の判定 (消法規5の2)		備考
床面積(A) 操作室	112.500 m ²	
必要開口面積 A/30	3.750 m ²	
有効開口面積	6.035 m ²	
有窓階		
建具記号 有効開口幅 × 有効開口高 × 箇所数 = 有効開口面積		
AW-1	0.85 × 1.800 × 2 = 3.060 m ²	クレセント付網入りガラス窓
AW-2	0.85 × 1.700 × 1 = 1.445 m ²	クレセント付網入りガラス窓
AW-3	0.85 × 1.800 × 1 = 1.530 m ²	複層ガラス 5mm
計	6.035 m ²	

床面積(A) ポンプ室1階	74.210 m ²	
必要開口面積 A/30	2.473 m ²	
有効開口面積	4.590 m ²	
有窓階		
建具記号 有効開口幅 × 有効開口高 × 箇所数 = 有効開口面積		
AW-1	0.85 × 1.800 × 3 = 4.590 m ²	クレセント付網入りガラス窓

床面積(A) ポンプ室地階	99.400 m ²	
必要開口面積 A/30	3.313 m ²	
有効開口面積	0 m ²	開口部無し
無窓階		

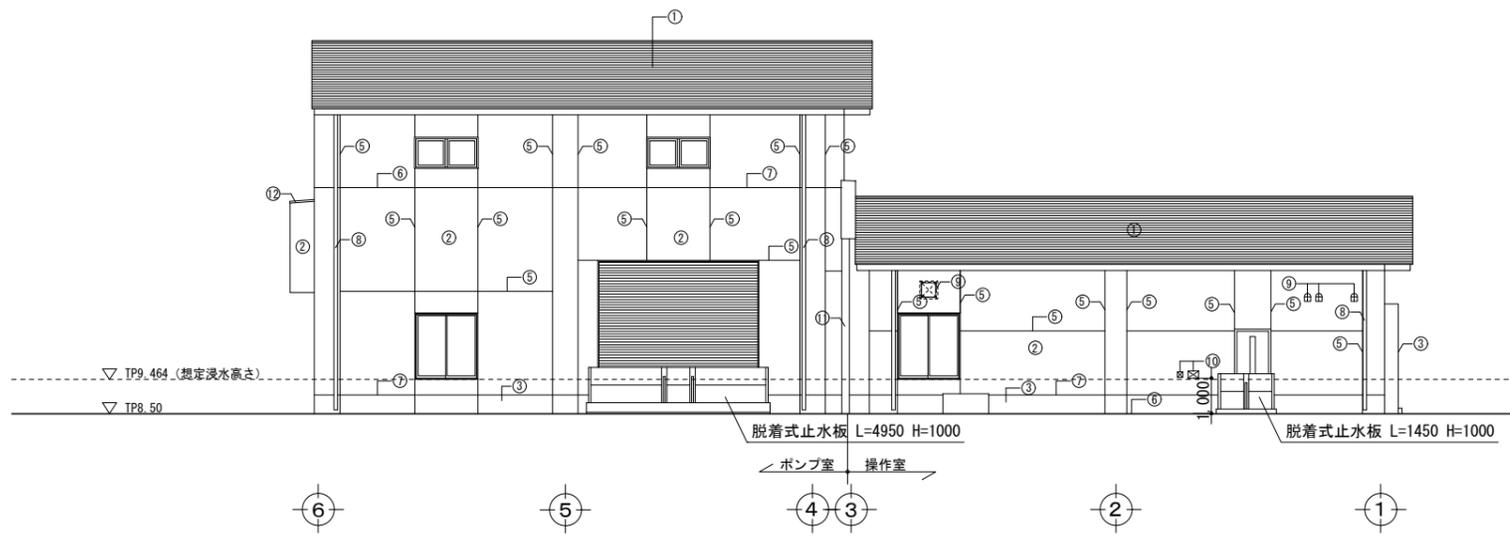
凡例		幅 × 高さ × 奥行	備考	番号	名称	幅 × 高さ × 奥行	備考
①	引込盤	900 × 2350 × 2000		⑬	起伏ゲート操作盤	800 × 2000 × 600	
②	受電盤	800 × 2350 × 2000		⑭	油圧ユニット	1400 × × 1000	
③	変圧器盤	1600 × 2350 × 2000		⑮	テレメータ盤(中央子局)	700 × 2350 × 700	
④	補機動力変圧器盤	1000 × 2350 × 2000		⑯	1号電動機盤(インバータ)	3000 × 2350 × 1600	
⑤	照明変圧器盤	800 × 2350 × 2000		⑰	2号電動機盤(インバータ)	3000 × 2350 × 1600	
⑥	直流電源盤	1000 × 2350 × 900		⑱	接地端子箱		
⑦	補機盤	900 × 2350 × 800		⑲	建築動力制御盤		別途
⑧	補助継電器盤	700 × 2350 × 700		⑳	照明分電盤		別途
⑨	テレメータ盤(備前堀用親局)	700 × 2350 × 700					
⑩	テレメータ盤(原研用子局)	700 × 2350 × 700					
⑪	制御盤	800 × 2350 × 600					
⑫	操作盤(大杉山)	800 × 2000 × 1600					
⑬	監視操作卓(備前堀)	800 × 2000 × 1600					
⑭	パソコン	1600 × × 800					
⑮	柳堰堤操作盤	600 × × 600					



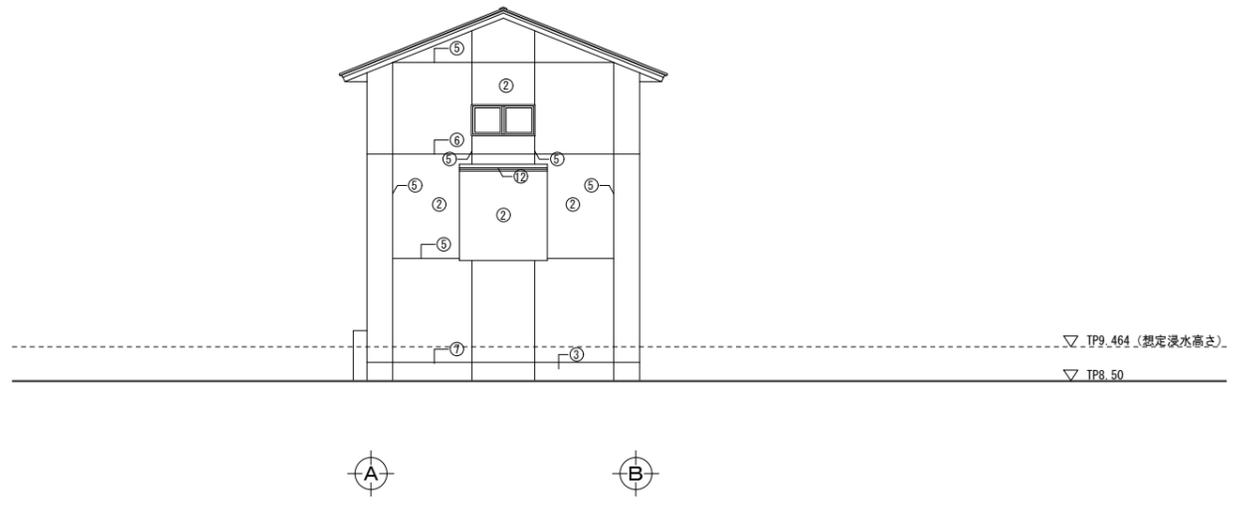
操作室・ポンプ室 平面図 1/50 ← コーキング位置を示す

凡例
下部土木躯体

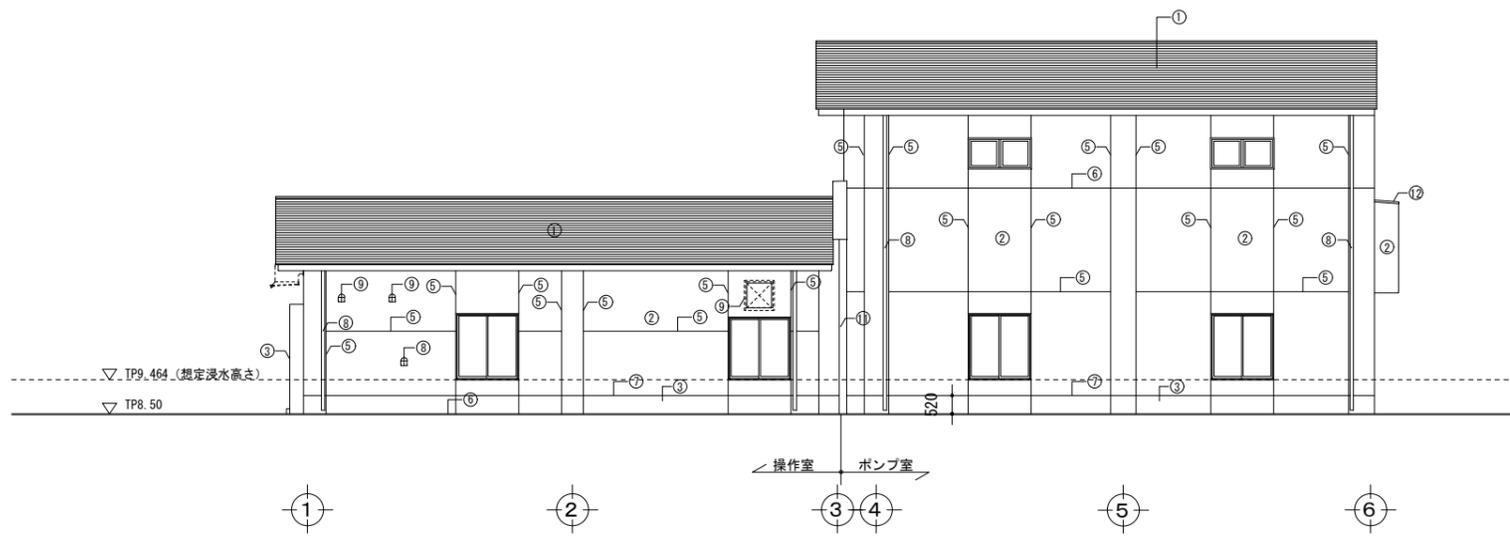
工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	A-11
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



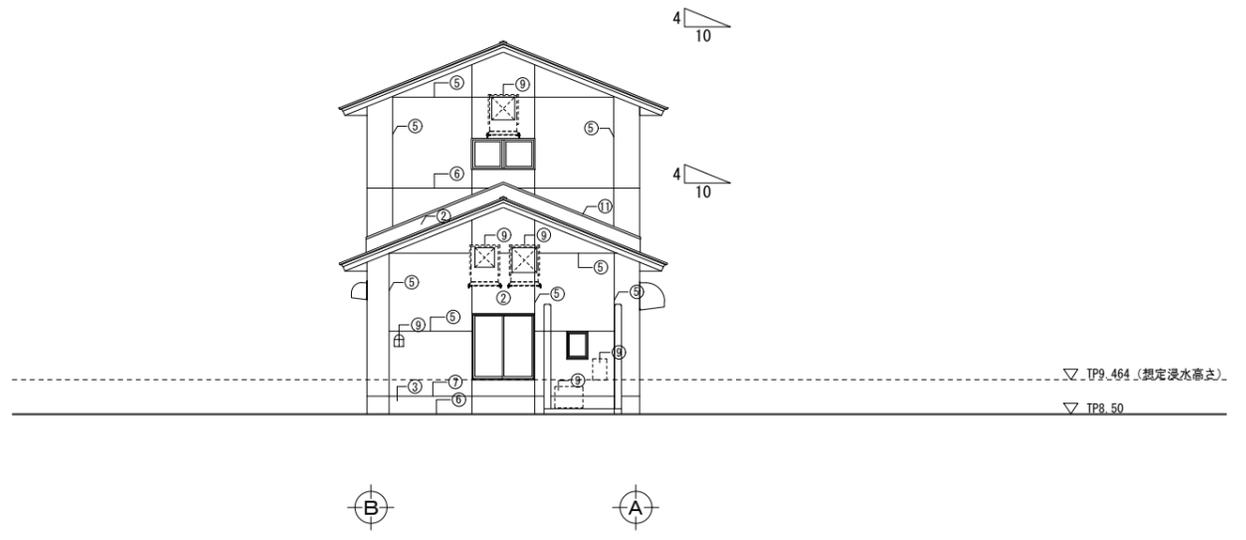
東面 立面図 1/100



南面 立面図 1/100



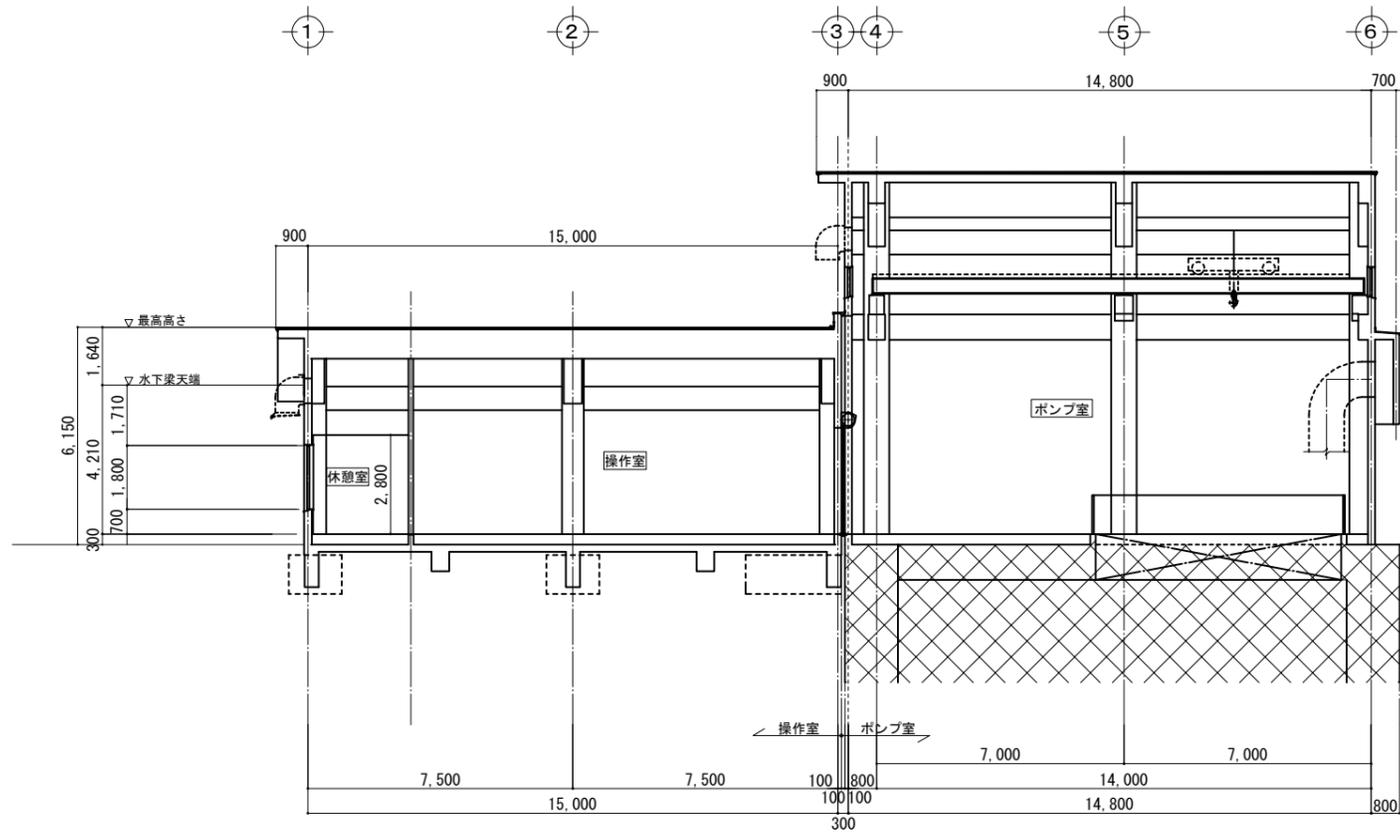
西面 立面図 1/100



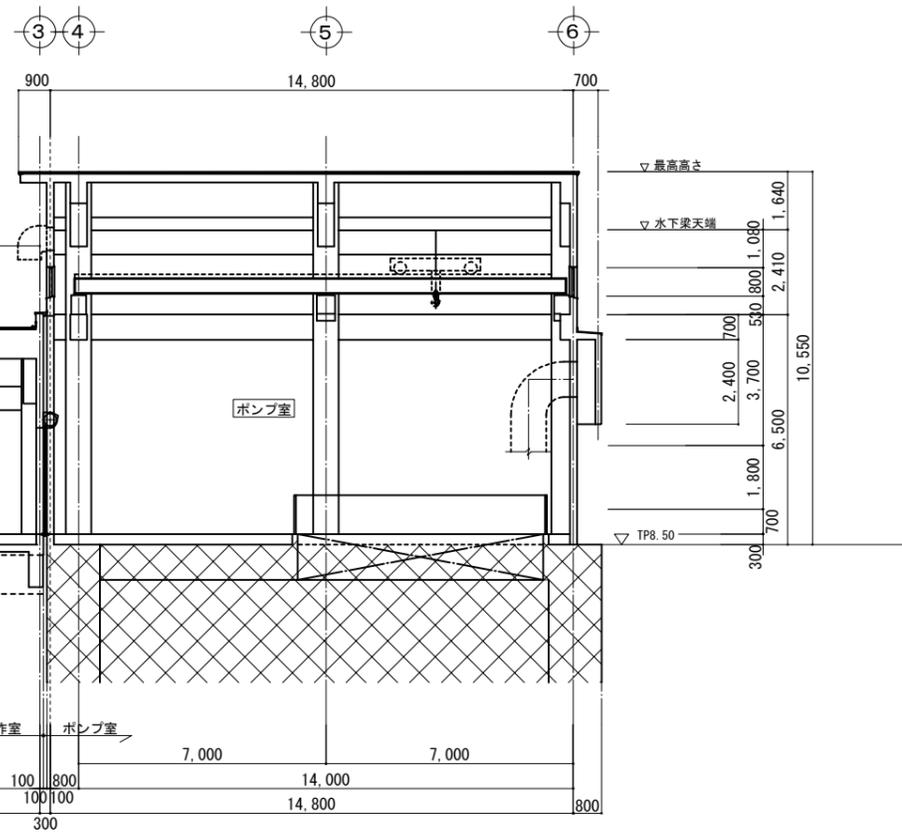
北面 立面図 1/100

凡例	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
	①	フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 段付横葺 (契約対象外)	④	RC (B)	⑦	化粧目地	⑩	プラント設備機器
	②	RC (B) の上層層塗材 (E) 吹付	⑤	ひび割れ誘発目地	⑧	雨とい	⑪	E. P. J カバー
	③	市木 RC (B) 耐候性塗料塗クリアー仕上 H=GL+500 設備機器・P.L.Gポンプ置場 RC (B) 耐候性塗料塗クリアー仕上	⑥	打継目地	⑨	建築機械設備機器	⑫	防水モルタル塗り

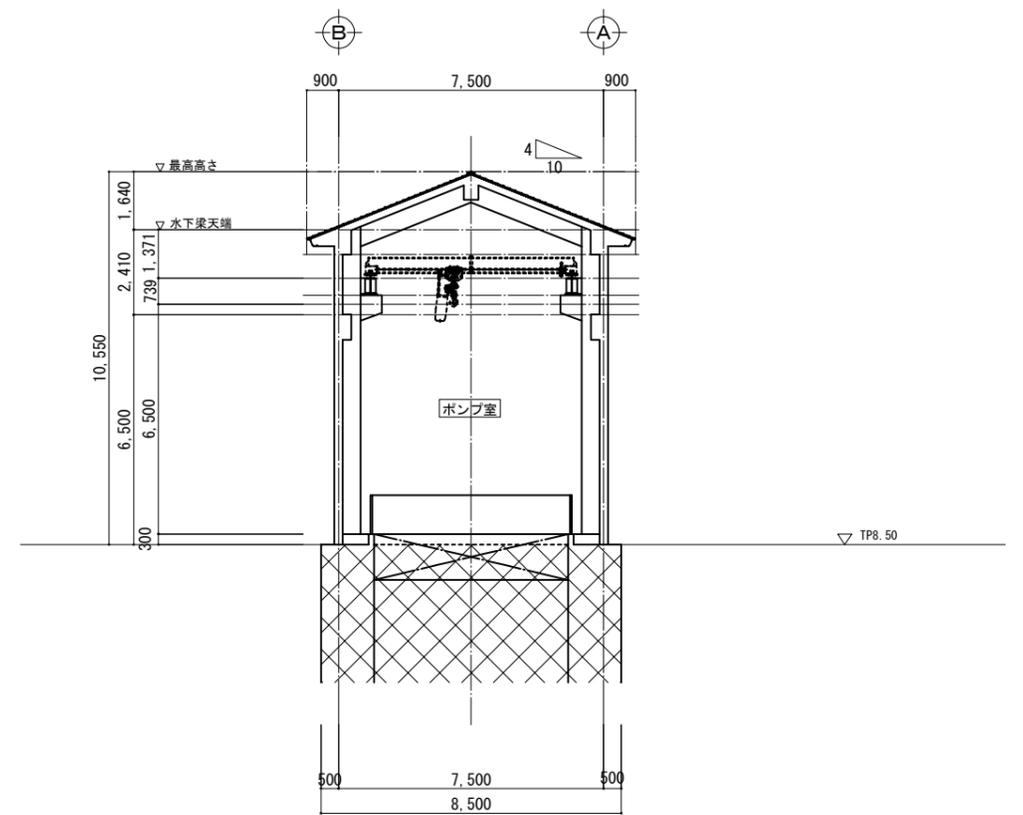
工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	立面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	A-12
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



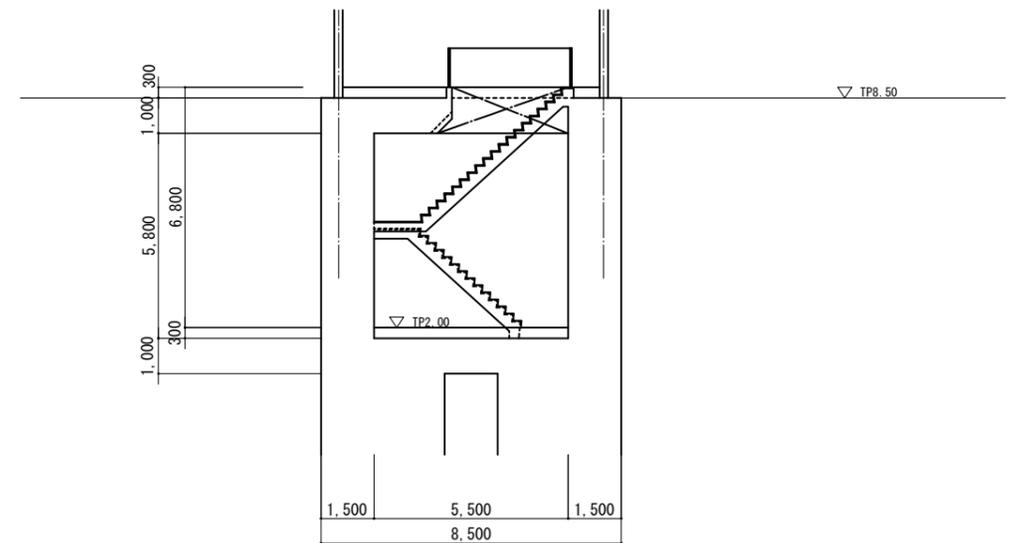
操作室断面図 1/100



ポンプ室断面図 1/100

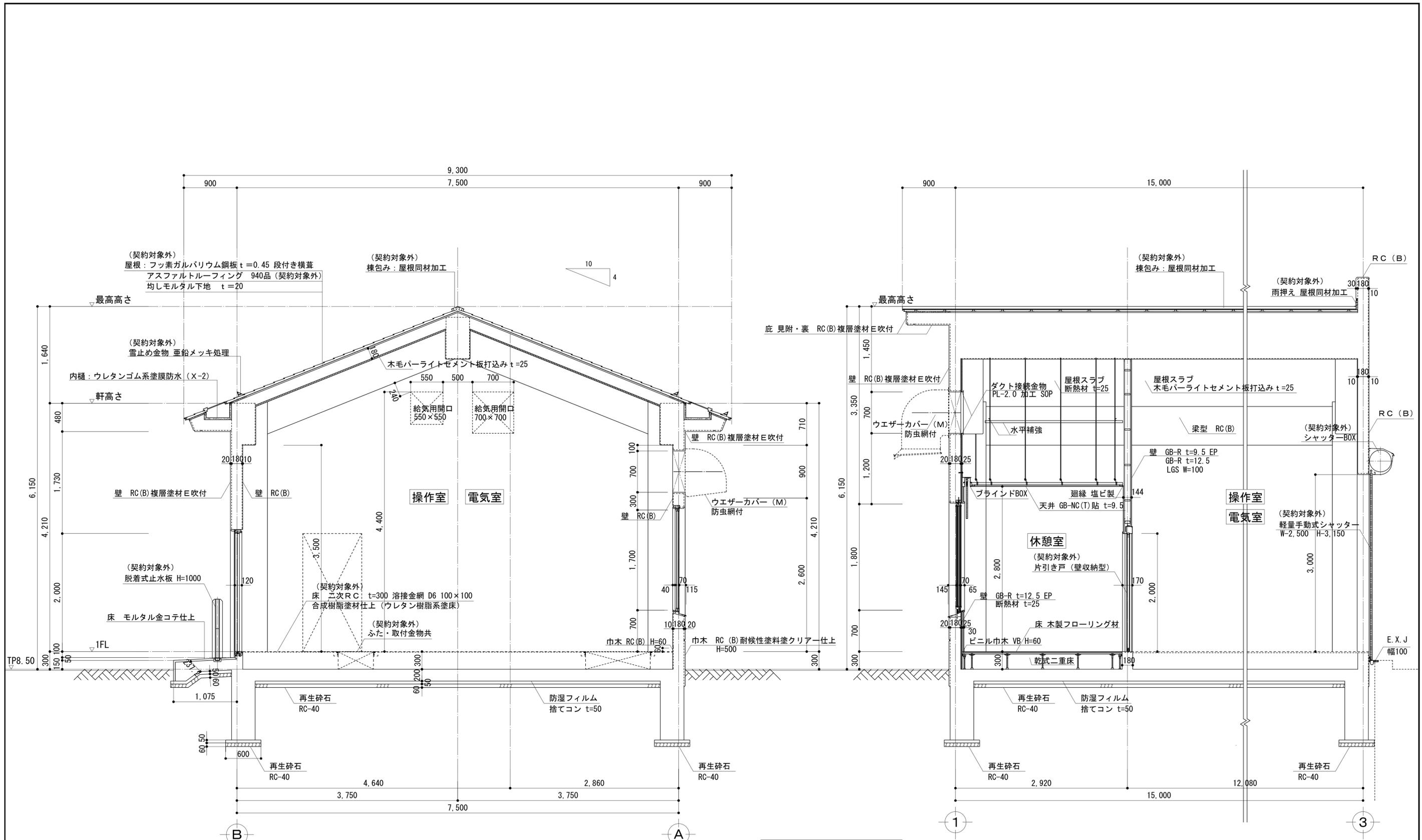


ポンプ室断面図 1/100



ポンプ室断面図 1/100

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	断面図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	A-13
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

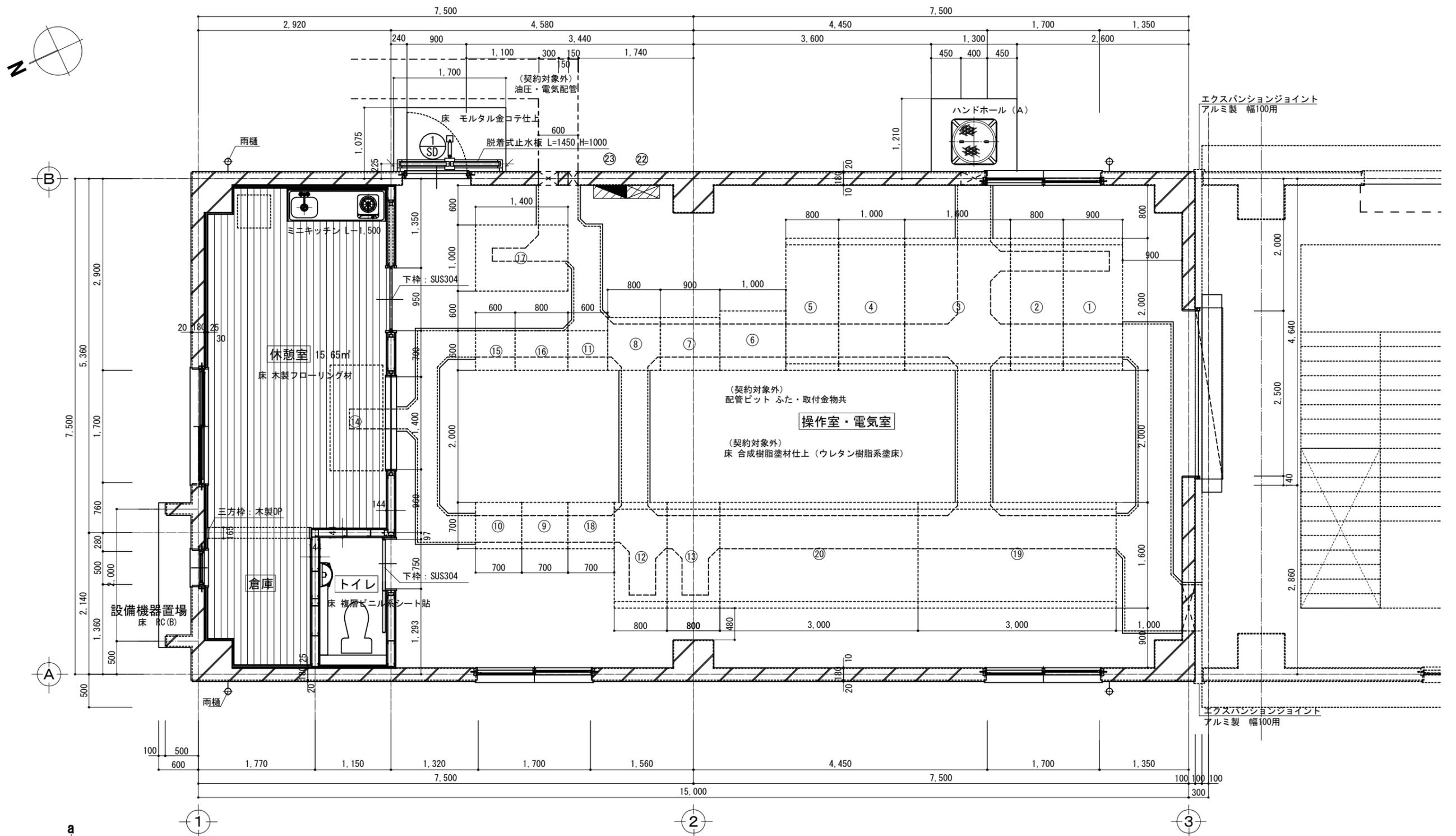


操作室矩計図 1/30

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	操作室 矩計図		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	A-14
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

凡例

番号	名称	幅×高さ×奥行	備考	番号	名称	幅×高さ×奥行	備考	番号	名称	幅×高さ×奥行	備考	番号	名称	幅×高さ×奥行	備考
①	引込盤	900×2350×2000	施工対象外	⑦	補機盤	900×2350×800	施工対象外	⑬	監視操作卓(備前堤)	800×2000×1600	施工対象外	⑲	1号電動機盤(インバータ)	3000×2350×1600	施工対象外
②	受電盤	800×2350×2000	施工対象外	⑧	補助継電器盤	700×2350×700	施工対象外	⑭	パソコン	1600× × 800	施工対象外	⑳	2号電動機盤(インバータ)	3000×2350×1600	施工対象外
③	変圧器盤	1600×2350×2000	施工対象外	⑨	テレメータ盤(備前堤用親局)	700×2350×700	施工対象外	⑮	柳堤堰操作盤	600× × 600	施工対象外	㉑	接地端子箱		施工対象外
④	補機動力変圧器盤	1000×2350×2000	施工対象外	⑩	テレメータ盤(原研用子局)	700×2350×700	施工対象外	⑯	起伏ゲート操作盤	800×2000×600	施工対象外	㉒	建築動力制御盤		
⑤	照明変圧器盤	800×2350×2000	施工対象外	⑪	制御盤	800×2350×600	施工対象外	⑰	油圧ユニット	1400× × 1000	施工対象外	㉓	照明分電盤		
⑥	直流電源盤	1000×2350×900	施工対象外	⑫	操作盤(大杉山)	800×2000×1600	施工対象外	⑱	テレメータ盤(中央子局)	700×2350×700	施工対象外				



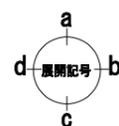
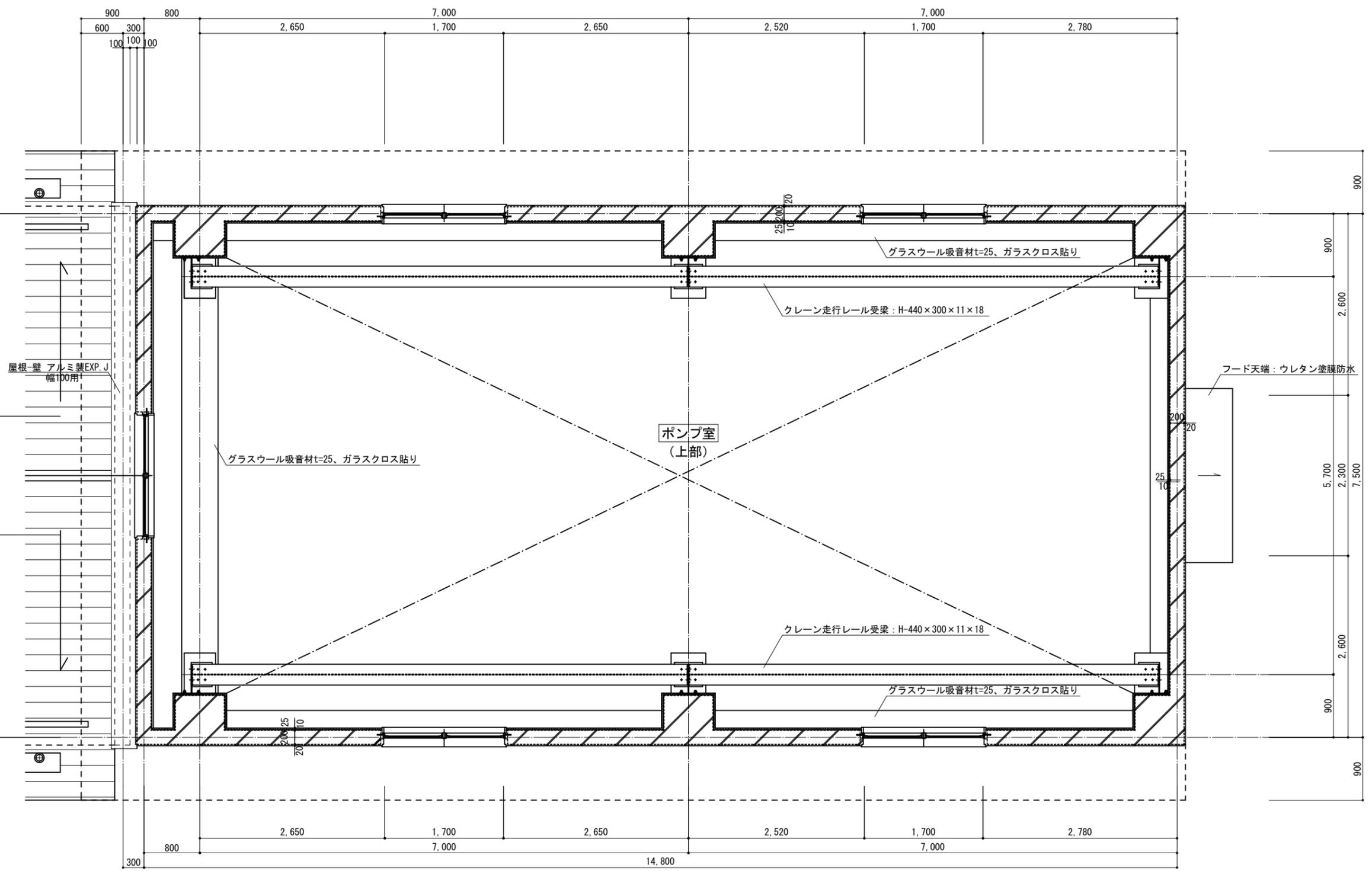
操作室平面詳細図 1/30

工事名	那珂川沿岸農業水利事業(一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	操作室 平面詳細図		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	A-16
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



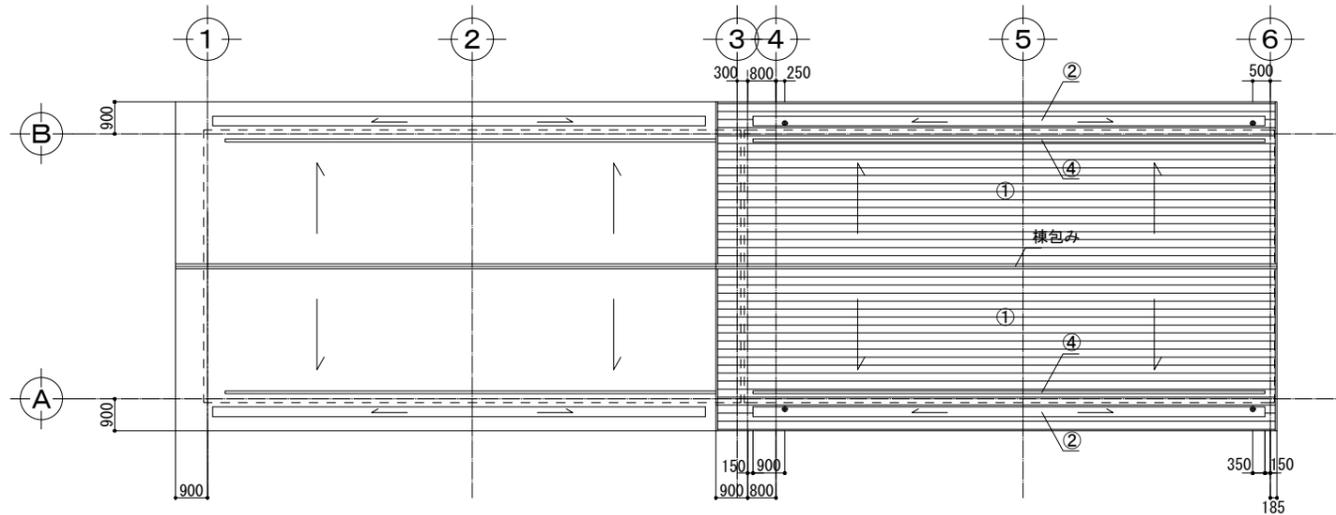
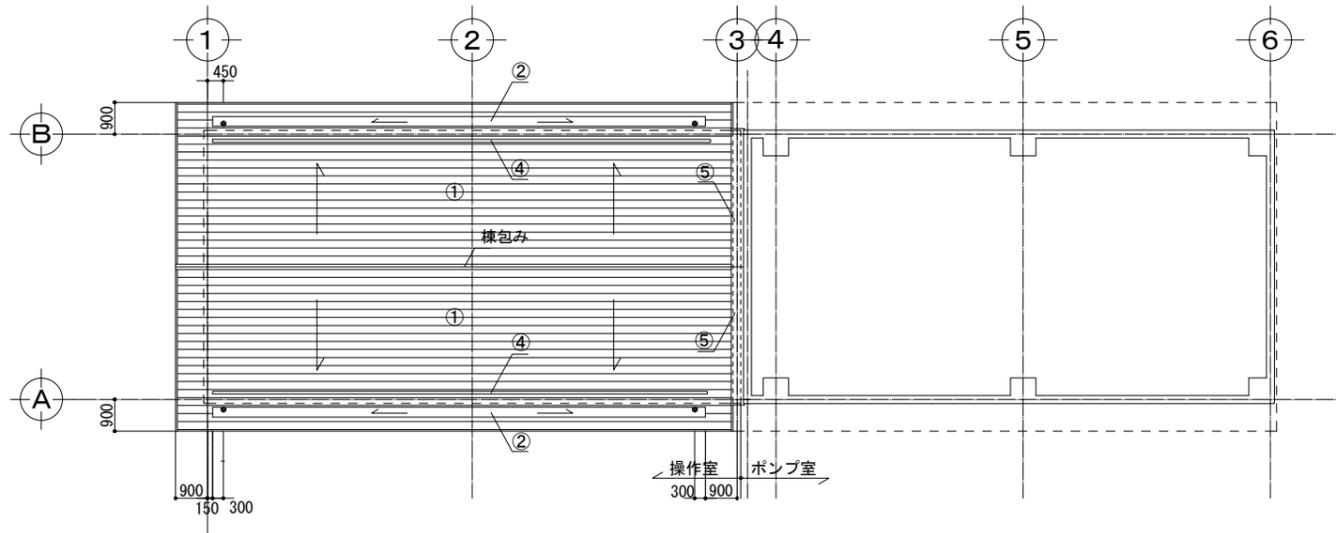
B

A



ポンプ室上部平面詳細図 1/30

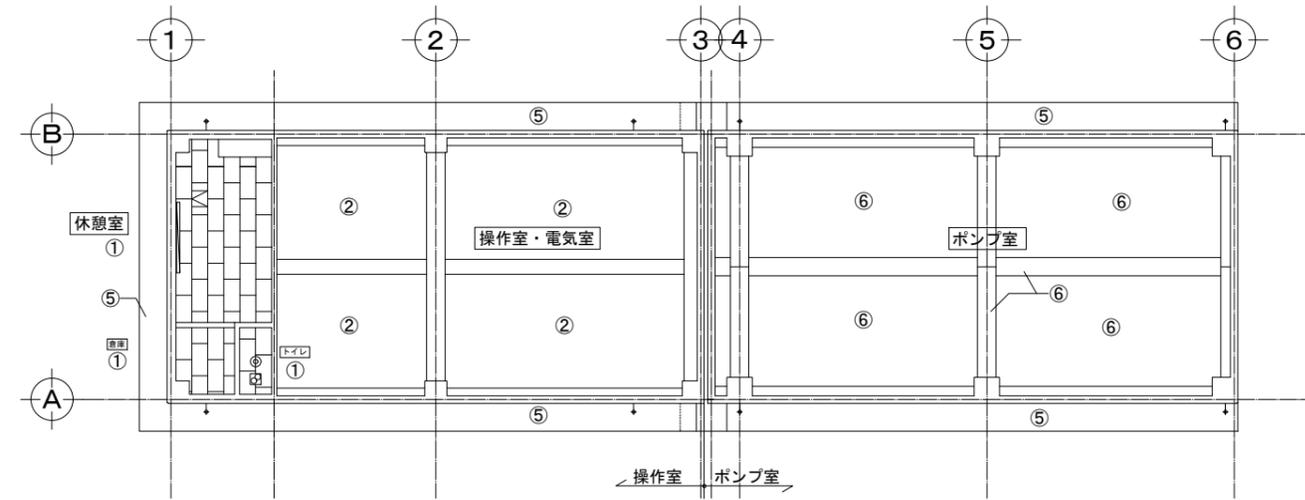
工事名	那珂川沿岸農業水利事業（一期） 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	ポンプ室 上部 平面詳細図		
作成年月日			
縮尺	1:30	図面番号	A-18
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		



凡例

①	フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.45 段付横葺き	(契約対象外)
②	内樋 ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)	
③	RC (B) 複層塗材 (E) 吹付	
④	雪止め金物	(契約対象外)
⑤	アルミ製 EXP. Jカバー 100用 屋根-外壁	(契約対象外)
•	ドレン ステンレス製 φ100用	(契約対象外)

屋根伏図 1/100



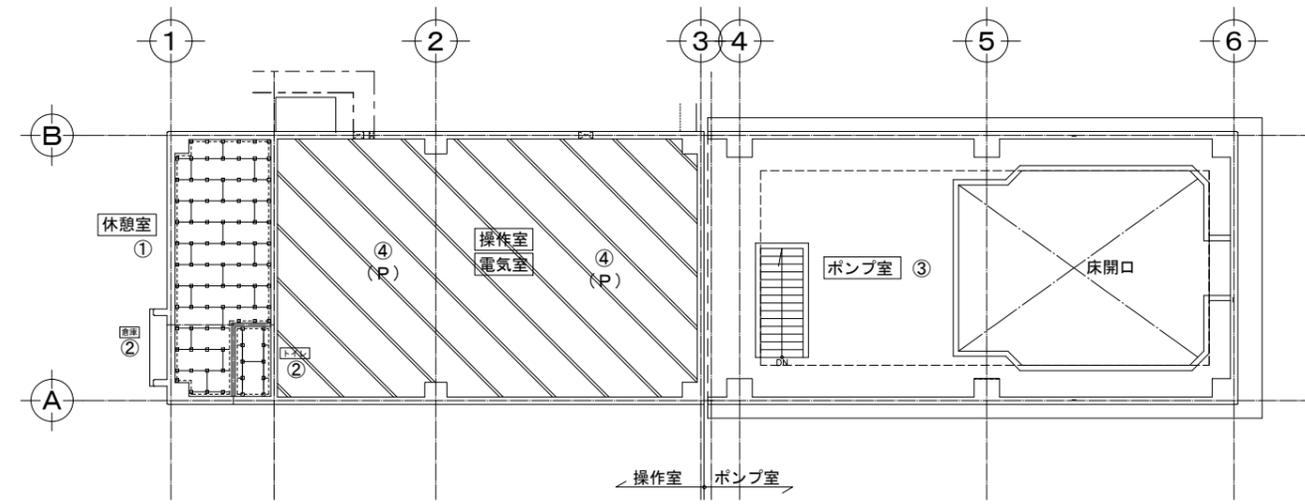
天井仕上凡例

①	GB-NC (T) 貼	(3-01-1)
②	RC (B) 木毛パライットセメント板 t=25打込み	
③	RC (B)	(3-01-11)
④	RC (B) 断熱材t=25打込み (休憩室・トイレ・倉庫) 上部	
⑤	RC (B) 複層塗材 (E) 吹付	
⑥	RC (B) グラスウール吸音板t=25 ガラスクロス貼り	

凡例：天井開口

☒	天井点検口 (3-42-2) 450×450	
◎	天井開口 (3-42-2) 150φ	
⊠	天井開口 (3-41-1) 300×300	
□	天井開口 (3-41-1) 150×150	
—	ブラインドBOX アルミ製 L-2000	(契約対象外)
↑	縦樋 アルミ製 φ114	(契約対象外)

天井伏図 1/100



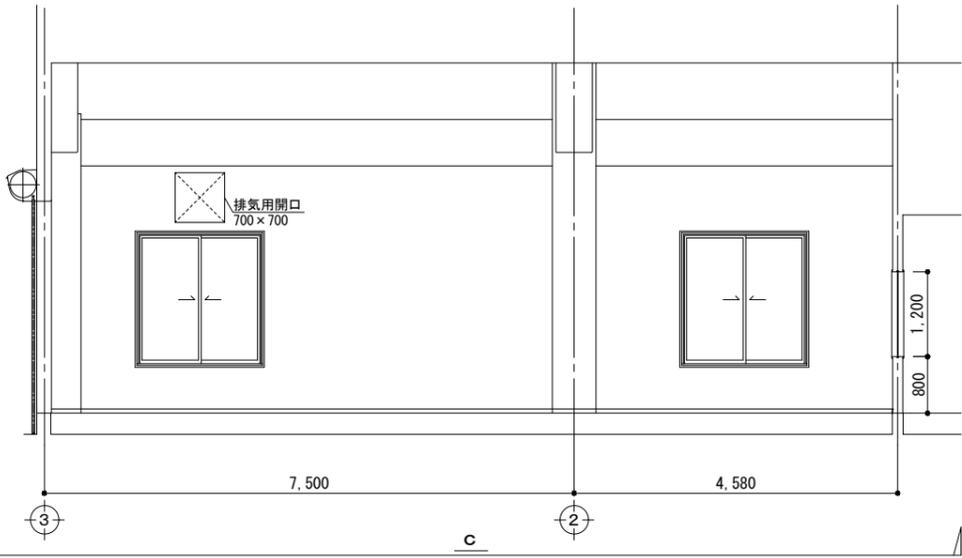
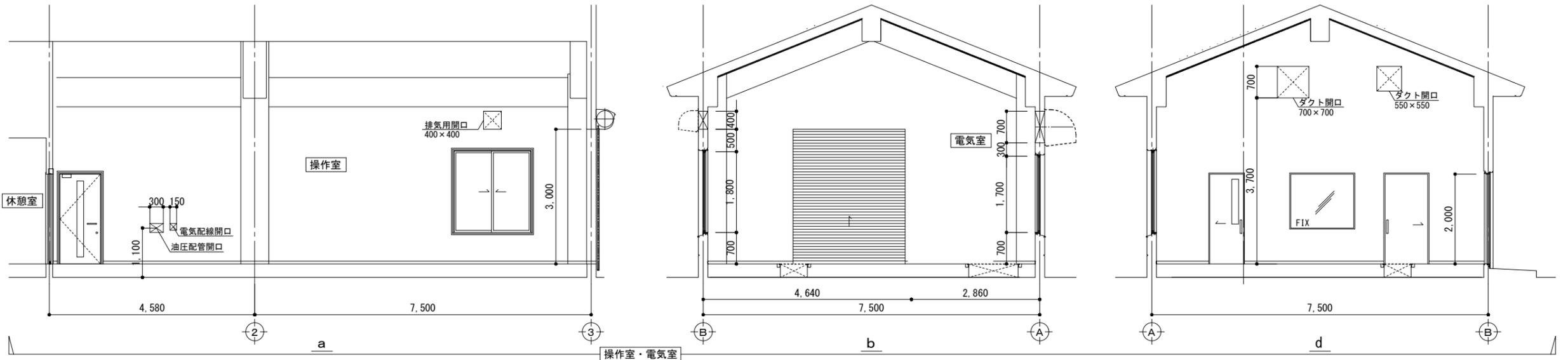
床仕上凡例

①	木製フローリング材貼 乾式二重床構法	
②	複層ビニルシート貼 乾式二重床構法	
③	合成樹脂塗材仕上 (ウレタン樹脂系塗床) (契約対象外) 二次RC t=300 (契約対象外)	
④	合成樹脂塗材仕上 (ウレタン樹脂系塗床) (契約対象外) 二次RC t=300 共 (契約対象外) 配管ビット ふた・取付金物共 (契約対象外)	

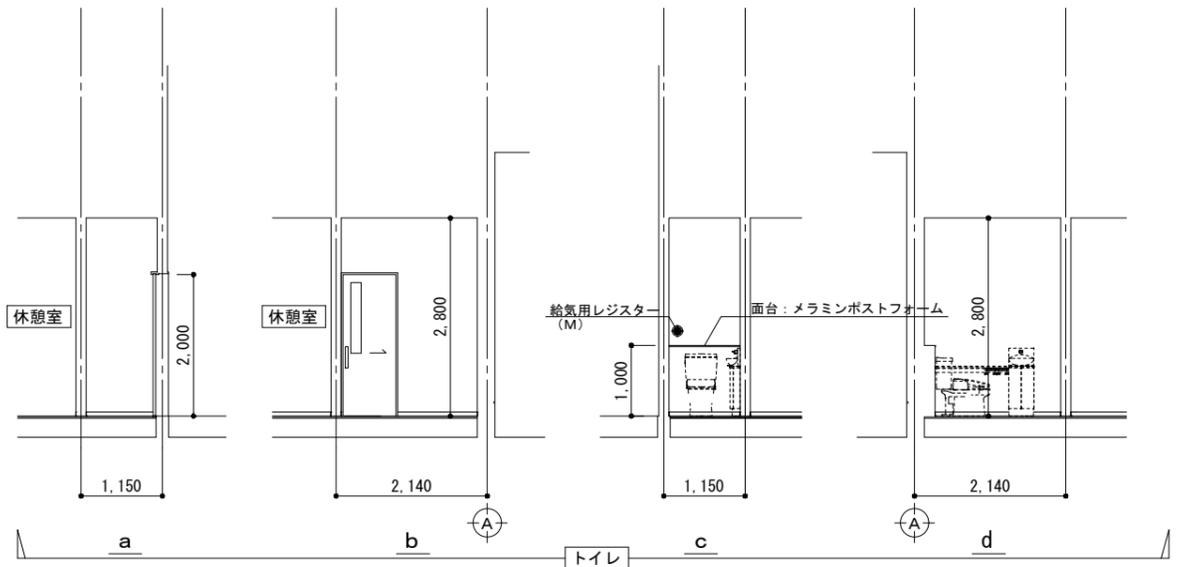
床伏図 1/100

工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	屋根・天井・床伏図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	A-19
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		

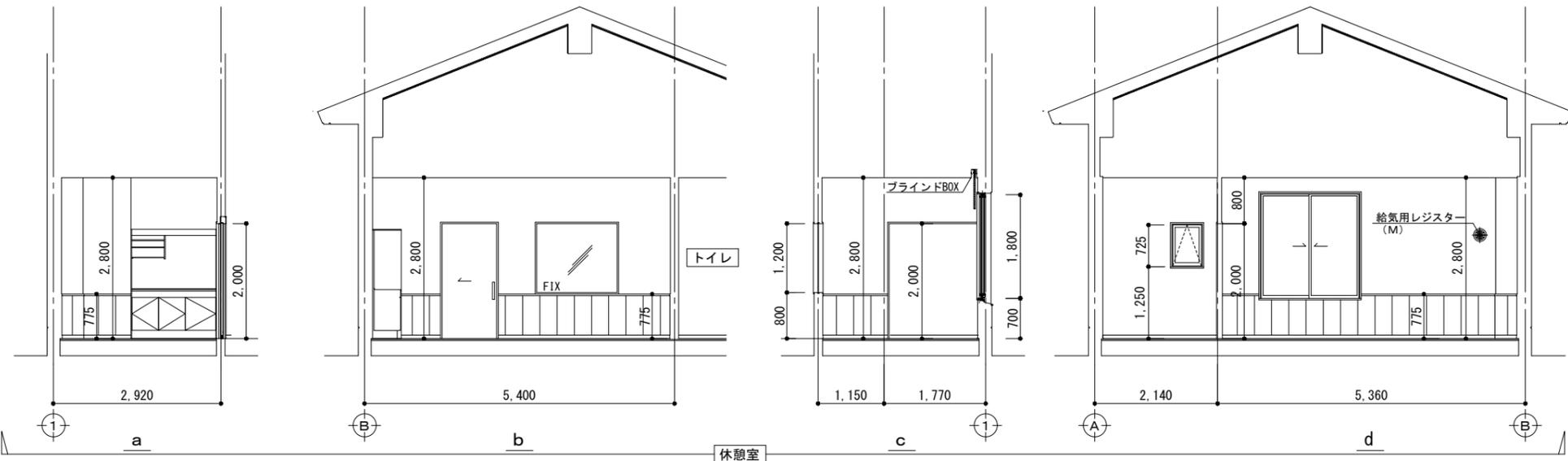
操作室・電気室	
床	合成樹脂塗材 (ウレタン樹脂系塗床) (契約対象外) 二次RC t=300 (A) 工事
巾木	C RC (B) H=60 (契約対象外) S VB H=60
壁	C RC (B) S GB-R t=12.5+9.5 EP
天井	木毛パーライトセメント板 t=25 打込み
柱型	RC (B)
梁型	
備考	配線ビット・ビット蓋 (契約対象外)



トイレ	
床	複層ビニル系シート貼 乾式二重床 H=300
巾木	VB H=60
壁	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 EP RC下地 PF断熱材 t=25 打込み GB-R t=12.5 EP
天井	GB-NC (T) 貼 t=9.5 小屋裏 PF断熱材 t=25 打込み
面台	メラミンポストフォーム t=20 1000x150、既製品
備考	



休憩室	
床	木製フローリング貼 乾式二重床 H=300
腰壁	杉板t=9 羽目張り CL H=775
壁	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 EP RC下地 PF断熱材 t=25 打込み GB-R t=12.5 EP
天井	GB-NC (T) 貼 t=9.5 小屋裏 PF断熱材 t=25 打込み
柱型	GB-R t=12.5 EP
ミニキッチン	L=1,500
ブラインド	アルミ合金製 W=25 W=1,700 H=1,800
ブラインドBOX	アルミ製 L=2,000
備考	



工事名	那珂川沿岸農業水利事業 (一期) 大杉山揚水機場改修工事		
図面名	展開図 (1)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	A-20
会社名			
事業者名	関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所		